＊ホームページの公開にあたっては、白色のページは省略しています。
　そのため、ページ番号が連続しない場合がありますが、落丁ではありません。

令 和 ２ 年 度

新宿区各会計歳入歳出決算審査意見書

新 宿 区 基 金 運 用 状 況 審 査 意 見 書

新宿区財政の健全化判断比率審査意見書

新宿区監査委員

目　　次

新宿区各会計歳入歳出決算審査及び新宿区基金運用状況審査

第１　審査の概要（目的、対象、期間、基準、方法）・・・・・・・・・・・・・　１
第２　審査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
第３　総括意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
　１　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
　２　決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
　　⑴　一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
　　⑵　国民健康保険特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
　　⑶　介護保険特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
　　⑷　後期高齢者医療特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　３　決算分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
　　⑴　一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
　　⑵　国民健康保険特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
　　⑶　介護保険特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
　　⑷　後期高齢者医療特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
　　⑸　財政指標の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
　　⑹　基金及び後年度負担の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　　⑺　不納欠損額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
　　⑻　収入未済額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
　　⑼　収入率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
　　⑽　不用額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
　　⑾　基金の繰替運用の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
　４　財産の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　　⑴　公有財産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　　⑵　物品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　　⑶　債権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　　⑷　基金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　５　運用基金の運用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　６　まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
　　⑴　令和２年度の財政運営について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
　　⑵　今後の財政運営について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
第４　決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
　Ⅰ　一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
　１　決算の規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
　２　財政収支等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
　　⑴　財政収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
　　⑵　資金収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３

３　歳入決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４
⑴　歳入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５
第１款　特別区税・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５
第２款　地方譲与税・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４６
第３款　利子割交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７
第４款　配当割交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７
第５款　株式等譲渡所得割交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８
第６款　地方消費税交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８
第７款　自動車取得税交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４９
第８款　環境性能割交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４９
第９款　地方特例交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５０
第 10 款　特別区交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１
第 11 款　交通安全対策特別交付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１
第 12 款　分担金及び負担金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５２
第 13 款　使用料及び手数料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５３
第 14 款　国庫支出金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５４
第 15 款　都支出金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５
第 16 款　財産収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５６
第 17 款　寄附金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７
第 18 款　繰入金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７
第 19 款　繰越金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５８
第 20 款　諸収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５９
第 21 款　特別区債・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６０
４　歳出決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６３
⑴　歳出の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６３
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６４
第１款　議会費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６４
第２款　総務費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６５
第３款　地域振興費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６７
第４款　文化観光産業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６８
第５款　福祉費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７０
第６款　子ども家庭費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７１
第７款　健康費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７２
第８款　環境清掃費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７４
第９款　土木費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７５
第 10 款　教育費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７７
第 11 款　公債費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７９
第 12 款　諸支出金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８０
第 13 款　予備費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８１

５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額・・・・・・・・・・・・・・・・　８２
Ⅱ　国民健康保険特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８３
１　決算の規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８３
２　財政収支等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８４
⑴　財政収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８４
⑵　資金収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８４
３　歳入決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８５
⑴　歳入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８５
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８６
４　歳出決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７
⑴　歳出の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８８
５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額・・・・・・・・・・・・・・・・　８９
Ⅲ　介護保険特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９１
１　決算の規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９１
２　財政収支等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９２
⑴　財政収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９２
⑵　資金収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９２
３　歳入決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９３
⑴　歳入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９３
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９４
４　歳出決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９５
⑴　歳出の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９５
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９６
５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額・・・・・・・・・・・・・・・・　９６
Ⅳ　後期高齢者医療特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９７
１　決算の規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９７
２　財政収支等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９８
⑴　財政収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９８
⑵　資金収支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９８
３　歳入決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９９
⑴　歳入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９９
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１００
４　歳出決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１００
⑴　歳出の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１００
⑵　各款別の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０１
５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額・・・・・・・・・・・・・・・・　１０１
Ⅴ　財産及び基金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０３
１　財産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０３
⑴　公有財産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０４

⑵　物品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０５
⑶　債権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０５
⑷　基金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０６
２　積立基金の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０７
３　運用基金の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１６
別　表
別表１　監査委員による決算審査及び定期監査に関する質問日程・項目・・・　１１９
別表２　令和２年度一般会計歳入決算款別対前年度比較・・・・・・・・・・　１２０
別表３　令和２年度一般会計歳出決算款別対前年度比較・・・・・・・・・・　１２２
別表４－１　令和２･元年度一般会計不納欠損額、収入未済額及び
還付未済額の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２４
別表４－２　令和２･元年度一般会計不納欠損額、収入未済額及び
還付未済額の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２６
別表５　令和２年度一般会計歳出決算節別集計表・・・・・・・・・・・・・　１２８
別表６　令和２年度国民健康保険特別会計歳入決算款別対前年度比較・・・　１３０
別表７　令和２年度国民健康保険特別会計歳出決算款別対前年度比較・・・　１３０
別表８　令和２･元年度国民健康保険特別会計保険給付費支払状況・・・・・　１３２
別表９　令和２･元年度国民健康保険特別会計不納欠損額、収入未済額
及び還付未済額の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３２
別表 10　令和２年度介護保険特別会計歳入決算款別対前年度比較・・・・・　１３４
別表 11　令和２年度介護保険特別会計歳出決算款別対前年度比較・・・・・　１３４
別表 12　令和２･元年度介護保険特別会計保険給付費支払状況・・・・・・・　１３６
別表 13　令和２･元年度介護保険特別会計不納欠損額、収入未済額
及び還付未済額の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３６
別表 14　令和２年度後期高齢者医療特別会計歳入決算款別対前年度比較・・　１３８
別表 15　令和２年度後期高齢者医療特別会計歳出決算款別対前年度比較・・　１３８
別表 16　令和２･元年度後期高齢者医療特別会計不納欠損額、収入未済額
及び還付未済額の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４０
財政課資料
一般会計決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４３
一般財源と特定財源の対前年度比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４４
自主財源と依存財源の対前年度比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４５
性質別経費の対前年度比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４６
一般会計補正予算状況表（令和２年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４７
基金残高と起債残高の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４９

目　　次

新宿区財政の健全化判断比率審査

第１　審査の概要（目的、対象、期間、基準）・・・・・・・・・・・・・・・・ １５１
第２　審査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５２
　１　健全化判断比率の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５２
　⑴　実質赤字比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５２
　⑵　連結実質赤字比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５２
　⑶　実質公債費比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５３
　⑷　将来負担比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５３
　２　意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５３
財政課資料
　新宿区財政の健全化判断比率（令和２年度）・・・・・・・・・・・・・・・・ １５５

意見書の表記について

⑴　△印は減を示す。

⑵　グラフ中の金額及び構成比は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

⑶　各表中の構成比は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

⑷　文中で表記している金額のうち、グラフを参照しているものは、グラフ中の金額を表示している。

⑸　第３の６（総括意見のまとめ）で表記している金額は、グラフ中の金額の表示方法とは異なり、表示単位未満を切り捨てて「余」と表示している。

⑹　別表の件数については、各部からの提出資料によるものである。

新宿区各会計歳入歳出決算審査意見書

新 宿 区 基 金 運 用 状 況 審 査 意 見 書

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 2 項及び第 241 条第 5 項の規定に基づき、令和２年度新宿区各会計歳入歳出決算及び新宿区基金運用状況について審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

令和 3 年 9 月 6 日

新宿区監査委員　白　井　　裕　子
同　　小　池　　勇　士
同　　國　井　　政　利
同　　井下田　　栄　一

審　査　の　概　要

審　査　の　結　果

第１　審査の概要

１　審査の目的

新宿区監査基準及び令和３年度監査基本計画に基づき、令和２年度の各会計歳入歳出決算について、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であるか審査するとともに、予算執行に当たっての事務処理の合規性と効率性を審査する。また、令和２年度の定額運用基金の運用状況を示す書類の計数が正確であり、基金の運用が確実かつ効率的に行われているか審査する。

２　審査の対象

⑴　令和2年度新宿区各会計歳入歳出決算書
⑵　令和2年度新宿区各会計歳入歳出決算事項別明細書
⑶　令和2年度新宿区各会計実質収支に関する調書
⑷　令和2年度新宿区財産に関する調書
⑸　令和2年度新宿区基金運用調書

３　審査の期間

令和3年7月5日から令和3年8月19日まで

４　審査の基準（着眼点）

⑴　各会計歳入歳出決算及び基金運用並びに関係書類の計数及び表示の正確性
⑵　予算執行については、その事務処理の合規性と効率性
⑶　基金運用状況については、適正な管理と運用の効率性

５　審査の方法

決算書及び附属書類、基金運用調書その他関係諸表の計数について、財務会計システムのデータファイル及び関係帳票と照合を行うとともに、データのグラフ化により経年変化を的確に捉え、区の財政状況を把握して決算分析を実施した。また、定期監査及び例月出納検査で把握した課題等を含め、決算に係る事項について諸資料を徴し、**別表１**（119ページ）のとおり対象部局等からの説明を聴取した内容を踏まえ、予算執行等が、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的に実施されているか審査した。

第２　審査の結果

１　決算の計数

各会計歳入歳出決算書、各会計歳入歳出決算事項別明細書、各会計実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金運用調書の計数については、関係帳票等と照合した結果、誤りのないことを確認した。また、これらの様式については法令等の定めに従い、適正に作成されていることを確認した。

２　財政運営及び財産管理等の状況

令和2年度の各会計予算の執行、財政運営及び財産管理の状況は、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計ともに、事務処理の合規性と効率性について、おおむね適正に行われたと認められた。

３　各基金の運用の状況

令和2年度の各基金の運用の状況は、それぞれの設置目的に沿い、管理方法及び効率的な運用について、おおむね適正に行われたと認められた。

総　括　意　見

第３　総括意見

１　はじめに

新宿区の令和２年度（以下「本年度」と表記する。）予算は、編成方針を「第一次実行計画の総仕上げとともに財政環境の変化に柔軟に対応し、現下の区政課題の解決に向け着実に前進する予算」とし、①社会経済情勢の動向を的確に見極めながら、第一次実行計画の目標達成や、限られた財源の重点的、効果的配分による喫緊の区政課題への対応、②行政評価や決算実績などに基づくＰＤＣＡサイクルによるすべての事務事業の見直しや徹底した歳出削減や、財源の的確な補そくによる一層の歳入確保を図ることの２点を基本に編成された。

この決算審査では、各決算書の正確性を確かめるとともに、本年度予算編成方針を念頭に置き、その執行が適正に行われたか否かについて厳正に審査した。

２　決算の状況

本年度の各会計決算の合計は、歳入決算額2,564億1,061万5,878円、歳出決算額2,509億7,644万1,528円で、前年度に比べ、それぞれ16.8％、17.0％の増となった。

各会計の主な決算の状況については、次のとおりである。なお、詳細については、本意見書41ページ以降の「第４　決算の概要」に記載のとおりである。

各会計歳入歳出決算の状況

（単位:円・％）

区　　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
一般会計	歳入決算額	187,707,398,802	149,809,721,213	37,897,677,589	25.3
	歳出決算額	184,186,917,566	146,235,006,034	37,951,911,532	26.0
	差引額	3,520,481,236	3,574,715,179	△ 54,233,943	△ 1.5
国民健康保険特別会計	歳入決算額	35,347,736,616	37,493,269,440	△ 2,145,532,824	△ 5.7
	歳出決算額	34,933,659,010	36,788,218,273	△ 1,854,559,263	△ 5.0
	差引額	414,077,606	705,051,167	△ 290,973,561	△ 41.3
介護保険特別会計	歳入決算額	26,023,020,485	24,974,539,092	1,048,481,393	4.2
	歳出決算額	24,564,222,854	24,305,024,496	259,198,358	1.1
	差引額	1,458,797,631	669,514,596	789,283,035	117.9
後期高齢者医療特別会計	歳入決算額	7,332,459,975	7,294,127,673	38,332,302	0.5
	歳出決算額	7,291,642,098	7,256,646,059	34,996,039	0.5
	差引額	40,817,877	37,481,614	3,336,263	8.9
合　　計	歳入決算額	256,410,615,878	219,571,657,418	36,838,958,460	16.8
	歳出決算額	250,976,441,528	214,584,894,862	36,391,546,666	17.0
	差引額	5,434,174,350	4,986,762,556	447,411,794	9.0

(1) 一般会計

ア　歳入決算（款別）の状況

本年度の一般会計の歳入決算額は、1,877億739万8,802円で、前年度に比べ378億9,767万7,589円、25.3%の増となった。主な増減は、次のとおりである。

○　第10款、特別区交付金は、前年度に比べ43億円余、14.7%の減となった。これは、普通交付金や特別交付金の減によるものである。

○　第14款、国庫支出金は、前年度に比べ359億円余、124.2%の増となった。これは主に、子ども家庭費負担金や総務費補助金の増によるものである。

○　第21款、特別区債は、前年度に比べ31億円余、378.9%の増となった。これは主に、地域振興債の増や調整債の皆増によるものである。

歳入決算（款別）の状況

（単位:円・%）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　特別区税	50,011,064,344	49,902,484,145	108,580,199	0.2
2　地方譲与税	500,047,000	489,333,049	10,713,951	2.2
3　利子割交付金	133,511,000	137,300,000	△ 3,789,000	△ 2.8
4　配当割交付金	647,771,000	685,445,000	△ 37,674,000	△ 5.5
5　株式等譲渡所得割交付金	758,707,000	425,780,000	332,927,000	78.2
6　地方消費税交付金	11,552,680,000	10,173,690,000	1,378,990,000	13.6
7　自動車取得税交付金	41,874	143,076,000	△ 143,034,126	△ 100.0
8　環境性能割交付金	86,977,062	50,557,235	36,419,827	72.0
9　地方特例交付金	142,213,000	725,022,000	△ 582,809,000	△ 80.4
10　特別区交付金	25,133,991,000	29,467,081,000	△ 4,333,090,000	△ 14.7
11　交通安全対策特別交付金	35,307,000	32,241,000	3,066,000	9.5
12　分担金及び負担金	1,767,015,117	2,256,628,788	△ 489,613,671	△ 21.7
13　使用料及び手数料	4,242,597,141	4,413,156,701	△ 170,559,560	△ 3.9
14　国庫支出金	64,925,633,386	28,962,185,106	35,963,448,280	124.2
15　都支出金	14,205,915,317	11,689,324,713	2,516,590,604	21.5
16　財産収入	1,561,202,653	1,356,282,293	204,920,360	15.1
17　寄附金	185,286,615	71,117,549	114,169,066	160.5
18　繰入金	1,140,211,101	65,947,522	1,074,263,579	1,629.0
19　繰越金	3,574,715,179	4,580,179,383	△ 1,005,464,204	△ 22.0
20　諸収入	3,180,512,013	3,363,889,729	△ 183,377,716	△ 5.5
21　特別区債	3,922,000,000	819,000,000	3,103,000,000	378.9
合　計	187,707,398,802	149,809,721,213	37,897,677,589	25.3

イ　歳出決算（款別）の状況

本年度の一般会計の歳出決算額は、1,841億8,691万7,566円で、前年度に比べ379億5,191万1,532円、26.0％の増となった。予算現額1,950億7,352万9,000円に対する執行率は94.4％で、前年度の94.8％を0.4ポイント下回った。主な増減は、次のとおりである。

○　第2款、総務費は、前年度に比べ339億円余、299.5％の増となった。これは主に、特別定額給付金の343億円余の皆増によるものである。

○　第5款、福祉費は、前年度に比べ22億円余、5.4％の増となった。これは主に、生活困窮者自立支援事業の8億円余の増、国、都支出金の収入超過に伴う返納金の6億円余の増によるものである。

○　第6款、子ども家庭費は、前年度に比べ11億円余、3.9％の増となった。これは主に、保育所への保育委託等の7億円余の増によるものである。

○　第9款、土木費は、前年度に比べ29億円余、21.5％の減となった。これは主に、市街地再開発事業助成の12億円余の減によるものである。

○　第10款、教育費は、前年度に比べ12億円余、12.2％の増となった。これは主に、ＩＣＴを活用した教育環境の充実の3億円余の皆増によるものである。

歳出決算（款別）の状況

（単位:円・％）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　議会費	734,627,204	742,664,411	△ 8,037,207	△ 1.1
2　総務費	45,321,441,446	11,344,695,882	33,976,745,564	299.5
3　地域振興費	7,659,660,423	6,575,182,949	1,084,477,474	16.5
4　文化観光産業費	4,103,544,769	3,896,208,176	207,336,593	5.3
5　福祉費	43,746,964,725	41,516,838,547	2,230,126,178	5.4
6　子ども家庭費	31,042,994,539	29,887,533,307	1,155,461,232	3.9
7　健康費	15,232,346,741	14,629,800,420	602,546,321	4.1
8　環境清掃費	7,744,896,714	7,297,967,383	446,929,331	6.1
9　土木費	10,648,260,060	13,563,788,342	△ 2,915,528,282	△ 21.5
10　教育費	11,276,876,513	10,051,522,476	1,225,354,037	12.2
11　公債費	2,314,703,432	2,276,200,141	38,503,291	1.7
12　諸支出金	4,360,601,000	4,452,604,000	△ 92,003,000	△ 2.1
13　予備費 （充用額）	0 (1,212,470,000)	0 (50,491,000)	0 (1,161,979,000)	0 (2301.4)
合　計	184,186,917,566	146,235,006,034	37,951,911,532	26.0

(2) 国民健康保険特別会計

ア　歳入決算（款別）の状況

本年度の国民健康保険特別会計の歳入決算額は、353億4,773万6,616円で、前年度に比べ21億4,553万2,824円、5.7％の減となった。主な増減は次のとおりである。

○　第1款、国民健康保険料は、前年度に比べ6億円余、6.5％の減となった。これは主に、一般被保険者国民健康保険料の6億円余の減によるものである。

○　第4款、都支出金は、前年度に比べ11億円余、5.3％の減となった。これは、保険給付費等交付金の減によるものである。

○　第6款、繰入金は、前年度に比べ11億円余、21.2％の減となった。これは、一般会計繰入金の減によるものである。

○　第9款、国庫支出金は、前年度に比べ4億円余、242,867.5％の大幅な増となった。これは、災害等臨時特例補助金の増によるものである。

歳入決算（款別）の状況

（単位：円・％）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　国民健康保険料	9,153,580,829	9,791,472,344	△ 637,891,515	△ 6.5
2　一部負担金	0	0	0	0
3　使用料及び手数料	189,000	184,200	4,800	2.6
4　都支出金	20,780,615,520	21,952,565,910	△ 1,171,950,390	△ 5.3
5　財産収入	45	62	△ 17	△ 27.4
6　繰入金	4,201,126,986	5,333,102,009	△ 1,131,975,023	△ 21.2
7　繰越金	705,051,167	351,296,088	353,755,079	100.7
8　諸収入	96,558,069	64,479,827	32,078,242	49.7
9　国庫支出金	410,615,000	169,000	410,446,000	242,867.5
合　計	35,347,736,616	37,493,269,440	△ 2,145,532,824	△ 5.7

イ　歳出決算（款別）の状況

本年度の国民健康保険特別会計の歳出決算額は、349億3,365万9,010円で、前年度に比べ18億5,455万9,263円、5.0％の減となった。主な増減は、次のとおりである。

○　第2款、保険給付費は、前年度に比べ15億円余、7.2％の減となった。これは主に、一般被保険者療養給付費の12億円余の減、一般被保険者高額療養費の1億円余の減によるものである。

○　第3款、国民健康保険事業費納付金は、前年度に比べ5億円余、3.7％の減となった。これは主に、一般被保険者医療給付費分の3億円余の減、一般被保険者後期高齢者支援金等分の2億円余の減によるものである。

○　第5款、諸支出金は、前年度に比べ2億円余、92.3％の増となった。これは主に、償還金の1億円余の増によるものである。

歳出決算（款別）の状況

（単位:円・％）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　総務費	807,429,597	836,963,655	△ 29,534,058	△ 3.5
2　保険給付費	20,046,869,663	21,591,196,265	△ 1,544,326,602	△ 7.2
3　国民健康保険事業費納付金	13,407,255,486	13,922,758,407	△ 515,502,921	△ 3.7
4　保健事業費	177,589,055	180,106,975	△ 2,517,920	△ 1.4
5　諸支出金	494,515,209	257,192,971	237,322,238	92.3
6　予備費	0	0	0	0
（充用額）	(72,151,000)	(5,322,000)	(66,829,000)	(1255.7)
合　計	34,933,659,010	36,788,218,273	△ 1,854,559,263	△ 5.0

(3) 介護保険特別会計

ア　歳入決算（款別）の状況

本年度の介護保険特別会計の歳入決算額は、260億2,302万485円で、前年度に比べ10億4,848万1,393円、4.2%の増となった。主な増減は、次のとおりである。

○　第1款、介護保険料は、前年度に比べ1億円余、3.3%の減となった。

○　第3款、国庫支出金は、前年度に比べ5億円余、9.7%の増となった。これは主に、介護給付費負担金の3億円余の増によるものである。

○　第7款、繰入金は、前年度に比べ6億円余、14.4%の増となった。これは、一般会計繰入金の3億円余の増、介護給付準備基金繰入金2億円余の増によるものである。

歳入決算（款別）の状況

（単位:円・%）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　介護保険料	4,935,708,653	5,105,425,986	△ 169,717,333	△ 3.3
2　使用料及び手数料	2,100	1,500	600	40.0
3　国庫支出金	5,799,245,404	5,286,791,735	512,453,669	9.7
4　支払基金交付金	6,062,539,464	5,996,833,000	65,706,464	1.1
5　都支出金	3,417,813,254	3,345,876,020	71,937,234	2.2
6　財産収入	1,187,778	1,522,386	△ 334,608	△ 22.0
7　繰入金	5,111,721,712	4,470,094,276	641,627,436	14.4
8　繰越金	669,514,596	750,671,378	△ 81,156,782	△ 10.8
9　諸収入	25,287,524	17,322,811	7,964,713	46.0
合　計	26,023,020,485	24,974,539,092	1,048,481,393	4.2

イ　歳出決算（款別）の状況

本年度の介護保険特別会計の歳出決算額は、245億6,422万2,854円で、前年度に比べ2億5,919万8,358円、1.1％の増となった。主な増減は、次のとおりである。

○　第1款、総務費は、前年度に比べ2億円余、21.3％の増となった。これは主に、一般管理費の2億円余の増によるものである。

○　第2款、保険給付費は、前年度に比べ2億円余、1.0％の増となった。これは主に、居宅サービス給付費の2億円余の増によるものである。

○　第3款、基金積立金は、前年度に比べ1億円余、31.2％の増となった。これは、介護給付準備基金積立金の増によるものである。

○　第5款、諸支出金は、前年度に比べ1億円余、56.2％の減となった。これは、償還金の1億円余の減によるものである。

歳出決算（款別）の状況

（単位:円・％）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　総務費	1,143,082,739	942,437,881	200,644,858	21.3
2　保険給付費	21,467,042,715	21,260,300,710	206,742,005	1.0
3　基金積立金	542,196,147	413,279,598	128,916,549	31.2
4　地域支援事業費	1,264,326,936	1,352,263,593	△ 87,936,657	△ 6.5
5　諸支出金	147,574,317	336,742,714	△ 189,168,397	△ 56.2
6　予備費 （充用額）	0 (10,578,000)	0 (0)	0 (10,578,000)	0 （皆増）
合　計	24,564,222,854	24,305,024,496	259,198,358	1.1

(4) 後期高齢者医療特別会計

ア　歳入決算（款別）の状況

本年度の後期高齢者医療特別会計の歳入決算額は、73億3,245万9,975円で、前年度に比べ3,833万2,302円、0.5％の増となった。主な増減は、次のとおりである。

○　第1款、後期高齢者医療保険料は、前年度に比べ6千万円余、1.6％の増となった。

○　第3款、繰入金は、前年度に比べ4千万円余、1.3％の減となった。これは、一般会計繰入金の減によるものである。

歳入決算（款別）の状況

（単位:円・％）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　後期高齢者医療保険料	4,139,107,700	4,072,814,400	66,293,300	1.6
2　使用料及び手数料	1,800	3,900	△ 2,100	△ 53.8
3　繰入金	3,026,129,911	3,067,016,137	△ 40,886,226	△ 1.3
4　繰越金	37,481,614	32,923,250	4,558,364	13.8
5　諸収入	129,738,950	121,369,986	8,368,964	6.9
合　計	7,332,459,975	7,294,127,673	38,332,302	0.5

イ　歳出決算（款別）の状況

本年度の後期高齢者医療特別会計の歳出決算額は、72億9,164万2,098円で、前年度に比べ3,499万6,039円、0.5％の増となった。主な増減は、次のとおりである。

○　第1款、総務費は、前年度に比べ2千万円余、14.0％の増となった。これは、一般管理費の増によるものである。

○　第2款、広域連合納付金は、前年度に比べ4千万円余、0.6％の増となった。

○　第3款、後期高齢者支援事業費は、前年度に比べ3千万円余、16.7％の減となった。

歳出決算（款別）の状況

（単位:円・％）

科　目（款）	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
1　総務費	182,406,121	160,034,148	22,371,973	14.0
2　広域連合納付金	6,934,410,712	6,893,137,228	41,273,484	0.6
3　後期高齢者支援事業費	161,328,765	193,647,983	△ 32,319,218	△ 16.7
4　諸支出金	13,496,500	9,826,700	3,669,800	37.3
5　予備費 （充用額）	0 (3,528,000)	0 (0)	0 (3,528,000)	0 （皆増）
合　計	7,291,642,098	7,256,646,059	34,996,039	0.5

３　決算分析

新宿区各会計歳入歳出決算書及び本意見書の財政課資料を参考にして、決算分析を行った。

(1) 一般会計

ア　決算収支の状況

一般会計決算は、歳入が1,877億円余、歳出が1,841億円余であり、前年度に比べ、歳入で378億円余、25.3％の増、歳出で379億円余、26.0％の増となった。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は35億円余の黒字、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は34億円余の黒字となった。

また、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は5千万円余の黒字であり、単年度収支に財政調整基金への積立額を加え、財政調整基金からの取崩額を差し引いた実質単年度収支は13億円余の黒字となった。

なお、財政調整基金の取崩しは、平成27年度から令和元年度にかけて5年連続で行っていなかったが、本年度は、同基金から8億円の取崩しが行われた。

第1表　決算収支の状況

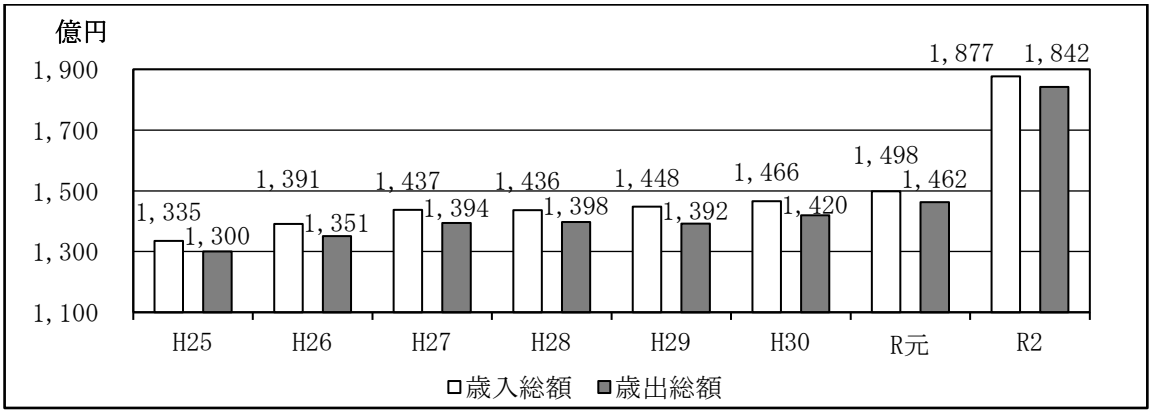
（単位：千円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳入総額　　A	187,707,398	149,809,721	37,897,677	25.3
歳出総額　　B	184,186,917	146,235,006	37,951,911	26.0
形式収支　C＝A－B	3,520,481	3,574,715	△ 54,234	△ 1.5
翌年度に繰り越すべき財源 D	51,971	162,994	△ 111,023	△ 68.1
実質収支　E＝C－D	3,468,510	3,411,721	56,789	1.7
単年度収支　　F	56,789	△ 479,806	536,595	
財政調整基金積立額G	2,068,244	2,317,761	△ 249,517	△ 10.8
繰上償還額　　H	0	0	0	0
財政調整基金取崩額Ｉ	800,000	0	800,000	皆増
実質単年度収支　J=F+G+H-Ｉ	1,325,033	1,837,955	△ 512,922	

イ　決算規模の状況

歳入総額及び歳出総額は増加傾向にあり、平成25年度と比べ歳入で542億円、歳出で542億円増加している。歳入総額、歳出総額とも、過去最大規模となった。

第2表　決算規模の推移

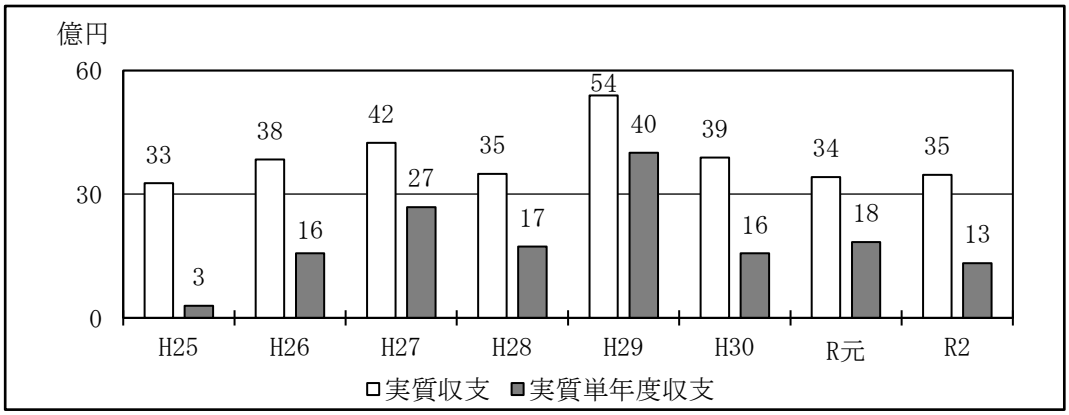


ウ　実質収支・実質単年度収支の状況

実質収支は、決算における収支の黒字又は赤字を見るための指標であり、歳入総額から歳出総額及び翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたものである。本年度の実質収支は35億円の黒字となった。

次に、実質単年度収支は、前年度からの収支の変動を把握するための指標であり、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引き、黒字の要素である財政調整基金への積立額を加え、赤字の要素である財政調整基金からの取崩額を差し引いたものである。本年度は13億円で、平成25年度以降、8年連続で黒字となっている。

第3表　実質収支・実質単年度収支の推移



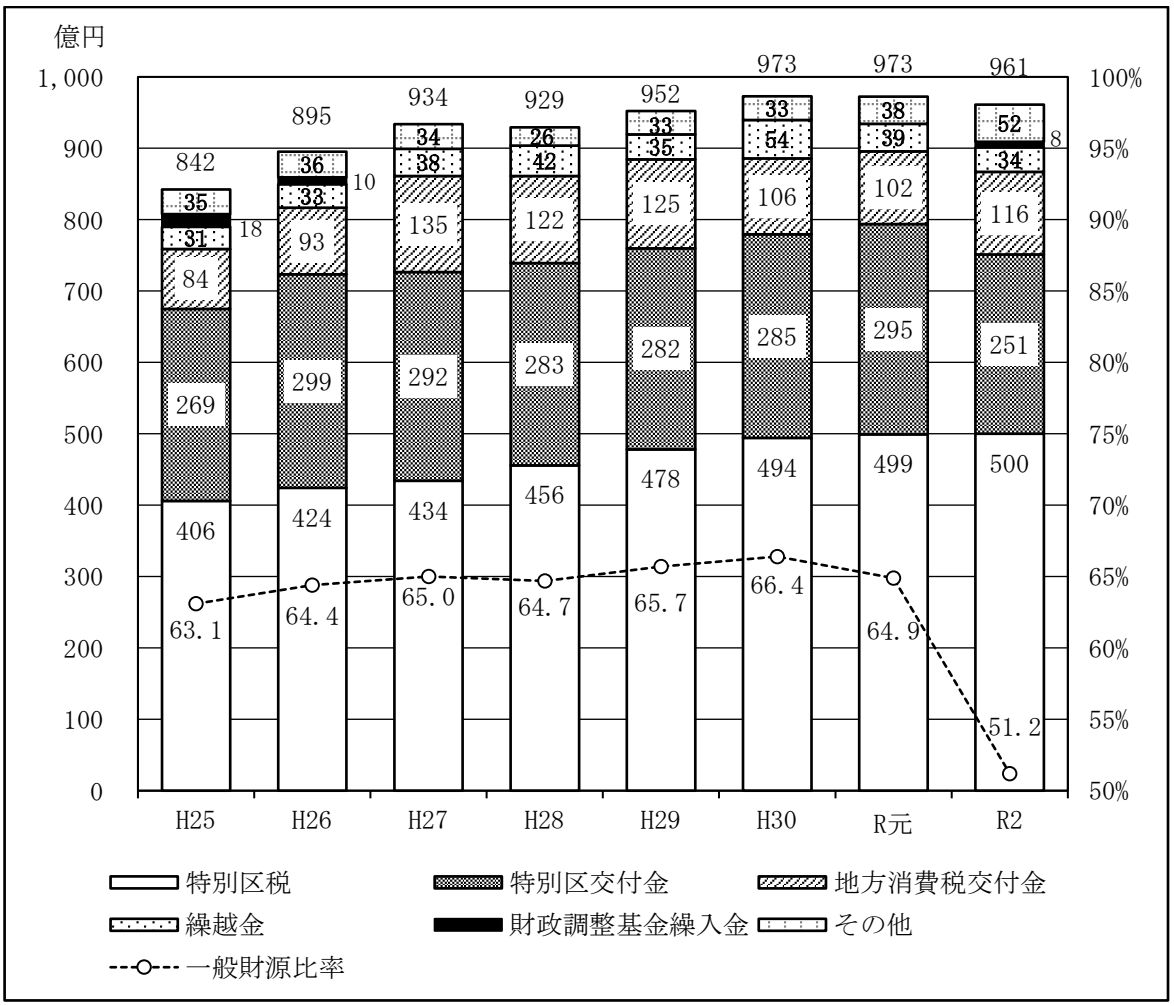
エ　歳入の状況

(ｱ) 一般財源

収入の区分において、一般財源とは、使途が制約されず、どのような経費にも使用することができる収入であり、特別区税、特別区交付金及び地方消費税交付金等がこれに当たる。一般財源の収入は個人所得・法人所得あるいは消費動向等に影響されやすい側面があるが、行政需要に柔軟に対応するためには、歳入に占める一般財源の割合（一般財源比率）が高いことが望ましい。

一般財源の推移について、本年度は特別区税が500億円で、前年度に比べ1億円の増、地方消費税交付金が116億円で、前年度に比べ14億円の増となったものの、特別区交付金が251億円で、前年度に比べ44億円の減、繰越金が34億円で、前年度に比べ5億円の減となった。これらの影響等により、本年度の一般財源は、前年度に比べ12億円の減となった。また、本年度の一般財源比率は51.2％で、前年度を13.7ポイント下回った。なお、財政調整基金からは、平成27年度から5年連続で繰入れを行っていなかったが、本年度は8億円の繰入れを行っている。

第4表　一般財源の推移

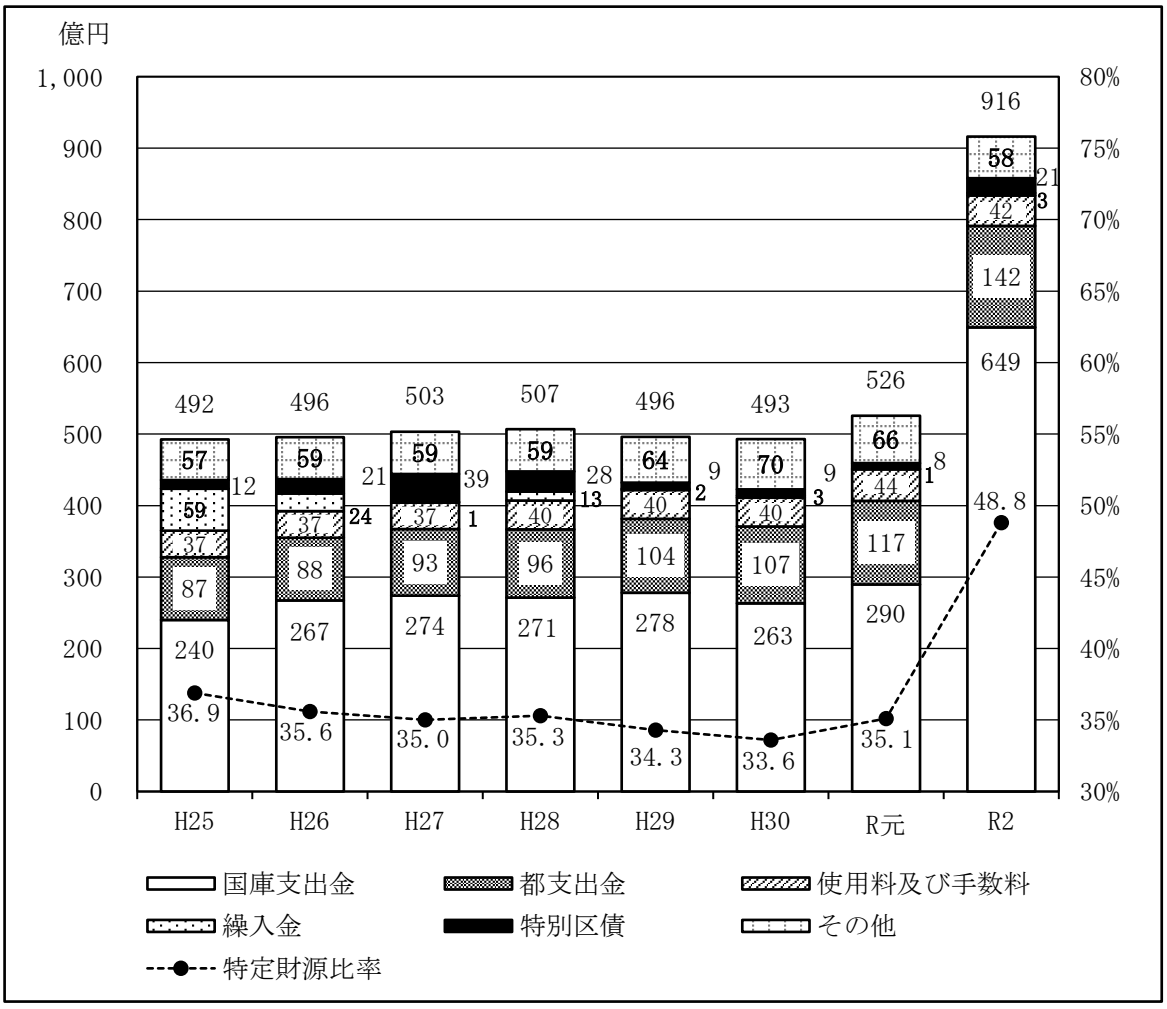


(ｲ) 特定財源

収入の区分において、特定財源とは、使途が特定されている収入のことであり、国庫支出金、都支出金、使用料及び手数料等がこれに当たる。国庫支出金や都支出金は、制度改正や算定基準の見直しにより、区財政に与える影響も大きいため、その動向に注意が必要である。また、特別区債は、将来にわたり持続可能な財政を目指すためにも、依存度が過大とならないよう留意が必要である。同様に、各基金からの繰入金についても、将来負担を見据えた適切な運用が求められるものである。

特定財源の推移について、本年度は国庫支出金が649億円で、前年度に比べ359億円の増、都支出金が142億円で、前年度に比べ25億円の増となった。これらの影響等により、本年度の特定財源は916億円で、前年度に比べ390億円の増となった。また、本年度の特定財源比率は48.8％で、前年度を13.7ポイント上回った。

第5表　特定財源の推移

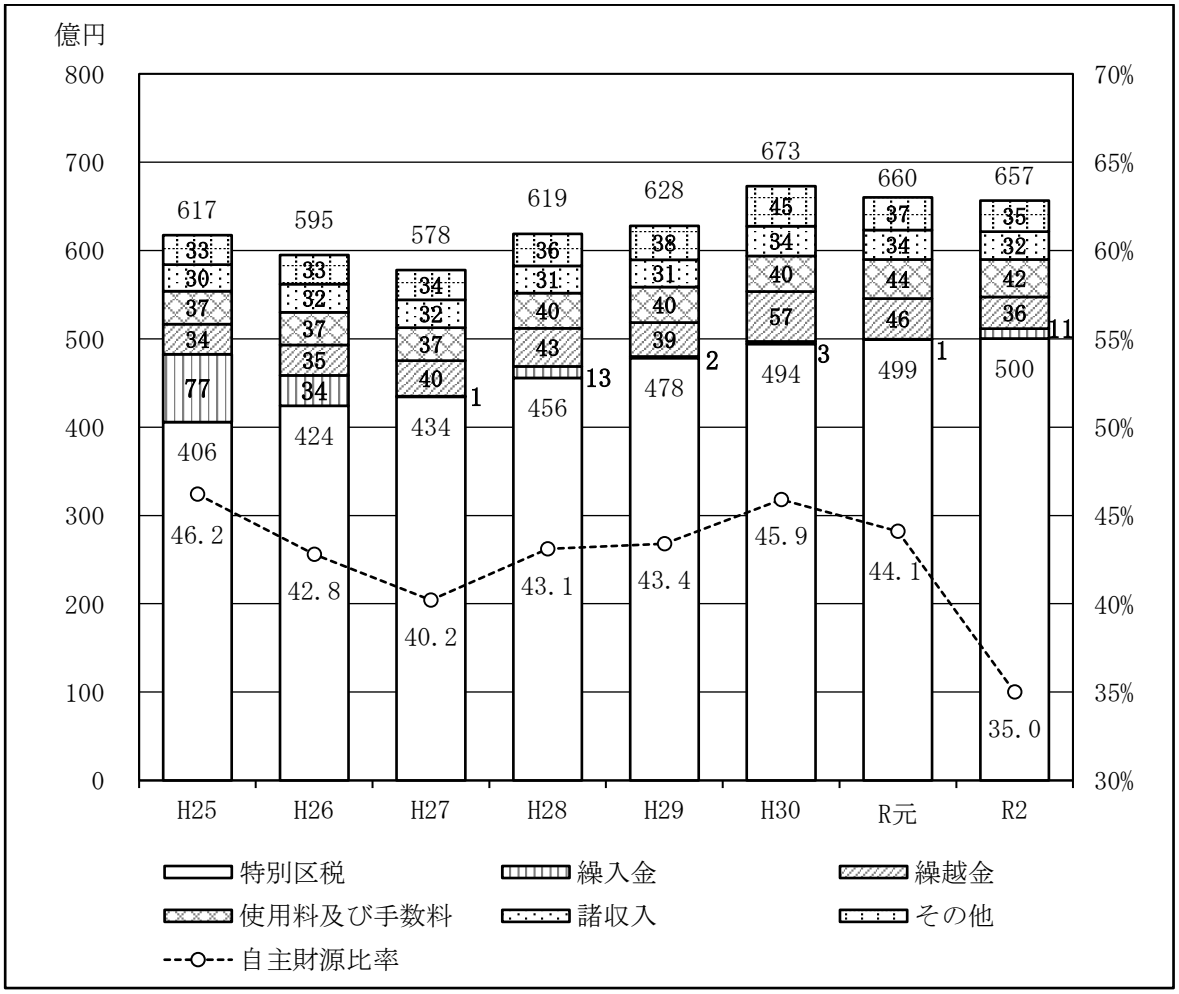


(ｳ) 自主財源

収入の区分において、自主財源とは、地方公共団体が自らの機能を行使して調達しうる財源であり、特別区税、繰入金、繰越金、使用料及び手数料等がこれに当たる。歳入に占める自主財源の割合（自主財源比率）は、その団体の財政運営の自主性と安定性を図る尺度となる。

自主財源の推移について、本年度は特別区税が500億円で、前年度に比べ1億円の増となったものの、繰越金が36億円で、前年度に比べ10億円の減、使用料及び手数料が42億円で、前年度に比べ2億円の減となった。これらの影響等により、本年度の自主財源は657億円で、前年度に比べ3億円の減となった。また、本年度の自主財源比率は35.0％で、前年度を9.1ポイント下回った。

第6表　自主財源の推移

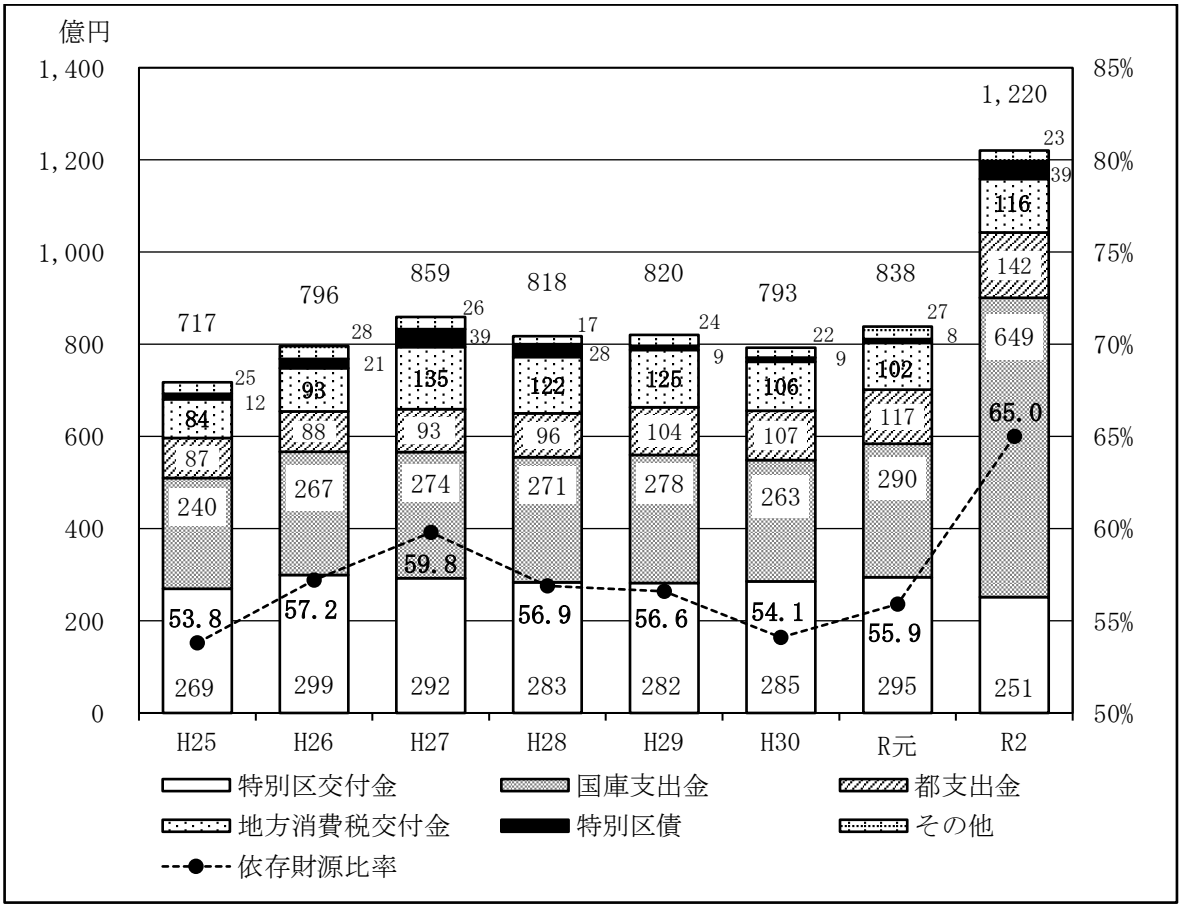


(エ) 依存財源

収入の区分において、依存財源とは、収入の源泉を国や東京都に依存し、その額と内容が国や東京都の定める具体的基準ないし意思決定にかかっているものをいい、特別区交付金、国庫支出金、都支出金等がこれに当たる。特別区債は発行する際に都知事への協議を要することから、依存財源に区分している。

依存財源の推移について、本年度は特別区交付金が251億円で、前年度に比べ44億円の減となったものの、国庫支出金が649億円で、前年度に比べ359億円の増、都支出金が142億円で、前年度に比べ25億円の増、地方消費税交付金が116億円で、前年度に比べ14億円の増となった。これらの影響等により、本年度の依存財源は1,220億円で、前年度に比べ382億円の増となった。また、本年度の依存財源比率は65.0%で、前年度を9.1ポイント上回った。

第7表　依存財源の推移

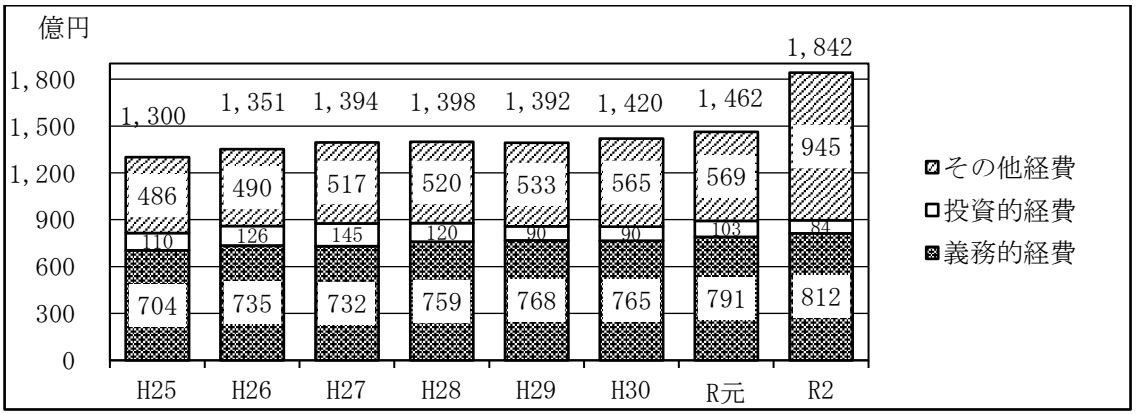


オ　歳出（性質別経費）の状況

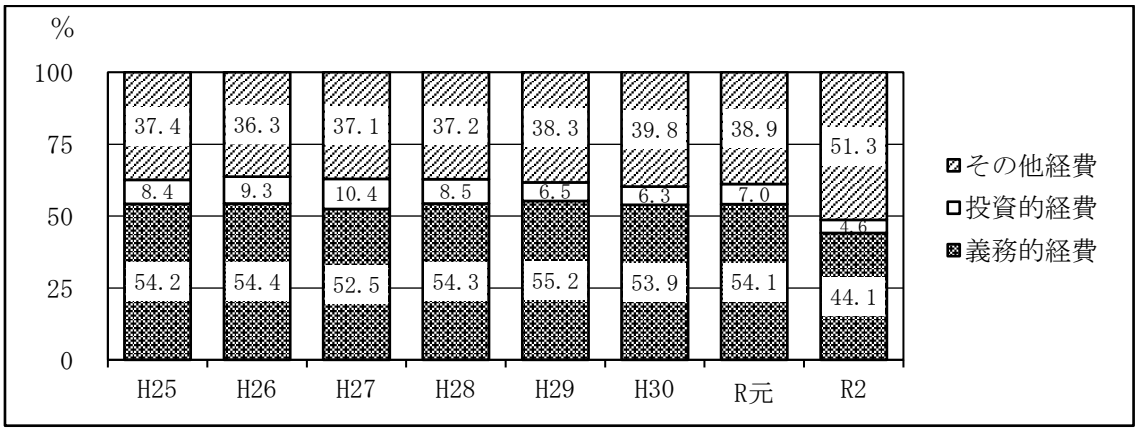
義務的経費とは、職員の給与等の人件費、生活保護費等の扶助費及び特別区債元利償還金等の公債費の合計であり、その性質上、任意に削減が困難な経費である。義務的経費の増加は、財政構造の硬直化の要因となるため、その動向に留意が必要である。投資的経費とは、道路や学校など公共施設の用地取得や建設事業に要する経費で、資本形成に資するものである。今後の施設の更新需要に備えるため、一定の財源を確保していく必要がある。また、その他経費とは、義務的経費、投資的経費以外の経費の合計であり、物件費、補助費等、積立金、繰出金等の経費によって構成される。

性質別経費の推移の状況について、義務的経費は812億円で、前年度と比べ21億円の増、投資的経費は84億円で、前年度と比べ19億円の減、その他経費は945億円で、前年度と比べ376億円の増となっている（第8表参照）。また、性質別経費の構成比の推移については、義務的経費の動向に留意が必要であるが、本年度の構成比は44.1％で、前年度を10.0ポイント下回った（第9表参照）。

第8表　性質別経費の推移

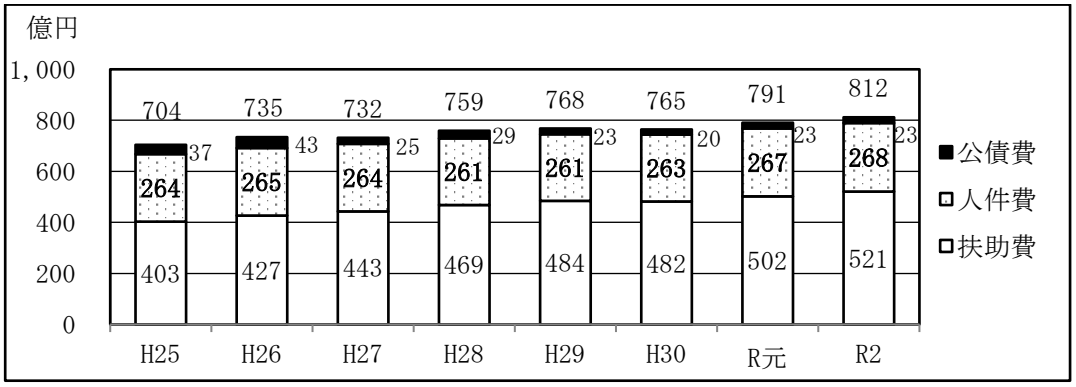


第9表　性質別経費（構成比）の推移



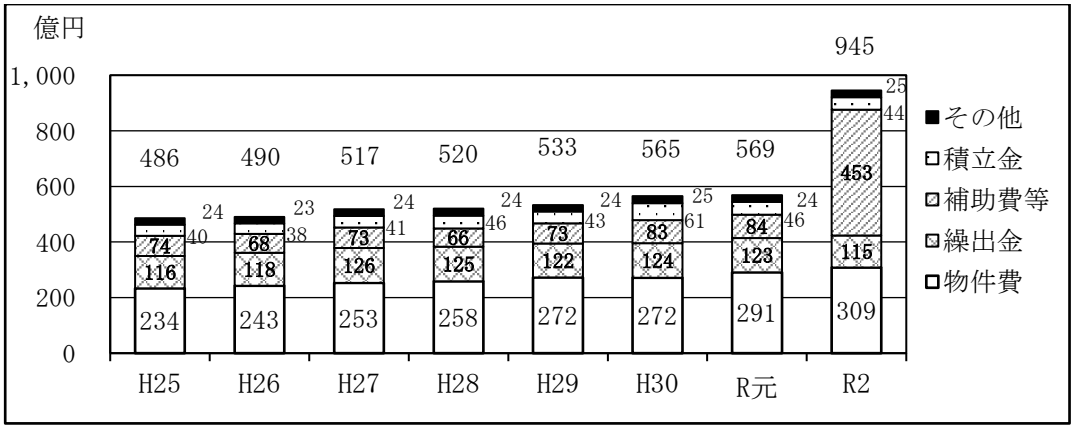
義務的経費では、人件費はほぼ横ばいの状況にあり、本年度は268億円となった。また、前年度に比べ扶助費は19億円の増となった。

第10表　義務的経費の推移



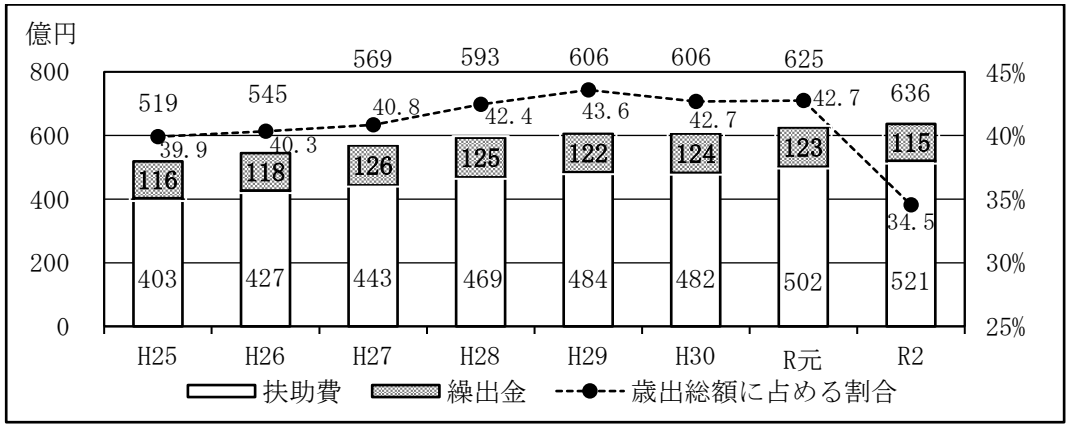
その他経費では、特別会計への繰出金が前年度に比べて8億円の減となったものの、物件費は前年度に比べて18億円、補助費等は369億円の増となった。

第11表　その他経費の推移



扶助費と特別会計への繰出金が歳出総額に占める割合は、福祉や医療の需要増大に伴い増加してきたが、本年度は補助費等の大幅な増もあり、34.5%で、前年度に比べ8.2ポイント下回っている。

第12表　扶助費と繰出金の推移



(2) 国民健康保険特別会計

ア　決算収支の状況

本年度の国民健康保険特別会計の決算は、歳入が353億円余、歳出が349億円余であった。前年度に比べ、歳入で21億円余、5.7%の減、歳出で18億円余、5.0%の減となった。

第13表　決算収支の状況

（単位：千円・%）

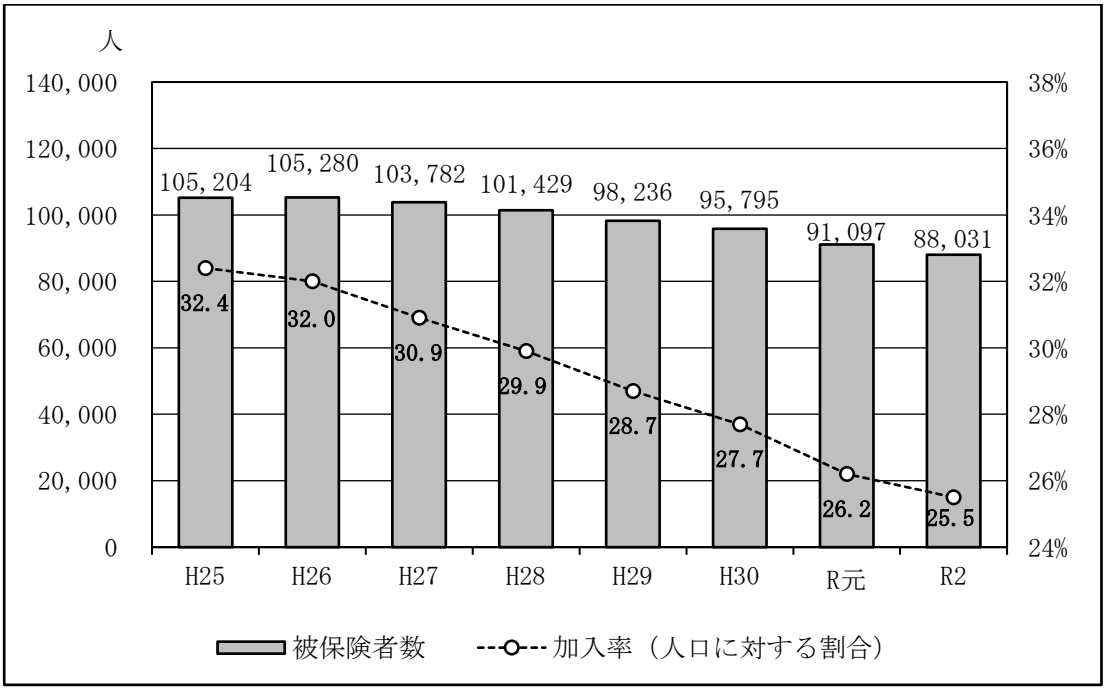
区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳入総額　　A	35,347,736	37,493,269	△ 2,145,533	△ 5.7
歳出総額　　B	34,933,659	36,788,218	△ 1,854,559	△ 5.0
形式収支　C＝A－B	414,077	705,051	△ 290,974	△ 41.3
翌年度へ繰り越すべき財源D	0	0	0	0
実質収支　E＝C－D	414,077	705,051	△ 290,974	△ 41.3

イ　被保険者数等の推移

本年度末時点の国民健康保険被保険者数は、一般被保険者は88,031人、退職被保険者は退職者医療制度経過措置終了に伴う皆減となったため、88,031人で、前年度に比べ3,066人の減となった。

また、国民健康保険加入率は、25.5%であり、前年度を0.7ポイント下回った。

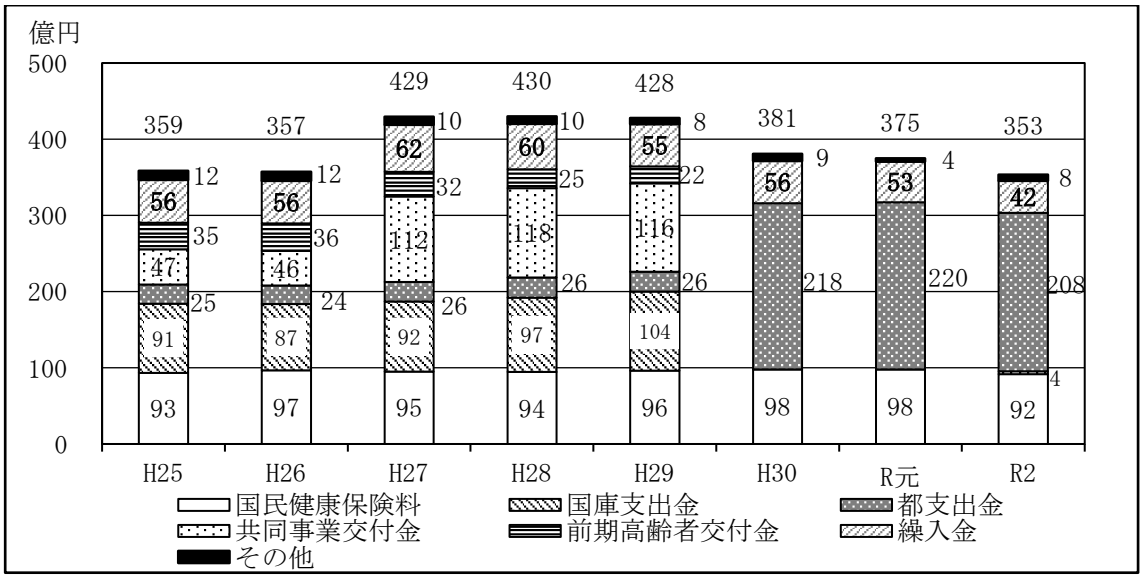
第14表　被保険者数等の推移



ウ　歳入の状況

歳入決算額は、前年度に比べ、国庫支出金が4億円、242,867.5%の増となったものの、都支出金が12億円、5.3%の減、繰入金が11億円、21.2%の減となった。これらの影響等により、本年度の歳入は353億円で、前年度に比べ22億円、5.7%の減となった。

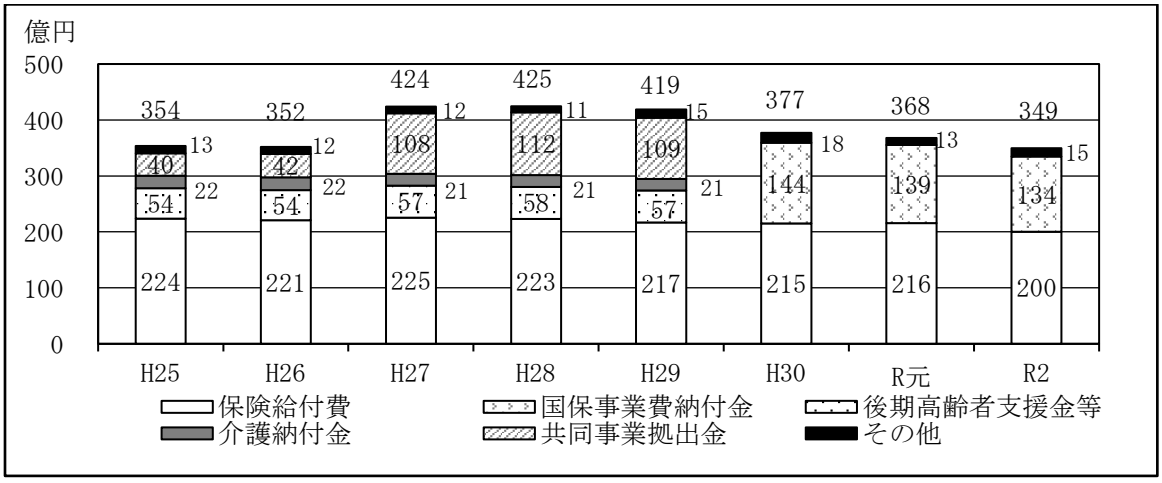
第15表　歳入の推移



エ　歳出の状況

歳出決算額は、前年度に比べ、保険給付費が16億円、7.2%の減、国民健康保険事業費納付金が5億円、3.7%の減となった。これらの影響等により、本年度の歳出は349億円で、前年度に比べ19億円、5.0%の減となった。

第16表　歳出の推移



(3) 介護保険特別会計

ア　決算収支の状況

本年度の介護保険特別会計の決算は、歳入が260億円余、歳出が245億円余であり、前年度に比べ、歳入で10億円余、4.2%の増、歳出で2億円余、1.1%の増となった。

第17表　決算収支の状況

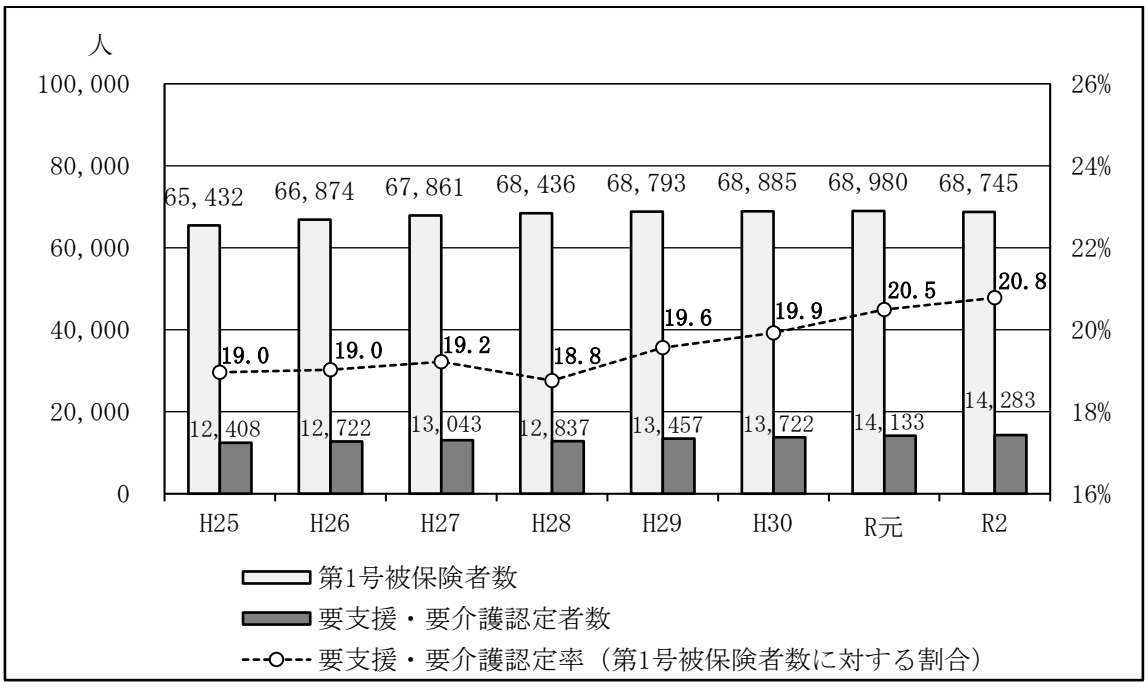
（単位：千円・%）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳入総額　　A	26,023,020	24,974,539	1,048,481	4.2
歳出総額　　B	24,564,222	24,305,024	259,198	1.1
形式収支　C＝A－B	1,458,798	669,515	789,283	117.9
翌年度へ繰り越すべき財源D	0	0	0	0
実質収支　E＝C－D	1,458,798	669,515	789,283	117.9

イ　被保険者数等の推移

本年度末時点の第1号被保険者数は、68,745人で前年度に比べ235人の減であった。要支援・要介護者数は14,283人で前年度に比べ150人の増であった。また、要支援・要介護認定率は、20.8%であり、前年度を0.3ポイント上回った。

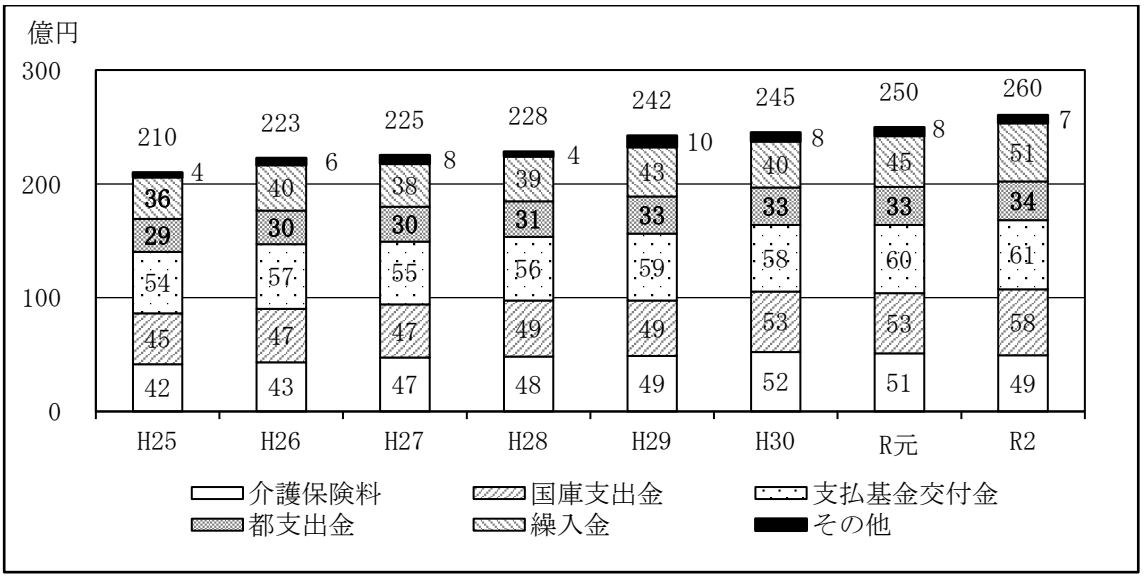
第18表　被保険者数等の推移



ウ　歳入の状況

歳入決算額の推移は、平成25年度から増加傾向である。本年度は、繰入金が51億円で、前年度に比べ6億円、14.4%の増となった。繰入金のうち、一般会計からの繰入金は43億円で、前年度に比べ3億円の増、介護給付準備基金からの繰入金は8億円で、前年度に比べ3億円の増となった。

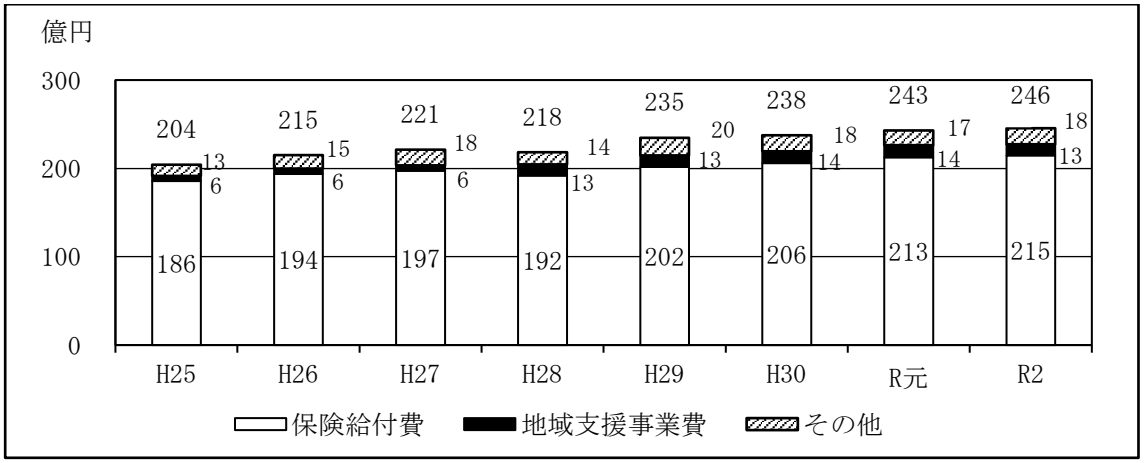
第19表　歳入の推移



エ　歳出の状況

本年度の歳出決算額は246億円で、平成25年度の204億円と比べると42億円、20.2%の増となっている。本年度は、保険給付費が215億円で、前年度に比べ2億円、1.0%の増、基金積立金や諸支出金等のその他の経費が、1億円の増となった。

第20表　歳出の推移



(4) 後期高齢者医療特別会計

ア　決算収支の状況

本年度の後期高齢者医療特別会計の決算は、歳入が73億円余、歳出が72億円余であり、前年度に比べ、歳入で3千万円余、0.5%の増、歳出で3千万円余、0.5%の増となった。

第21表　決算収支の状況

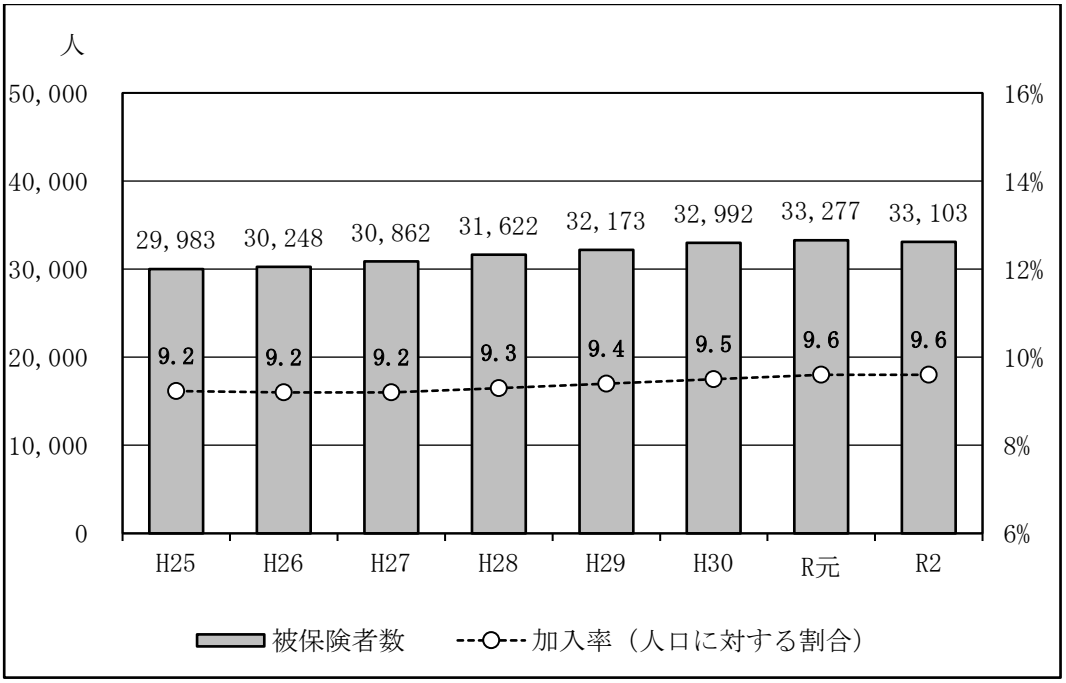
（単位：千円・%）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳入総額　　A	7,332,459	7,294,127	38,332	0.5
歳出総額　　B	7,291,642	7,256,646	34,996	0.5
形式収支　C＝A－B	40,817	37,481	3,336	8.9
翌年度へ繰り越すべき財源D	0	0	0	0
実質収支　E＝C－D	40,817	37,481	3,336	8.9

イ　被保険者数等の推移

本年度末時点の後期高齢者医療被保険者数は33,103人で前年度に比べ174人の減であった。また人口に占める加入率は9.6%で、前年度から横ばいであった。

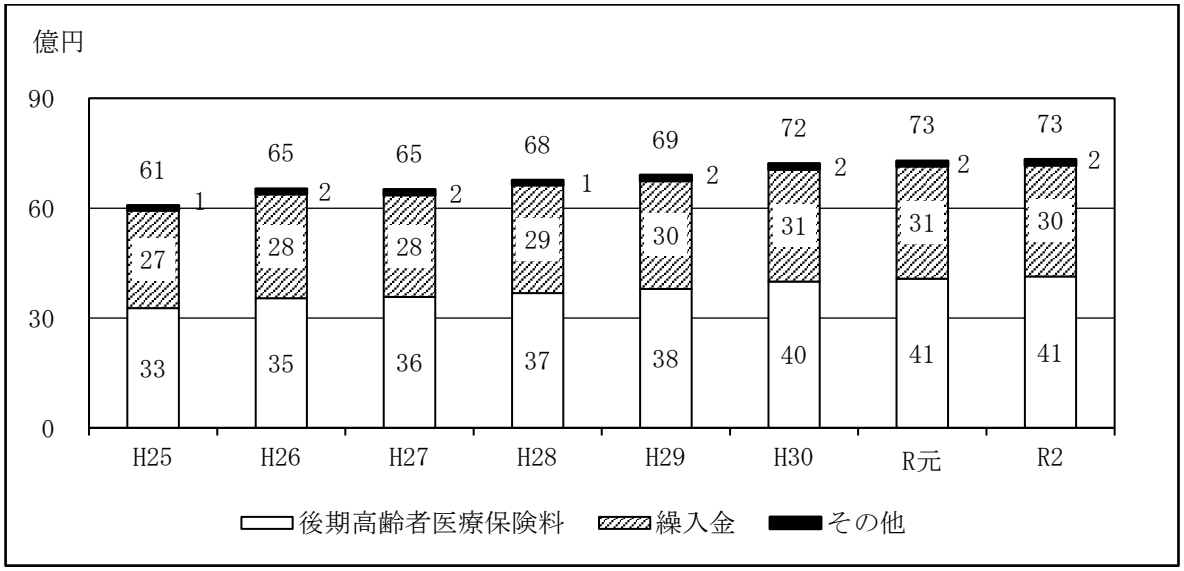
第22表　被保険者数等の推移



ウ　歳入の状況

歳入決算額の推移は、平成25年度から増加傾向である。本年度は、繰入金が30億円で、前年度に比べ1億円、1.3%の減となった。

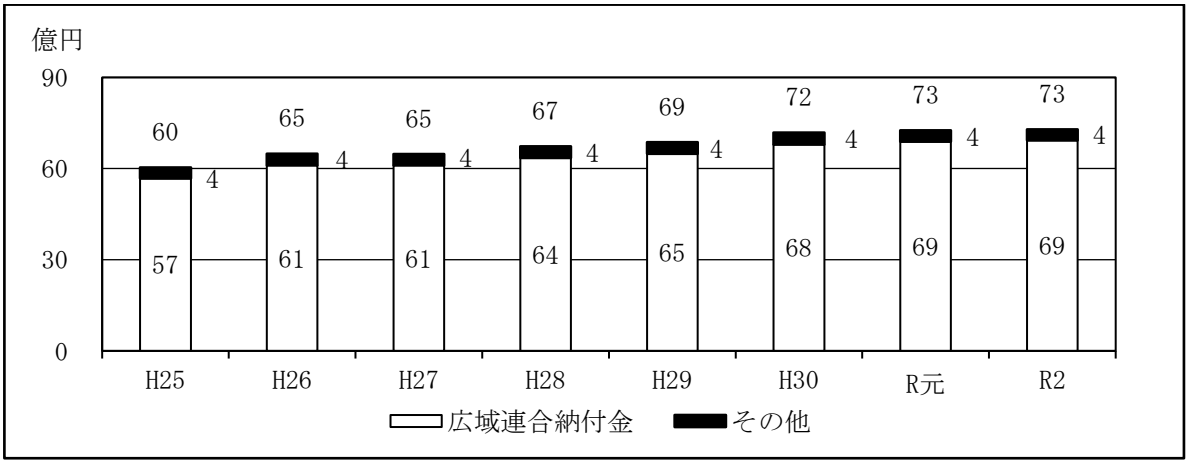
第23表　歳入の推移



エ　歳出の状況

本年度の歳出決算額は73億円で、平成25年度の60億円と比べて13億円、20.9%の増となっている。歳出の大部分を占める広域連合納付金は、本年度は69億円で、前年度から横ばいであった。

第24表　歳出の推移



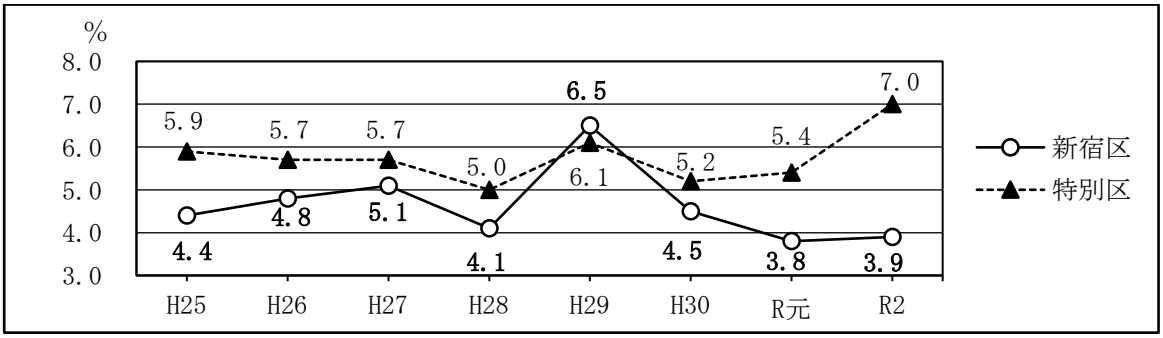
(5) 財政指標の状況

地方公共団体の団体間比較のため、総務省の定める全国統一基準により一般会計を再構成したものが普通会計であり、普通会計決算における財政指標については以下のとおりである。なお、本年度分の数値は決算速報値である。

ア　実質収支比率（実質収支／標準財政規模×100）

実質収支比率は、標準的な一般財源の規模である標準財政規模に対する実質収支の割合であり、財政運営状況を判断するための指標である。実質収支比率が正数の場合は黒字であり負数の場合は赤字であるが、おおむね3%から5%の範囲内が望ましいとされている。本年度は3.9%で、前年度に比べ0.1ポイント上回っており、特別区平均を3.1ポイント下回っている。

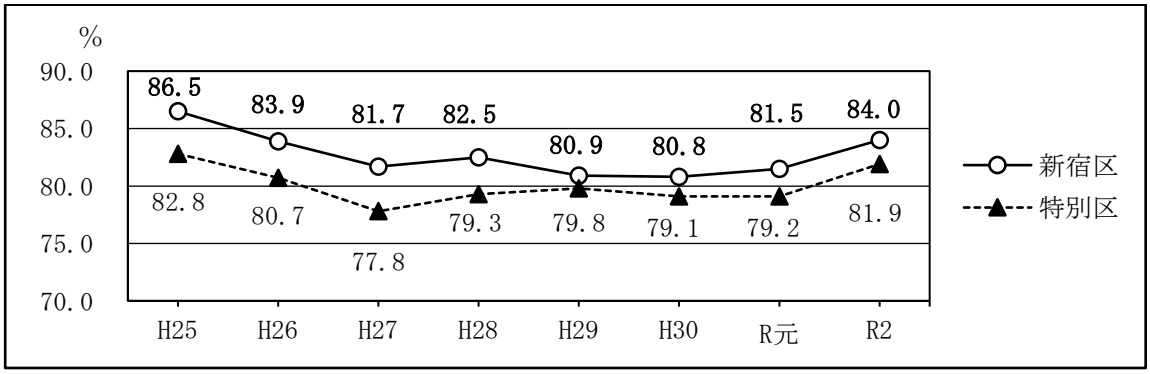
第25表　実質収支比率の推移



イ　経常収支比率（経常的経費充当一般財源／経常一般財源総額×100）

経常収支比率は、特別区税等の経常一般財源総額に対する容易に縮減することが困難な経常的経費に充当される一般財源の割合であり、財政構造の弾力性を判断するための指標である。おおむね70%から80%の範囲内が適正とされているが、本年度は84.0%で、前年度に比べ2.5ポイント上回っており、特別区平均を2.1ポイント上回っている。

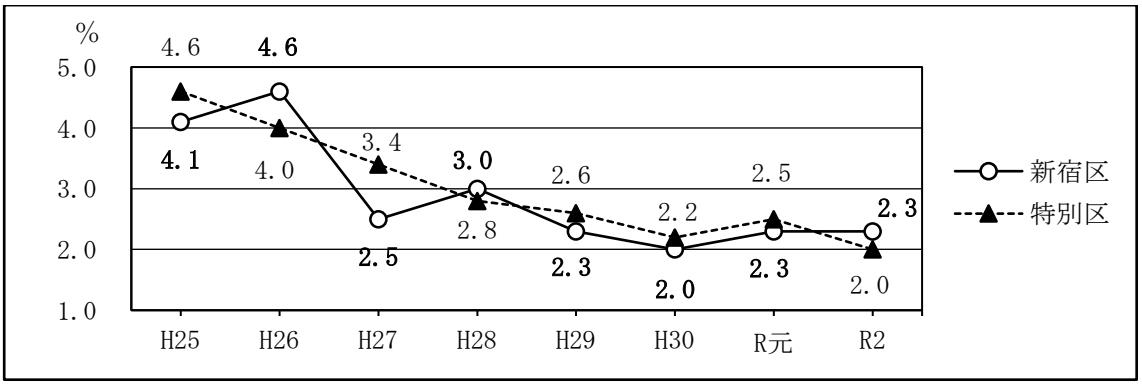
第26表　経常収支比率の推移



ウ　公債費負担比率（公債費充当一般財源／一般財源総額×100）

公債費負担比率は、一般財源総額に対する公債費に充当された一般財源の割合であり、公債費がどの程度一般財源の使途を制約しているかを見ることにより、財政構造の弾力性を判断するための指標である。本年度の公債費負担比率は2.3%で、前年度と同じであり、特別区平均を0.3ポイント上回っている。

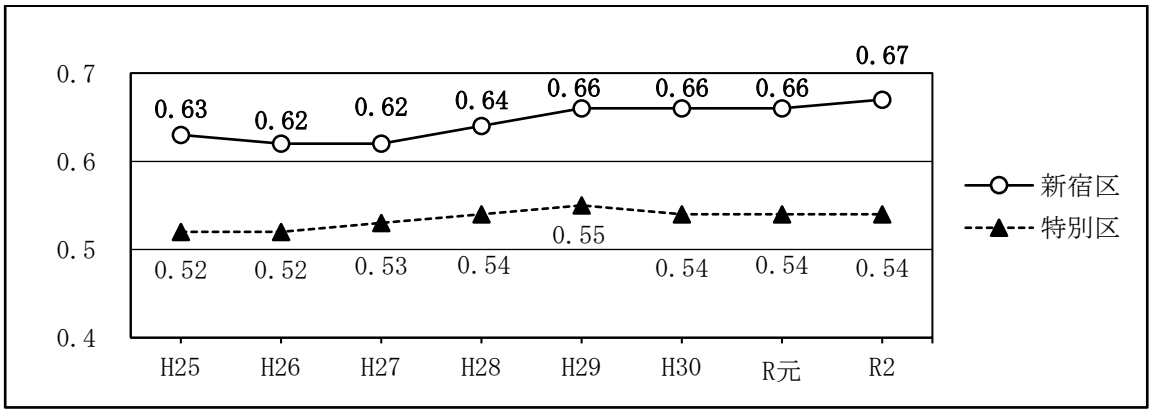
第27表　公債費負担比率の推移



エ　財政力指数（「基準財政収入額／基準財政需要額」の過去3年平均値）

財政力指数は、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値であり、財政力を判断するための指標である。この指数が大きいほど財源に余裕があるとされ、１を超える地方公共団体は地方交付税算定上の収入超過団体となり普通交付税は交付されない。本年度の財政力指数は0.67で、前年度より0.01ポイント上回っている。また、特別区平均より高い水準にあり、本年度は特別区平均を0.13ポイント上回っている。なお、特別区の場合、この指標については、特別区財政調整交付金の算定に要した基準財政需要額と基準財政収入額によって算出したものであり、市町村などの普通地方公共団体と比較することはできない。

第28表　財政力指数の推移



(6) 基金及び後年度負担の状況

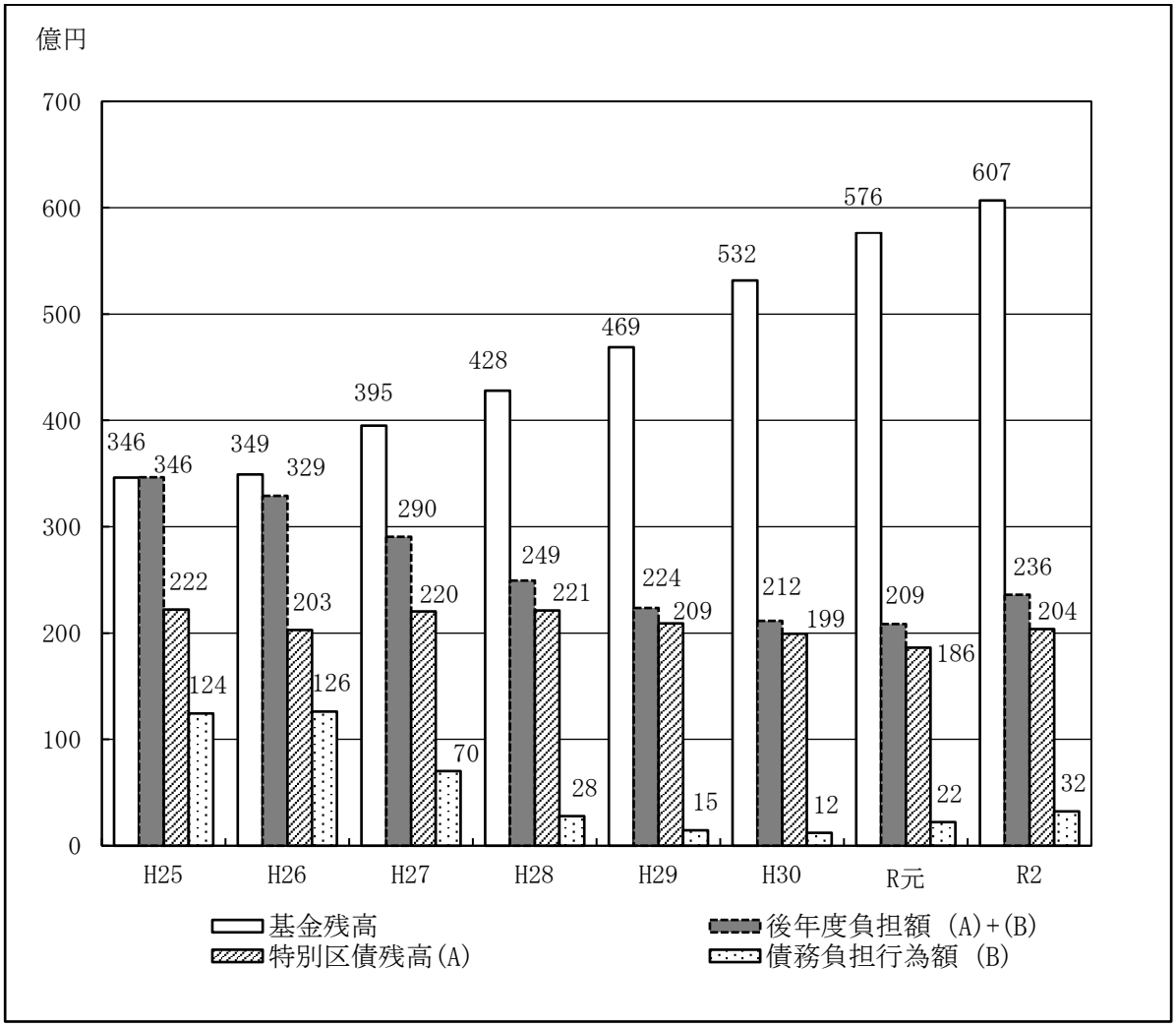
今後の財政運営のためには、将来の行政需要に対する蓄えとしての積立基金や、将来の負担となる特別区債及び債務負担行為の動向に特に留意する必要がある。

本年度の運用基金を含む基金残高は607億円で、平成25年度以降で最も多くなり、25年度に比べ261億円の増、前年度に比べ31億円の増となった。

また、後年度負担額は平成25年度以降減少を続けていたが、本年度は236億円で、前年度に比べ27億円の増となった。そのうち、特別区債残高は18億円の増、債務負担行為額は10億円の増となっている。

なお、本年度の基金残高と後年度負担額の差引額は371億円で、前年度の差引額367億円から4億円増え、平成25年度以降で最も多くなっている。

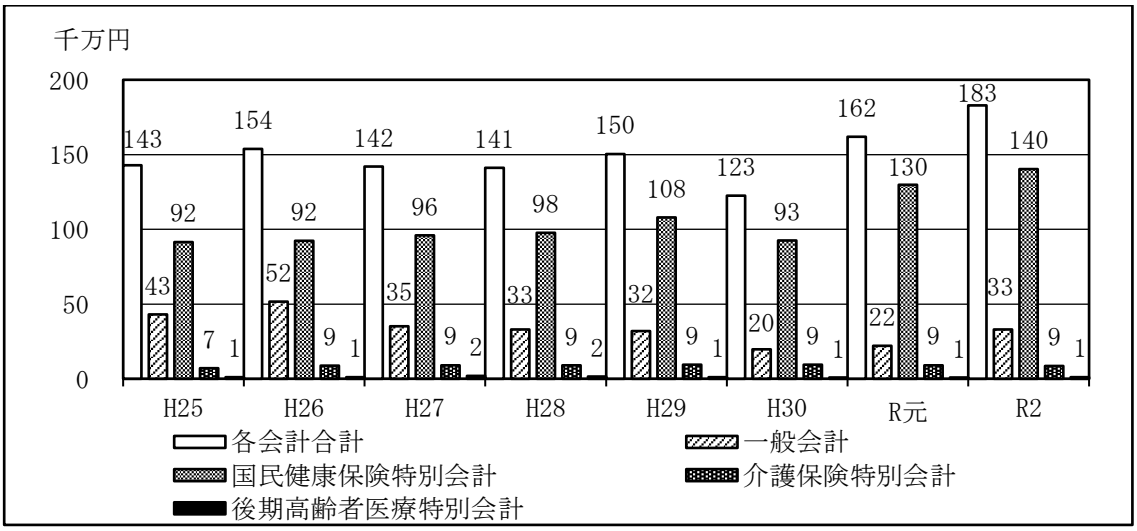
第29表　基金残高及び後年度負担額の推移



(7) 不納欠損額

本年度の不納欠損額は、一般会計が3億3千万円、国民健康保険特別会計が14億円、介護保険特別会計が9千万円、後期高齢者医療特別会計が1千万円であり、各会計の合計は18億3千万円で、前年度に比べ2億1千万円の増であった。

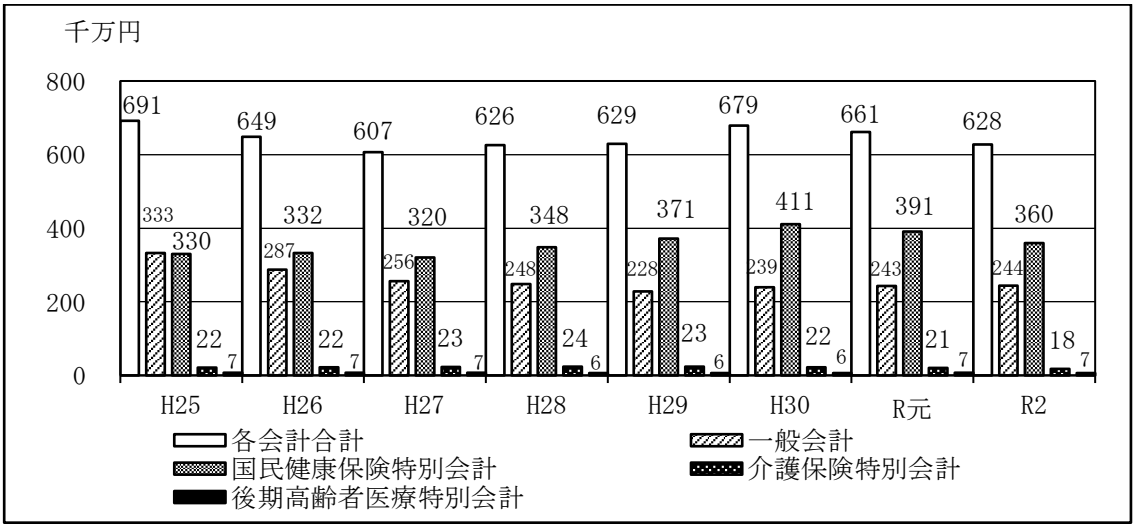
第30表　不納欠損額の推移



(8) 収入未済額

本年度の収入未済額は、一般会計が24億4千万円、国民健康保険特別会計が36億円、介護保険特別会計が1億8千万円、後期高齢者医療特別会計が7千万円であり、各会計の合計は62億8千万円で、前年度に比べ3億3千万円の減であった。

第31表　収入未済額の推移

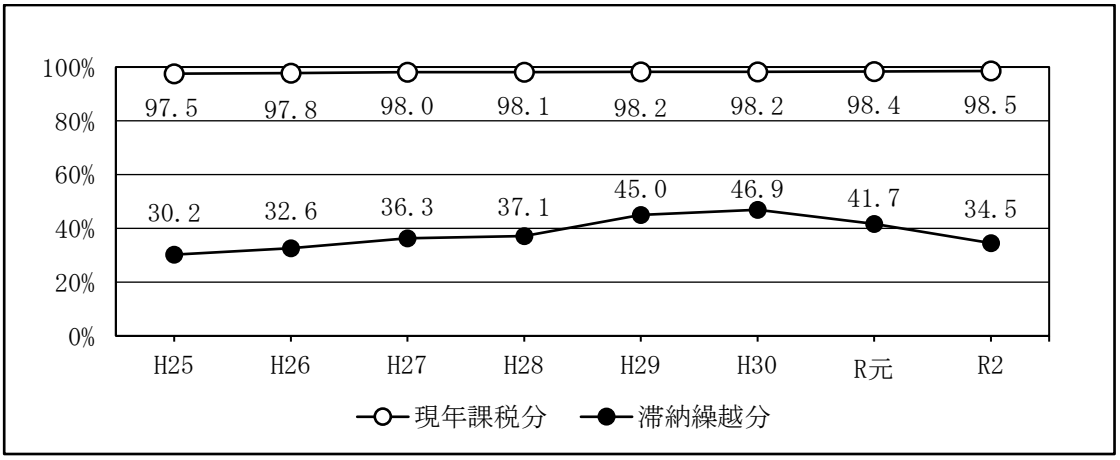


(9) 収入率

ア　特別区税のうち特別区民税

本年度の現年課税分の収入率は98.5%で、前年度を0.1ポイント上回った。滞納繰越分の収入率は34.5%で前年度を7.2ポイント下回った。近年の収入率の推移は、おおむね横ばいの状況であるが、本年度は、現年課税分の収入率が前年度を上回った。

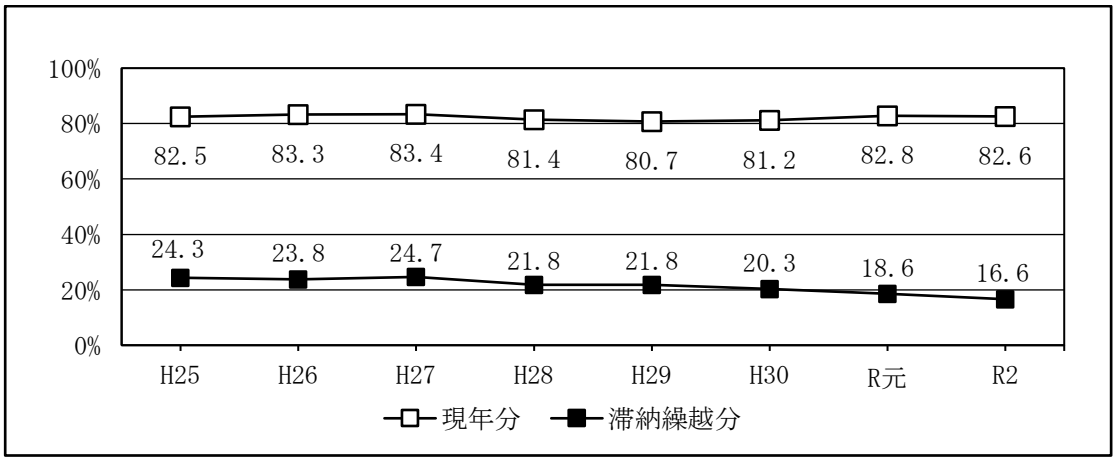
第32表　特別区民税　収入率の推移



イ　国民健康保険料

本年度の現年分の収入率は82.6%で、前年度を0.2ポイント下回った。滞納繰越分の収入率は16.6%で、前年度を2.0ポイント下回った。近年の収入率の推移は、おおむね横ばいの状況であるが、本年度は、現年分・滞納繰越分ともに収入率が前年度を下回った。

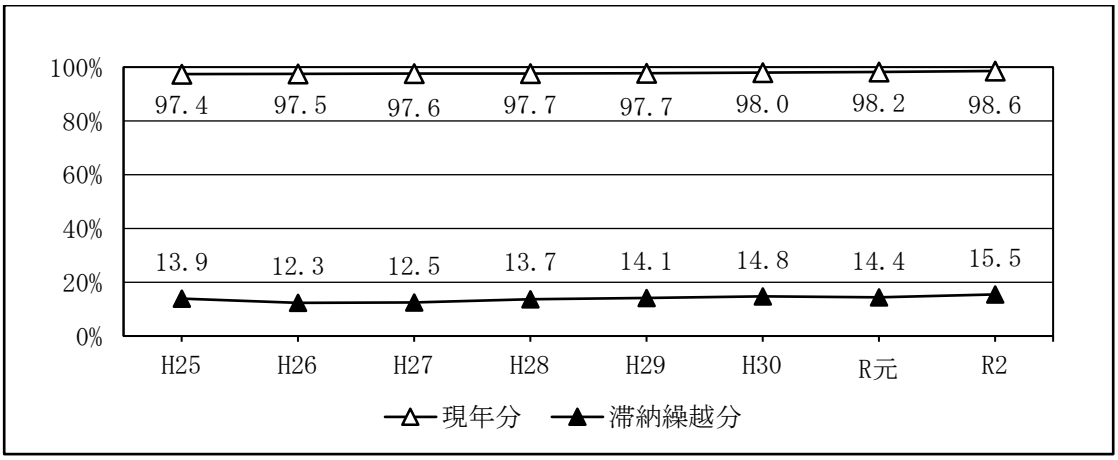
第33表　国民健康保険料　収入率の推移



ウ　介護保険料

本年度の現年分の収入率は98.6％で、前年度を0.4ポイント上回った。滞納繰越分の収入率は15.5％で前年度を1.1ポイント上回った。近年の収入率の推移は、おおむね横ばいの状況であるが、本年度は、現年分・滞納繰越分ともに収入率が前年度を上回った。

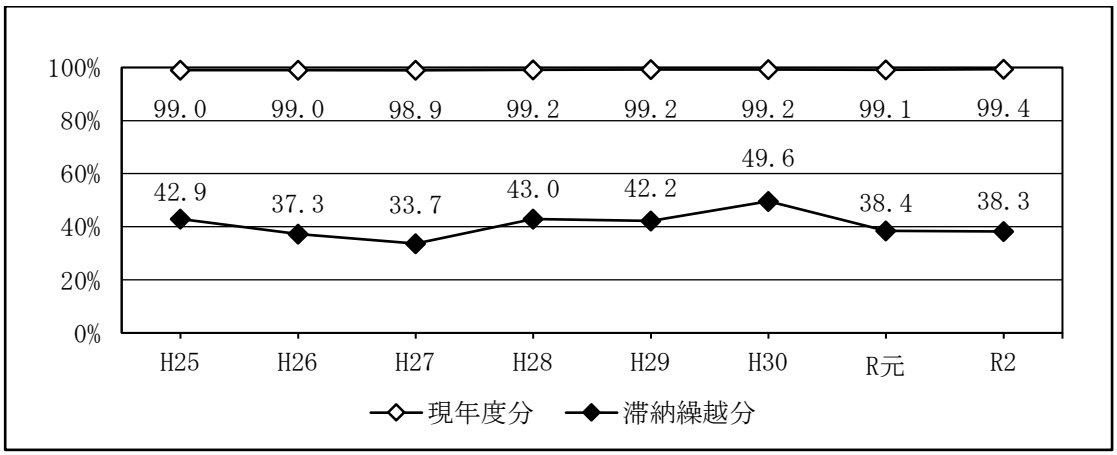
第34表　介護保険料　収入率の推移



エ　後期高齢者医療保険料

本年度の現年度分の収入率は99.4％で、前年度を0.3ポイント上回った。滞納繰越分の収入率は38.3％で前年度を0.1ポイント下回った。近年の収入率の推移は、おおむね横ばいの状況であるが、本年度は、現年度分の収入率が前年度を上回った。

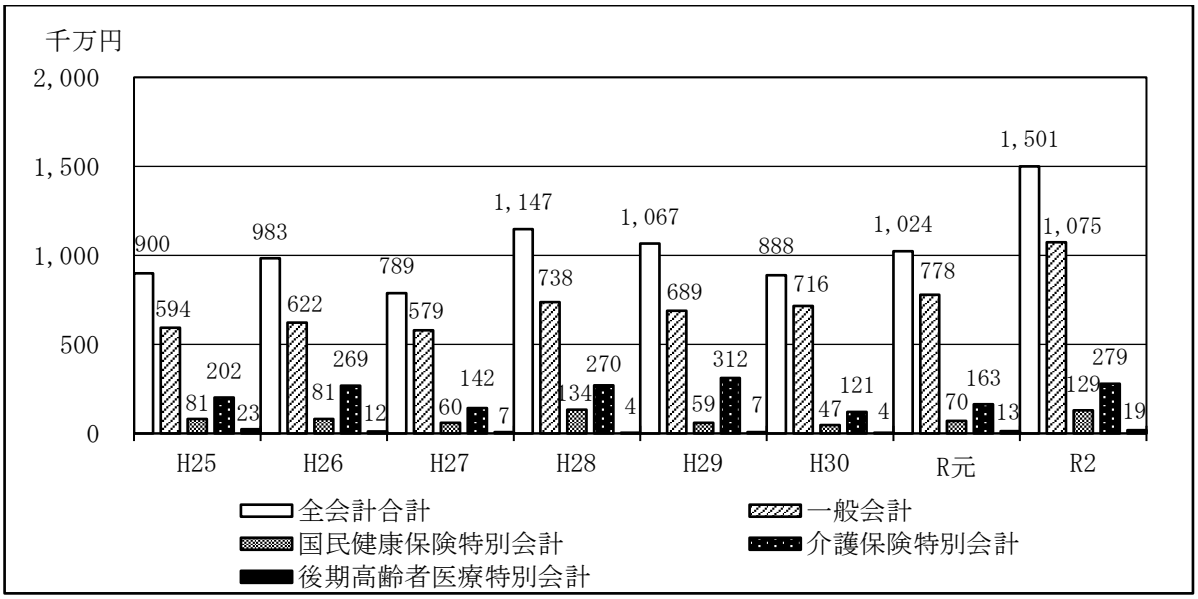
第35表　後期高齢者医療保険料　収入率の推移



(10) 不用額

本年度の不用額は、一般会計が107億5千万円、国民健康保険特別会計が12億9千万円、介護保険特別会計が27億9千万円、後期高齢者医療特別会計が1億9千万円であり、各会計の合計は150億1千万円となり、前年度に比べ47億7千万円の増となった。

第36表　不用額の推移



(11) 基金の繰替運用の状況

区では、一般会計及び全ての特別会計の歳計現金に、歳計外現金及び3つの運用基金を合わせ、総合会計として管理している。

総合会計残高が支払予定に対し十分に余裕があるときは、定期預金等での運用を行い、逆に、現金残高に不足がある場合は、基金から繰替運用を行い対応している。平成25年度から26年度の繰替運用額は、10億円から30億円の間で推移していたが、平成27年度以降、本年度も繰替運用を行っていない。

４　財産の状況

(1) 公有財産（104 ページ以降）

土地については、105 万平方メートル余で、前年度末と比べ 88 平方メートル余の増となった。これは主に、児童相談所関連施設の実測で増となったものである。建物については、延べ面積 63 万平方メートル余で、前年度末と比べ 1 千平方メートル余の増となった。これは主に、児童相談所関連施設の新築で増となったものである。

物権は、温泉権 1 件で、前年度末と同じである。無体財産権は、商標権 3 件と著作権 2 件の計 5 件で、前年度末と同じである。出資による権利は、8 法人、8 億円余で、前年度末と同じである。不動産の信託の受益権は、賃貸型土地信託 1 件で、前年度末と同じである。

(2) 物品（105ページ）

物品は、934点である。前年度末と比べ13点増となった。

(3) 債権（105ページ）

債権は、3億円余である。前年度末と比べ7百万円余の減となった。これは主に、奨学資金貸付金の償還によるものである。

(4) 基金（106ページ以降）

本年度末の基金現在高は、606億円余である。前年度末と比べ30億円余の増となった。これは、19億円余の取崩しがあった一方、財政調整基金へ20億円余、社会資本等整備基金へ18億円余、介護給付準備基金へ5億円余等、合計49億円余の積立てがあったことによるものである。

基金現在高のうち、財政調整基金の現在高は、338億円余となった。

本年度の基金利子収入は、3千万円余である。前年度に比べ、4百万円余の減となった。

５　運用基金の運用状況（116ページ以降）

「国民健康保険高額療養費資金貸付基金」の貸付は、前年度と同様に実績がなかった。また、「介護保険高額サービス費等資金貸付基金」も、本年度は貸付の実績がなかった。「公共料金支払基金」の払出の実績は11億円余であり、運用回転数（払出額÷基金額）は3.88回転であった。

６　まとめ

⑴　令和２年度の財政運営について

①　歳入歳出及び実質単年度収支の状況について

ア　歳入について特別区税は、特別区たばこ税の７億円余の減はあったものの、納税義務者数の増等により１億円余の増、国庫支出金が特別定額給付金給付事業費の皆増などにより 359 億円余の増、都支出金が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆増などにより 25 億円余の増、特別区債が調整債の皆増などにより 31 億円余の増となった。一方、特別区交付金が都区財政調整制度の原資である調整税等（特別区区域内における住民税法人分、固定資産税、特別土地保有税、法人事業税交付対象額）の減により 43 億円余の減となったほか、繰越金が 10 億円余の減、地方特例交付金が５億円余の減となった。これらの結果、一般会計における歳入の規模は前年度に比べ 378 億円余の増となり、過去最大のものとなった。

イ　歳出について性質別に見ると、義務的経費である扶助費は 19 億円余、その他経費である物件費は 17 億円余、補助費等は 368 億円余の増となった一方で、投資的経費である普通建設事業費が 18 億円余の減となった。これらの結果、一般会計における歳出の規模は前年度に比べ 379 億円余の増となり、過去最大のものとなった。予算現額に対する執行率は、前年度を 0.4 ポイント下回る 94.4％であった。

ウ　実質単年度収支は、平成 24 年度までは４年連続の赤字であったが、25 年度から黒字に転じ、本年度で８年連続の黒字となった。本年度の黒字額は 13 億円余で前年度に比べ５億円余の減となった。

②　財政指標の状況について

ア　実質収支比率は、おおむね 3％～5％の範囲内が望ましいとされており、前年度を 0.1 ポイント上回る 3.9％となった。

イ　経常収支比率は、一般的な適正水準が 70％～80％と言われているが、前年度を 2.5 ポイント上回る 84.0％となった。

ウ　公債費負担比率は、前年度と同じ 2.3％となった。

③　基金残高及び後年度負担額の状況について

ア　本年度、区は 18 の積立基金と３つの運用基金を設置しており、その合計残高は 606 億円余で、前年度に比べ 30 億円余、5.3％の増となった。

イ　特別区債残高と債務負担行為額の合計である後年度負担額は 236 億円余で、前年度に比べ 27 億円余、13.2％の増となった。そのうち、特別区債残高は 203 億円余で、17 億円余、9.3％の増、債務負担行為額は 32 億円余で、10 億円余、

45.5％の増となった。

ウ　基金残高から後年度負担額を差し引いた額は370億円余で、前年度に比べ2億円余、0.8％の増となった。

④　不納欠損及び収入未済の状況について

不納欠損額は、一般会計と特別会計を合わせて18億円余で、前年度に比べ2億円余、13.0％の増となった。

収入未済額は、一般会計と特別会計を合わせて62億円余で、前年度に比べ3億円余、5.1％の減となった。

⑵ 今後の財政運営について

【区を取り巻く情勢】

令和3年7月の「令和3（2021）年度内閣府年央試算」では、我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、輸出や生産を中心に持ち直しの動きが続いているものの、サービス消費など一部で弱さが増している。今後は、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動等の影響に注意する必要があるとされた。

このような状況において、区は、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた区民生活や地域経済を支援する取組を、補正予算等を通じて適宜適切に行ってきた。今なお新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、今後の区財政は一般財源の伸びが期待できないなど、厳しい財政運営が想定される。

令和3年度は第二次実行計画がスタートする年である。現下の厳しい状況であっても、区民の命と暮らしを守り、地域経済の回復に向け、「新たな日常」を基軸とした各施策が着実に実行されるために、将来にわたり持続可能で強固な財政基盤を確立する必要がある。

【本年度の決算状況】

本年度の決算は、前述したとおり、実質単年度収支が8年連続の黒字となったものの、前年度と比較して5億円余の減となり、平成27年度から5年連続で財政調整基金の取崩しがなかった状況から、6年ぶりに8億円の取崩しを行った。また、特例的な区債である調整債及び減収補填債を活用したことなどにより、後年度負担額は27億円余の増となったものの、積立基金残高は30億円余の増という決算になった。

本年度は一年を通し新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年であった。東京２０２０オリンピック・パラリンピックの開催一年延期をはじめ、コロナ禍で次々

と発生する諸課題に対し、各種給付金や生活困窮者自立支援事業、店舗等家賃減額助成など14回の補正予算及び予備費充用等で、より機動的かつ的確に対応してきたことは、大いに評価できる。

一方、歳出面では、扶助費をはじめとする義務的経費や物件費等が増となったことにより、経常収支比率は前年度を2.5ポイント上回る84.0%となり、依然として適正水準と言われる範囲を超えている。

【財政運営の留意点】

以上を踏まえ、多様化する区民ニーズに加え、新型コロナウイルス感染症等による社会経済情勢の変化にもスピード感をもって対応できる柔軟な財政運営と強固な財政基盤を確立するため、以下の点に留意されたい。

①　歳入確保に向けた更なる取組

ア　特別区税は区の歳入の根幹を成すものであり、区民の公平な負担という観点からも確実な徴収を行う必要がある。特別区税の中でも、特別区民税の対調定収入率は増加傾向にあり、本年度は前年度と同じ 96.7%であったが、なかでも現年課税分は98.5%と、前年度を0.1ポイント上回っていた。一方、滞納繰越分については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、年度前半の滞納処分等を控えたこともあり、対調定収入率が34.5%と、前年度を7.2ポイント下回った。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ではあるが、今後も引き続き積極的な歳入確保に努められたい。

イ　国民健康保険料の対調定収入率については、特別区税や他の保険料に比べ低率で推移している。本年度については、対調定収入率を前年度と比較すると、現年分は0.2ポイント、滞納繰越分は2.0ポイント下回っている。特別区の中でも、異動率（被保険者に対する資格取得・喪失者数の割合）が高く、国籍が多様化するなど本区特有の課題がある中で、多言語による制度の趣旨普及に加え、本年度はＱＲコードを用いた新しい手法により納付を促す取組も見られた。異動率が高い状況を踏まえたうえで、今後は、区内に現住しているにもかかわらず滞納となる場合等の要因分析を行うなど、制度理解の促進、収納率の向上につなげることが必要である。

また、一般会計から国民健康保険特別会計への繰入金は42億円余で、前年度に比べ11億3千万円余、21.2%の減となった。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う、被保険者数と保険給付費の実績が減少したことが要因として挙げられる。一般会計からの繰入金が減少することは、区財政にとって望ましいことである。保険財政基盤の安定と負担の公平性を確保するという両面の視点から、国民健康保険特別会計の財政の健全化を図るための取組に

期待する。

ウ　本年度の収入未済額については、前述したとおり、前年度に比べ3億円余、5.1%の減となっており、現年度分に注力し滞納繰越とさせない努力や、支払能力がある滞納者に対して法的措置等の対応を取るなど、後年度に負担を残さないような徴収努力は評価できる。

収入未済額の縮減は、健全な財政運営や歳入の確保だけでなく、区民間の公平性という側面からも重要な課題である。負担の公平性・公正性を保ち、区民の納付意識を削ぐことが無いよう、督促及び催告で効果が見られない場合は、定例的な通知等にとどまることなく、より実効性のある取組をされたい。また、職員の債権管理に対する意識の向上や、他部門の効果的な取組や債権管理に関する情報を共有することも必要であり、歳入確保への更なる徴収努力を期待する。

②　効率的・効果的な区政運営

ア　本年度は、平成30年度からの3年間を計画期間とした第一次実行計画の最終年度に当たる。「暮らしやすさ1番の新宿」「新宿の高度防災都市化と安全安心の強化」「賑わい都市・新宿の創造」「健全な区財政の確立」「好感度1番の区役所」の5つの基本政策に基づき施策を体系化し、区民生活を支える優先的事業が挙げられている。しかしながら、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の影響により、中止や変更を余儀なくされた事業も多く、計画どおりの成果をあげることが困難な状況であった。こうしたコロナ禍においても行政評価（内部評価）等を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえて事業内容を検討し、社会状況の変化に応じた事業展開を行ったことは評価できる。

第二次実行計画では、「新たな日常」を基軸に、より一層の効率的かつ効果的な事業を実施されたい。

イ　区有施設等については、平成28年度に策定した新宿区公共施設等総合管理計画に基づき、本年度は区有施設等の長寿命化の実施方針を定めた個別計画を策定している。

中長期的な視点で施設の維持管理や更新等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減や平準化を進めるとともに、限られた財源の中で戦略的に整備を進め、時代に即した公共施設マネジメントに取り組まれたい。

ウ　本年度は、コロナ禍における対応をきっかけとして、事業方法の見直し等により、ＷＥＢ会議やテレワークの取組など、ＩＣＴの活用が促進された。また、総務省の「自治体デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）推進計画」に基づき、住民サービスの利便性の向上や、ＲＰＡ等による業務効率化の検討も

始められている。

ＤＸの推進にあたっては、職員の能力開発も併せて進め、現状の問題点や課題等を明確にしたうえで、業務における必要性や費用対効果、さらに住民サービスの質の向上等を総合的に判断し、財源と人的資源を最大限有効に活用した事業実施に引き続き努められたい。

エ　「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」の推進に向けた視点も求められている。区は持続的に発展する新しい新宿のまちの創造に向けて、様々な施策に取り組んでいる。なかでも、地球温暖化対策や資源循環型社会の構築では、CO_2削減やごみの減量を促進するため、区民や事業者に対し、施策の意義やコストを示し、自発的な行動を促すような意識啓発が必要である。

ＳＤＧｓの推進には、区民や事業者の理解と協力が必要不可欠であることを踏まえ、実効性のある取組を期待する。

オ　本年度は国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の 3 保険料について、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減となった区民を対象に各保険料の減免措置を行い、3 保険料の減免手続きをワンストップ窓口で行った。コロナ禍における対応をきっかけとした施策であるが、業務効率化を図り、区民にとっても利便性の高い取組であったと評価する。

今後はこうした取組を参考に、区の基本政策の一つである「好感度１番の区役所」の実現に努められたい。

③　内部統制の機能強化

内部統制については、各監査の中でその取組状況を確認しており、報告書等においても折に触れその重要性について意見を述べている。内部統制は日常業務に組み込まれ、その取組の意味や目的を意識したうえで実行することにより、一層効果を発揮することができる。各部門においては、さまざまな取組を実施しており、リスク管理への意識向上が見られた。

内部統制機能の充実は、組織の透明性や業務効率の向上へとつながる。区民から、より信頼される地方公共団体となるためにも、事務事業の適正化とリスクマネジメントの強化を図り、さらに内部統制機能の有効性を高められたい。

④　基金の適切な運用

本年度末の基金現在高は、運用基金を含めて 606 億円余であり、7 年連続で前年度を上回った。本年度は 6 年ぶりに財政調整基金 8 億円の取崩しを行い、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、区民生活や地域経済を守るための施策を的確に実施してきた。

今後も、新型コロナウイルス感染症の影響や震災・風水害対策、高齢化に伴う

社会保障関係費の増加など、区民生活に直結した課題に適切に対応するため、必要な施策の優先順位や社会経済状況を十分に踏まえ、将来を見据えた、より有効な基金運用に努められたい。

以上、本年度は新型コロナウイルス感染症が区財政に及ぼした影響は非常に大きく、財政構造も大きく変化した一年となった。今後の区財政は、未だ見通しが不透明な状況である。不測の事態に対し、組織一丸となって取り組み、機動的かつ堅実な財政運営を行った本年度の経験は今後の区政への参考となり得るものである。将来にわたり持続可能な社会に向けた健全な行財政運営に向けて、区のたゆまぬ努力を望むものである。

決　算　の　概　要

一　般　会　計

第４　決算の概要

本年度各会計歳入歳出決算及び基金運用状況について、前年度決算との比較を中心に、以下、概要として示した。

各款別の説明における増減の内容は、予算科目及び事業名である。

Ⅰ　一　般　会　計

１　決算の規模

本年度の決算額は、**次表**のとおりである（**別表２**（120、121 ページ）**・別表３**（122、123 ページ）**参照**）。

決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
歳 入 額	187,707,398,802	149,809,721,213	37,897,677,589	25.3
歳 出 額	184,186,917,566	146,235,006,034	37,951,911,532	26.0
差 引 額	3,520,481,236	3,574,715,179	△ 54,233,943	△ 1.5

歳入額は 187,707,398,802 円で、前年度に比べて 37,897,677,589 円、25.3％の増となった。増減となった主なものは、増が国庫支出金 359 億円余、特別区債 31 億円余、都支出金 25 億円余であり、減が特別区交付金 43 億円余、繰越金 10 億円余、地方特例交付金 5 億円余である。

歳出額は 184,186,917,566 円で、前年度に比べて 37,951,911,532 円、26.0％の増となった。増減となった主なものは、増が総務費 339 億円余、福祉費 22 億円余、教育費 12 億円余であり、減が土木費 29 億円余である。

また、歳入額及び歳出額の対前年度増減率の推移は、**次表**のとおりである。

歳入額歳出額対前年度増減率の推移

（単位：％）

年　　度	28	29	30	元	2
歳 入 額	△ 0.1	0.8	1.2	2.2	25.3
歳 出 額	0.3	△ 0.4	2.0	3.0	26.0

２　財政収支等

⑴　財政収支

本年度の財政収支状況は、**次表**のとおりである。

財政収支の対前年度比較

（単位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳入額 A	187,707,398,802	149,809,721,213	37,897,677,589	25.3
歳出額 B	184,186,917,566	146,235,006,034	37,951,911,532	26.0
形式収支（A－B）＝C	3,520,481,236	3,574,715,179	△ 54,233,943	△ 1.5
翌年度へ繰り越すべき財源　D	51,971,000	162,994,000	△ 111,023,000	△ 68.1
実質収支（C－D）＝E	3,468,510,236	3,411,721,179	56,789,057	1.7
前年度実質収支　F	3,411,721,179	3,891,527,383	△ 479,806,204	△ 12.3
単年度収支（E－F）＝　G	56,789,057	△ 479,806,204	536,595,261	
財政調整基金積立額　H	2,068,244,000	2,317,761,000	△ 249,517,000	△ 10.8
繰上償還金　I	0	0	0	0
財政調整基金取崩額　J	800,000,000	0	800,000,000	皆増
実質単年度収支（G＋H＋I－J）＝　K	1,325,033,057	1,837,954,796	△ 512,921,739	

形式収支は歳入額から歳出額を差し引いた額で、前年度と比べて54,233,943円、1.5％の減となった。

実質収支は、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額で、前年度と比べて56,789,057円、1.7％の増となった。なお、この中には、特別区税等の還付未済額30,915,348円が含まれている。

単年度収支は、56,789,057円の黒字となっている。

財政調整基金は、積立額が前年度と比べて249,517,000円、10.8％の減となる2,068,244,000円であり、取崩額が、前年度から皆増の800,000,000円となった。

以上により、実質単年度収支は1,325,033,057円の黒字となった。

⑵ 資金収支

本年度の資金収支状況は、**次表**のとおりである。

資金収支状況

（単位：円・％）

区　分	収　　入		支　　出		差　引　額	累　　計
	金　　額	構成比	金　　額	構成比		
第１四半期	63,441,888,212	33.8	35,346,506,893	19.2	28,095,381,319	28,095,381,319
第２四半期	36,356,370,101	19.4	59,931,410,394	32.5	△ 23,575,040,293	4,520,341,026
第３四半期	36,482,087,733	19.4	33,905,352,585	18.4	2,576,735,148	7,097,076,174
第４四半期	40,910,312,488	21.8	33,672,165,300	18.3	7,238,147,188	14,335,223,362
出納整理期間	10,516,740,268	5.6	21,331,482,394	11.6	△ 10,814,742,126	3,520,481,236
計	187,707,398,802	100	184,186,917,566	100	3,520,481,236	

3　歳入決算の状況

(1)　歳入の状況

本年度における歳入の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表２**（120、121 ページ）・**別表４－１**（124、125 ページ）・**別表４－２**（126、127 ページ）**参照**）。

歳入決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・%）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	195,073,529,000	154,194,252,000	40,879,277,000	26.5
調　　定　　額	190,441,981,250	152,437,017,729	38,004,963,521	24.9
収 入 済 額	187,707,398,802	149,809,721,213	37,897,677,589	25.3
対予算収入率	96.2	97.2	－	－
対調定収入率	98.6	98.3	－	－
不 納 欠 損 額	329,325,078	221,003,867	108,321,211	49.0
収 入 未 済 額	2,436,172,718	2,428,414,751	7,757,967	0.3
還 付 未 済 額	30,915,348	22,122,102	8,793,246	39.7

ア　予算現額

予算現額は 195,073,529,000 円で、前年度に比べて 40,879,277,000 円、26.5%の増である。

イ　収入済額

収入済額は 187,707,398,802 円で、前年度に比べて 37,897,677,589 円、25.3%の増である。

ウ　収入率

調定額に対する過去５か年の収入率は、**次表**のとおりである。

対調定収入率の推移

（単 位：%）

年　度	28	29	30	元	2
収入率	98.1	98.2	98.3	98.3	98.6

⑵ 各款別の概要

第１款　特別区税

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

特別区税 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		49,035,097,000	49,184,997,000	△ 149,900,000	△ 0.3
調定額		51,595,497,855	51,439,617,774	155,880,081	0.3
収入済額		50,011,064,344	49,902,484,145	108,580,199	0.2
項別内訳	特別区民税	45,553,835,346	44,635,168,680	918,666,666	2.1
	軽自動車税	113,671,625	106,249,685	7,421,940	7.0
	特別区たばこ税	4,320,551,723	5,099,930,280	△ 779,378,557	△ 15.3
	入湯税	23,005,650	61,135,500	△ 38,129,850	△ 62.4
対予算収入率		102.0	101.5	－	－
対調定収入率		96.9	97.0	－	－
不納欠損額		282,839,845	162,690,116	120,149,729	73.9
収入未済額		1,332,397,014	1,396,377,715	△ 63,980,701	△ 4.6
還付未済額		30,803,348	21,934,202	8,869,146	40.4

収入済額は、歳入総額の 26.6％（前年度 33.3％）を占めている。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　特別区民税

増は、特別区民税である。

第３項　特別区たばこ税

減は、特別区たばこ税である。

第４項　入湯税

減は、入湯税である。

収入未済額は 1,332,397,014 円で、前年度に比べて 63,980,701 円、4.6%の減である。これは金額の大きい順に、特別区民税、軽自動車税である。

第２款　地方譲与税

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

地方譲与税 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分		令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額		497,481,000	569,796,000	△ 72,315,000	△ 12.7
調　　定　　額		500,047,000	489,333,049	10,713,951	2.2
収 入 済 額		500,047,000	489,333,049	10,713,951	2.2
項別内訳	自動車重量譲与税	350,800,000	353,197,000	△ 2,397,000	△ 0.7
	地方揮発油譲与税	120,573,000	122,643,000	△ 2,070,000	△ 1.7
	森林環境譲与税	28,674,000	13,493,000	15,181,000	112.5
	地方道路譲与税	0	49	△ 49	皆減
対 予 算 収 入 率		100.5	85.9	―	―
対 調 定 収 入 率		100	100	―	―
収 入 未 済 額		0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 0.3％（前年度 0.3％）を占めている。

増となったものは、次のとおりである。

第３項　森林環境譲与税

増は、森林環境譲与税である。

第３款　利子割交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

利子割交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	130,248,000	135,791,000	△ 5,543,000	△ 4.1
調　　定　　額	133,511,000	137,300,000	△ 3,789,000	△ 2.8
収 入 済 額	133,511,000	137,300,000	△ 3,789,000	△ 2.8
対 予 算 収 入 率	102.5	101.1	－	－
対 調 定 収 入 率	100	100	－	－
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 0.1％（前年度 0.1％）を占めている。

第４款　配当割交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

配当割交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	671,242,000	692,476,000	△ 21,234,000	△ 3.1
調　　定　　額	647,771,000	685,445,000	△ 37,674,000	△ 5.5
収 入 済 額	647,771,000	685,445,000	△ 37,674,000	△ 5.5
対 予 算 収 入 率	96.5	99.0	－	－
対 調 定 収 入 率	100	100	－	－
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 0.3％（前年度 0.5％）を占めている。

第５款　株式等譲渡所得割交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

株式等譲渡所得割交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	372,639,000	443,745,000	△ 71,106,000	△ 16.0
調　　定　　額	758,707,000	425,780,000	332,927,000	78.2
収 入 済 額	758,707,000	425,780,000	332,927,000	78.2
対 予 算 収 入 率	203.6	96.0	―	―
対 調 定 収 入 率	100	100	―	―
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 0.4％（前年度 0.3％）を占めている。

第６款　地方消費税交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

地方消費税交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	11,632,833,000	10,282,889,000	1,349,944,000	13.1
調　　定　　額	11,552,680,000	10,173,690,000	1,378,990,000	13.6
収 入 済 額	11,552,680,000	10,173,690,000	1,378,990,000	13.6
対 予 算 収 入 率	99.3	98.9	―	―
対 調 定 収 入 率	100	100	―	―
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 6.2％（前年度 6.8％）を占めている。

第７款　自動車取得税交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

自動車取得税交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	1,000	132,305,000	△ 132,304,000	△ 100.0
調　　定　　額	41,874	143,076,000	△ 143,034,126	△ 100.0
収 入 済 額	41,874	143,076,000	△ 143,034,126	△ 100.0
対予算収入率	4187.4	108.1	―	―
対調定収入率	100	100	―	―
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 0.0％（前年度 0.1％）を占めている。

第８款　環境性能割交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

環境性能割交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	122,604,000	46,733,000	75,871,000	162.3
調　　定　　額	86,977,062	50,557,235	36,419,827	72.0
収 入 済 額	86,977,062	50,557,235	36,419,827	72.0
対予算収入率	70.9	108.2	―	―
対調定収入率	100	100	―	―
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 0.0％（前年度 0.0％）を占めている。

第９款　地方特例交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

地方特例交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分		令 和 ２ 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額		142,213,000	699,548,000	△ 557,335,000	△ 79.7
調　　定　　額		142,213,000	725,022,000	△ 582,809,000	△ 80.4
収 入 済 額		142,213,000	725,022,000	△ 582,809,000	△ 80.4
項別内訳	地方特例交付金	142,213,000	126,720,000	15,493,000	12.2
	子ども・子育て支援臨時交付金	0	598,302,000	△ 598,302,000	皆減
対 予 算 収 入 率		100	103.6	―	―
対 調 定 収 入 率		100	100	―	―
収 入 未 済 額		0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 0.1％（前年度 0.5％）を占めている。

増減となったものは、次のとおりである。

第１項　地方特例交付金

　　増は、地方特例交付金である。

子ども・子育て支援臨時交付金は、廃止により皆減である。

第10款　特別区交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

特別区交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		25,495,618,000	29,651,304,000	△ 4,155,686,000	△ 14.0
調定額		25,133,991,000	29,467,081,000	△ 4,333,090,000	△ 14.7
収入済額		25,133,991,000	29,467,081,000	△ 4,333,090,000	△ 14.7
目別内訳	普通交付金	24,195,618,000	28,351,304,000	△ 4,155,686,000	△ 14.7
	特別交付金	938,373,000	1,115,777,000	△ 177,404,000	△ 15.9
対予算収入率		98.6	99.4	―	―
対調定収入率		100	100	―	―
収入未済額		0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の13.4％（前年度19.7％）を占めている。

減となったものは、次のとおりである。

第１項　特別区交付金

減は、普通交付金、特別交付金である。

第11款　交通安全対策特別交付金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

交通安全対策特別交付金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	36,288,000	46,775,000	△ 10,487,000	△ 22.4
調定額	35,307,000	32,241,000	3,066,000	9.5
収入済額	35,307,000	32,241,000	3,066,000	9.5
対予算収入率	97.3	68.9	―	―
対調定収入率	100	100	―	―
収入未済額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の0.0％（前年度0.0％）を占めている。

第12款　分担金及び負担金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

分担金及び負担金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	2,070,649,000	2,226,663,000	△ 156,014,000	△ 7.0
調定額	1,785,683,254	2,280,976,677	△ 495,293,423	△ 21.7
収入済額	1,767,015,117	2,256,628,788	△ 489,613,671	△ 21.7
対予算収入率	85.3	101.3	－	－
対調定収入率	99.0	98.9	－	－
不納欠損額	2,136,900	4,553,559	△ 2,416,659	△ 53.1
収入未済額	16,568,937	19,841,930	△ 3,272,993	△ 16.5
還付未済額	37,700	47,600	△ 9,900	△ 20.8

収入済額は、歳入総額の0.9％（前年度1.5％）を占めている。

減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　負担金

減は、子ども家庭費負担金である。

収入未済額は16,568,937円で、前年度に比べて3,272,993円、16.5％の減である。

第13款　使用料及び手数料

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

使用料及び手数料 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		4,536,487,000	4,557,337,000	△ 20,850,000	△ 0.5
調定額		4,291,673,132	4,469,838,308	△ 178,165,176	△ 4.0
収入済額		4,242,597,141	4,413,156,701	△ 170,559,560	△ 3.9
項別内訳	使用料	3,343,535,441	3,483,535,918	△ 140,000,477	△ 4.0
	手数料	899,061,700	929,620,783	△ 30,559,083	△ 3.3
対予算収入率		93.5	96.8	－	－
対調定収入率		98.9	98.7	－	－
不納欠損額		2,119,725	952,838	1,166,887	122.5
収入未済額		47,025,666	55,851,569	△ 8,825,903	△ 15.8
還付未済額		69,400	122,800	△ 53,400	△ 43.5

収入済額は、歳入総額の2.3％（前年度2.9％）を占めている。

減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　使用料

減は、地域振興使用料、子ども家庭使用料、文化観光産業使用料である。

第２項　手数料

減は、環境清掃手数料である。

収入未済額は47,025,666円で、前年度に比べて8,825,903円、15.8％の減である。このうち金額の大きいものは、区民住宅使用料、特定住宅使用料である。

第14款　国庫支出金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

国庫支出金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		66,263,722,000	30,255,318,000	36,008,404,000	119.0
調定額		64,925,633,386	28,962,185,106	35,963,448,280	124.2
収入済額		64,925,633,386	28,962,185,106	35,963,448,280	124.2
項別内訳	国庫負担金	27,441,701,919	25,571,483,766	1,870,218,153	7.3
	国庫補助金	37,337,826,265	3,266,508,066	34,071,318,199	1,043.1
	国庫委託金	146,105,202	124,193,274	21,911,928	17.6
対予算収入率		98.0	95.7	－	－
対調定収入率		100	100	－	－
収入未済額		0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の34.6.％（前年度19.3％）を占めている。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　国庫負担金

増は、子ども家庭費負担金、健康費負担金、福祉費負担金である。

第２項　国庫補助金

増は、総務費補助金、子ども家庭費補助金、地域振興費補助金である。

減は、土木費補助金、文化観光産業費補助金である。

第３項　国庫委託金

増は、健康費委託金である。

第15款　都支出金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

都支出金 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		15,305,817,000	12,169,679,000	3,136,138,000	25.8
調定額		14,205,915,317	11,689,324,713	2,516,590,604	21.5
収入済額		14,205,915,317	11,689,324,713	2,516,590,604	21.5
項別内訳	都負担金	6,294,700,282	5,773,660,864	521,039,418	9.0
	都補助金	6,594,303,997	4,879,770,071	1,714,533,926	35.1
	都委託金	1,316,911,038	1,035,893,778	281,017,260	27.1
対予算収入率		92.8	96.1	－	－
対調定収入率		100	100	－	－
収入未済額		0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の7.6％（前年度7.8％）を占めている。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　都負担金

増は、子ども家庭費負担金、教育費負担金、福祉費負担金である。

減は、健康費負担金である。

第２項　都補助金

増は、健康費補助金、教育費補助金、文化観光産業費補助金である。

減は、土木費補助金、地域振興費補助金である。

第３項　都委託金

増は、地域振興費委託金、総務費委託金、土木費委託金である。

第16款　財産収入

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

財産収入 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区　分		令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		1,564,174,000	1,353,265,000	210,909,000	15.6
調定額		1,561,202,653	1,356,282,293	204,920,360	15.1
収入済額		1,561,202,653	1,356,282,293	204,920,360	15.1
項別内訳	財産運用収入	1,513,221,407	1,348,092,146	165,129,261	12.2
	財産売払収入	47,981,246	8,190,147	39,791,099	485.8
対予算収入率		99.8	100.2	－	－
対調定収入率		100	100	－	－
収入未済額		0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の0.8％（前年度0.9％）を占めている。

増となったものは、次のとおりである。

第１項　財産運用収入

増は、財産貸付収入、配当金である。

第２項　財産売払収入

増は、不動産売払収入である。

第17款　寄附金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

寄附金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	180,864,000	60,141,000	120,723,000	200.7
調　　定　　額	185,286,615	71,117,549	114,169,066	160.5
収 入 済 額	185,286,615	71,117,549	114,169,066	160.5
対 予 算 収 入 率	102.4	118.3	－	－
対 調 定 収 入 率	100	100	－	－
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の0.1％（前年度0.1％）を占めている。

増となった主なものは、次のとおりである。

第１項　寄附金

増は、指定寄附金である。

第18款　繰入金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

繰入金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	5,799,373,000	2,919,243,000	2,880,130,000	98.7
調　　定　　額	1,140,211,101	65,947,522	1,074,263,579	1,629.0
収 入 済 額	1,140,211,101	65,947,522	1,074,263,579	1,629.0
対 予 算 収 入 率	19.7	2.3	－	－
対 調 定 収 入 率	100	100	－	－
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の0.6％（前年度0.0％）を占めている。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　基金繰入金

増は、財政調整基金繰入金、社会資本等整備基金繰入金、スポーツ施設整備基金繰入金である。

減は、定住化基金繰入金、東京２０２０オリンピック・パラリンピック区民参画基金繰入金である。

第19款　繰越金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

繰越金 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・%）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	3,574,715,000	4,580,179,000	△ 1,005,464,000	△ 22.0
調定額	3,574,715,179	4,580,179,383	△ 1,005,464,204	△ 22.0
収入済額	3,574,715,179	4,580,179,383	△ 1,005,464,204	△ 22.0
対予算収入率	100.0	100.0	－	－
対調定収入率	100	100	－	－
収入未済額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 1.9%（前年度3.1%）を占めている。

繰越金の対前年度比較は、**次表**のとおりである。

繰越金の対前年度比較

（単 位：円・%）

区　　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
繰越金収入済額		3,574,715,179	4,580,179,383	△ 1,005,464,204	△ 22.0
内訳	繰越事業費繰越財源充当額（前年度分）	162,994,000	688,652,000	△ 525,658,000	△ 76.3
	実質収支額（前年度分）	3,411,721,179	3,891,527,383	△ 479,806,204	△ 12.3

第20款　諸収入

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

諸収入 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区分		令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		2,993,464,000	3,191,068,000	△ 197,604,000	△ 6.2
調定額		4,262,916,822	4,373,023,120	△ 110,106,298	△ 2.5
収入済額		3,180,512,013	3,363,889,729	△ 183,377,716	△ 5.5
項別内訳	延滞金、加算金及び過料	55,564,077	78,381,424	△ 22,817,347	△ 29.1
	特別区預金利子	126,448	119,630	6,818	5.7
	貸付金元利収入	1,163,572,104	1,161,950,060	1,622,044	0.1
	受託事業収入	717,133,639	776,318,897	△ 59,185,258	△ 7.6
	収益事業収入	200,000,000	150,000,000	50,000,000	33.3
	雑入	1,044,115,745	1,197,119,718	△ 153,003,973	△ 12.8
対予算収入率		106.2	105.4	－	－
対調定収入率		74.6	76.9	－	－
不納欠損額		42,228,608	52,807,354	△ 10,578,746	△ 20.0
収入未済額		1,040,181,101	956,343,537	83,837,564	8.8
還付未済額		4,900	17,500	△ 12,600	△ 72.0

収入済額は、歳入総額の1.7％（前年度2.2％）を占めている。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　延滞金、加算金及び過料

減は、延滞金である。

第４項　受託事業収入

増は、健康費受託収入である。

減は、土木費受託収入である。

第５項　収益事業収入

増は、競馬組合配分金である。

第６項　雑入

増は、納付金である。

減は、補償金収入、雑入である。

収入未済額は 1,040,181,101 円で、前年度に比べて 83,837,564 円、8.8％の増である。このうち金額の大きいものは、生活保護費弁償金、生業資金貸付金、生活保護費返還金である。

第 21 款　特別区債

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

特別区債 決算状況及び対前年度比較

（単 位：円・％）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	4,648,000,000	995,000,000	3,653,000,000	367.1
調　　定　　額	3,922,000,000	819,000,000	3,103,000,000	378.9
収 入 済 額	3,922,000,000	819,000,000	3,103,000,000	378.9
対 予 算 収 入 率	84.4	82.3	－	－
対 調 定 収 入 率	100	100	－	－
収 入 未 済 額	0	0	0	0

収入済額は、歳入総額の 2.1％（前年度 0.6％）を占めている。

特別区債発行状況の対前年度比較は、**次表**のとおりである。

特別区債発行状況の対前年度比較

（単 位：千円・％）

区分	令和２年度		令和元年度		増減額	増減率
	節（事業名）	収入済額	節（事業名）	収入済額		
総務債	－	－	総務施設整備費 （本庁舎音響設備更新工事）	105,000	△ 105,000	皆減
	総務施設整備費 （本庁舎空調設備改修工事）	152,000	－	－	152,000	皆増
地域振興債	－	－	地域振興施設整備費 （四谷地域センターの自動火災報知設備更新工事）	50,000	△ 50,000	皆減
	地域振興施設整備費 （新宿コズミックスポーツセンター空調設備改修工事）	278,000	地域振興施設整備費 （新宿コズミックスポーツセンター空調設備改修工事）	76,000	202,000	265.8
	地域振興施設整備費 （四谷地域センター特定天井等改修工事）	74,000	－	－	74,000	皆増
	地域振興施設整備費 （四谷地域センター昇降機改修工事）	90,000	－	－	90,000	皆増
	地域振興施設整備費 （柏木地域センター外壁・空調設備等改修工事）	205,000	－	－	205,000	皆増
	地域振興施設整備費 （西戸山公園野球場・落合中央公園庭球場改修）	371,000	－	－	371,000	皆増
子ども家庭債	子ども家庭施設建設費 （児童相談所一時保護所の建設）	334,000	子ども家庭施設建設費 （児童相談所一時保護所の建設）	191,000	143,000	74.9
土木債	－	－	道路整備費 （72 号線工事）	50,000	△ 50,000	皆減
	－	－	道路整備費 （歌舞伎町道路整備）	45,000	△ 45,000	皆減
	－	－	道路整備費 （自転車通行空間の整備）	40,000	△ 40,000	皆減
	道路整備費 （道路の改良工事：小滝橋通り、早大正門前交差点及び周辺道路）	83,000	道路整備費 （道路の改良工事：信濃町駅周辺、小滝橋通り、旧青梅街道）	128,000	△ 45,000	△ 35.2
	公園整備費 （新宿中央公園の整備）	94,000	公園整備費 （新宿中央公園の整備）	93,000	1,000	1.1

（単 位：千円・％）

区分	令和２年度		令和元年度		増減額	増減率
	節（事業名）	収入済額	節（事業名）	収入済額		
教育債	－	－	学校施設整備費 （江戸川小学校の外壁改修工事）	41,000	△ 41,000	皆減
	教育センター整備費 （教育センター空調設備等改修工事）	138,000	－	－	138,000	皆増
	学校施設整備費 （落合第二小学校外壁改修工事）	71,000	－	－	71,000	皆増
	学校施設整備費 （牛込第三中学校擁壁改修工事）	178,000	－	－	178,000	皆増
	図書館整備費 （四谷図書館特定天井等改修工事）	7,000	－	－	7,000	皆増
調整債	調整債	1,479,000	－	－	1,479,000	皆増
減収補填債	減収補填債	368,000	－	－	368,000	皆増
合　　計		3,922,000		819,000	3,103,000	378.9

4　歳出決算の状況

⑴　歳出の状況

本年度における歳出の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表３**（122、123 ページ）・**別表５**（128、129 ページ）**参照**）。

歳出決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	195,073,529,000	154,194,252,000	40,879,277,000	26.5
支出済額	184,186,917,566	146,235,006,034	37,951,911,532	26.0
執行率	94.4	94.8	－	－
翌年度繰越額	140,538,000	177,921,000	△ 37,383,000	△ 21.0
不用額	10,746,073,434	7,781,324,966	2,964,748,468	38.1

ア　予算現額

予算現額は 195,073,529,000 円で、前年度に比べて 40,879,277,000 円、26.5％の増である。

イ　支出済額

支出済額は 184,186,917,566 円で、前年度に比べて 37,951,911,532 円、26.0％の増である。

ウ　執行率

過去５か年の執行率は、**次表**のとおりである。

執行率の推移

（単位：％）

年度	28	29	30	元	2
執行率	93.8	95.1	94.6	94.8	94.4

エ　翌年度繰越額

翌年度繰越額は 140,538,000 円で、前年度に比べて 37,383,000 円、21.0％の減である。これは全額が繰越明許費であり、その内訳は子ども家庭費 9,137,000 円、健康費 88,567,000 円、教育費 42,834,000 円である。

詳しくは各項において述べるが、主に新型コロナウイルス感染症の予防接種や小学校の擁壁改修工事が年度内に完了しないことによる翌年度繰越金である。

オ　不用額

予算現額に対する不用額の割合は 5.5%で、前年度(5.0%)を 0.5 ポイント上回った。

カ　予備費充用・予算流用

予備費充用額は 1,212,470,000 円で、詳しくは第 13 款予備費の項で述べる。

予算流用は目間流用額が 184,208,000 円で、主に健康費における健康推進費の健康推進総務費に不足が生じたためである。

キ　歳出の節別決算状況

歳出の節別に見た決算状況は、**別表５**（128、129 ページ）のとおりである。

⑵ 各款別の概要

第１款　議会費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

議会費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	767,456,000	776,692,000	△ 9,236,000	△ 1.2
支出済額	734,627,204	742,664,411	△ 8,037,207	△ 1.1
執行率	95.7	95.6	―	―
翌年度繰越額	0	0	0	0
不用額	32,828,796	34,027,589	△ 1,198,793	△ 3.5

支出済額は、歳出総額の 0.4%(前年度 0.5%)を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、職員費を除くと、議員報酬、議員期末報酬、議員共済給付費負担金である。

不用額は、32,828,796 円（4.3%（予算現額に対する不用額の比率。以下同じ。））である。

第２款　総務費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

総務費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		46,794,829,000	11,755,194,000	35,039,635,000	298.1
支出済額		45,321,441,446	11,344,695,882	33,976,745,564	299.5
項別内訳	総務管理費	43,151,052,969	8,754,577,437	34,396,475,532	392.9
	徴税費	1,182,248,108	1,399,120,990	△ 216,872,882	△ 15.5
	防災費	644,013,736	679,498,868	△ 35,485,132	△ 5.2
	災害救助費	0	0	0	0
	選挙費	230,523,338	396,950,269	△ 166,426,931	△ 41.9
	監査委員費	113,603,295	114,548,318	△ 945,023	△ 0.8
執行率		96.9	96.5	－	－
翌年度繰越額		0	0	0	0
不用額		1,473,387,554	410,498,118	1,062,889,436	258.9

支出済額は、歳出総額の24.6%（前年度7.8%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、職員費を除くと、特別定額給付金、健康保険料及び厚生年金保険料等、インターネット及びイントラネットシステムの運用等である。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　総務管理費

増は、特別定額給付金、事務費（特別定額給付金給付事業費）、健康保険料及び厚生年金保険料等である。

減は、職員費、ネットワーク等の運用、情報システム統合基盤の運用である。

第２項　徴税費

減は、過誤納還付金、職員費である。

第３項　防災費

増は、備蓄物資の充実、防災センターである。

減は、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進、防災思想の普及、職員防災住宅の維持管理である。

第５項　選挙費

増は、都知事選挙に係る投票事務、都知事選挙に係る開票事務、都知事選挙に係るポスター掲示場設置等である。

減は、参議院議員選挙に係る投票事務、区議会議員選挙に係る投票事務、区議会議員選挙に係る選挙運動公費負担である。

不用額は、1,473,387,554円（3.1％）である。

第３款　地域振興費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

地域振興費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		8,692,158,000	7,207,256,000	1,484,902,000	20.6
支出済額		7,659,660,423	6,575,182,949	1,084,477,474	16.5
項別内訳	地域振興費	2,288,793,221	2,929,194,493	△ 640,401,272	△ 21.9
	戸籍住民基本台帳費	974,132,081	818,491,832	155,640,249	19.0
	統計調査費	256,392,530	71,348,969	185,043,561	259.4
	地域振興施設費	4,140,342,591	2,756,147,655	1,384,194,936	50.2
執行率		88.1	91.2	－	－
翌年度繰越額		0	0	0	0
不用額		1,032,497,577	632,073,051	400,424,526	63.4

支出済額は、歳出総額の4.2%（前年度4.5%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、職員費を除くと、四谷地域センター、野球場、庭球場、新宿コズミックスポーツセンターである。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　地域振興費

減は、スポーツ施設整備基金積立金、東京オリンピック・パラリンピック気運醸成（普及啓発）、学校施設等の活用である。

第２項　戸籍住民基本台帳費

増は、個人番号カードの交付等、戸籍事務、住民基本台帳事務である。

減は、自動交付機の運用、職員費である。

第３項　統計調査費

増は、国勢調査、職員費である。

減は、経済センサス基礎調査である。

第４項　地域振興施設費

増は、野球場、庭球場、地域センターの計画修繕、新宿コズミックスポーツセンターである。

減は、区民健康村、区民ギャラリーの管理運営である。

不用額は、1,032,497,577円（11.9%）である。

第４款　文化観光産業費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

文化観光産業費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		4,642,958,000	4,580,711,000	62,247,000	1.4
支出済額		4,103,544,769	3,896,208,176	207,336,593	5.3
項別内訳	文化観光費	983,201,277	974,562,231	8,639,046	0.9
	産業経済費	3,120,343,492	2,921,645,945	198,697,547	6.8
執行率		88.4	85.1	－	－
翌年度繰越額		0	9,089,000	△ 9,089,000	皆減
不用額		539,413,231	675,413,824	△ 136,000,593	△ 20.1

支出済額は、歳出総額の2.2％（前年度2.7％）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、融資資金の貸付等、新宿区勤労者・仕事支援センター運営助成等、店舗等家賃減額助成である。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　文化観光費

増は、新宿文化センターの管理運営、文化芸術復興支援事業、歌舞伎町ルネッサンスの推進である。

減は、新宿歴史博物館の管理運営、大新宿区まつり、新宿フィールドミュージアムである。

第２項　産業経済費

増は、店舗等家賃減額助成、融資資金の貸付等、おもてなし店舗支援である。

減は、プレミアム付商品券事業、人材確保支援事業、にぎわいにあふれ環境にもやさしい商店街支援である。

不用額は、539,413,231円（11.6％）である。

また、前年度から本年度に繰り越された事業の執行状況は、**次表**のとおりである。

繰越事業執行状況

（単位：円・%）

事　業　名	科　　目	繰越明許費繰越額	支 出 済 額	執行率
プレミアム付商品券事業	(項)産業経済費 (目)産業振興費	9,089,000	6,475,381	71.2
計		9,089,000	6,475,381	71.2

第５款　福祉費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

福祉費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		46,271,565,000	43,577,284,000	2,694,281,000	6.2
支出済額		43,746,964,725	41,516,838,547	2,230,126,178	5.4
項別内訳	社会福祉費	2,986,012,392	1,406,661,493	1,579,350,899	112.3
	障害者福祉費	10,514,275,216	10,176,701,449	337,573,767	3.3
	高齢者福祉費	7,289,107,323	6,754,235,733	534,871,590	7.9
	生活保護費	22,957,569,794	23,179,239,872	△ 221,670,078	△ 1.0
執行率		94.5	95.3	－	－
翌年度繰越額		0	0	0	0
不用額		2,524,600,275	2,060,445,453	464,154,822	22.5

支出済額は、歳出総額の 23.7%（前年度 28.4%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、保護費（生活保護費）、障害者への自立支援給付等、介護保険特別会計繰出金である。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　社会福祉費

増は、生活困窮者自立支援事業、国、都支出金の収入超過に伴う返納金、介護等従事職員への新型コロナウイルス感染症検査である。

第２項　障害者福祉費

増は、障害者への自立支援給付等、新宿生活実習所の建設に伴う設計委託等、障害児支援給付である。

減は、あゆみの家の管理運営、障害者地域生活支援事業、心身障害者への助成である。

第３項　高齢者福祉費

増は、介護保険特別会計繰出金、特別養護老人ホーム運営助成等、高齢者福祉活動基金積立金である。

減は、特別養護老人ホーム建設事業助成である。

第４項　生活保護費

増は、被保護者の生活支援事業、職員費である。

減は、保護費である。

不用額は、2,524,600,275 円（5.5%）である。

第６款　子ども家庭費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

子ども家庭費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	32,618,440,000	31,119,549,000	1,498,891,000	4.8
支出済額	31,042,994,539	29,887,533,307	1,155,461,232	3.9
執行率	95.2	96.0	－	－
翌年度繰越額	9,137,000	0	9,137,000	皆増
不用額	1,566,308,461	1,232,015,693	334,292,768	27.1

支出済額は、歳出総額の16.8%（前年度20.4%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、職員費を除くと、保育所への保育委託等、児童手当、地域子ども・子育て支援事業である。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　子ども家庭費

増は、保育所への保育委託等、新生児子育て応援臨時給付金、ひとり親家庭福祉である。

減は、保育所建設事業助成等、子ども医療費助成、児童扶養手当である。

不用額は、1,566,308,461円（4.8%）である。

なお、翌年度への繰越額は9,137,000円（予算現額の0.0%）で、全額が繰越明許費である。事業は、**次表**のとおりである。

翌年度繰越事業

（単位：円）

事業名	科目	繰越明許費	事由
新生児子育て応援臨時給付金	(項)子ども家庭費 (目)新生児子育て応援臨時給付金給付事業費	9,000,000	新生児子育て応援臨時給付金の支給が年度内に完了しないため
事務費	(項)子ども家庭費 (目)新生児子育て応援臨時給付金給付事業費	137,000	新生児子育て応援臨時給付金の支給が年度内に完了しないため
合計		9,137,000	

第７款　健康費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

健康費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		16,505,842,000	15,658,663,000	847,179,000	5.4
支出済額		15,232,346,741	14,629,800,420	602,546,321	4.1
項別内訳	健康推進費	15,145,744,924	14,539,167,798	606,577,126	4.2
	国民年金費	86,601,817	90,632,622	△ 4,030,805	△ 4.4
執行率		92.3	93.4	－	－
翌年度繰越額		88,567,000	0	88,567,000	皆増
不用額		1,184,928,259	1,028,862,580	156,065,679	15.2

支出済額は、歳出総額の8.3%（前年度10.0%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、職員費を除くと、国民健康保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金、予防接種である。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　健康推進費

増は、感染症予防関係法令に基づくまん延防止対策及び健康診断等、新型コロナウイルス感染症感染者への見舞、予防接種である。

減は、国民健康保険特別会計繰出金、生活習慣病予防事業等、後期高齢者医療特別会計繰出金である。

第２項　国民年金費

減は、職員費である。

不用額は、1,184,928,259円（7.2%）である。

なお、翌年度への繰越額は88,567,000円（予算現額の0.5%）で、全額が繰越明許費である。事業は、**次表**のとおりである。

翌年度繰越事業

（単位：円）

事　業　名	科　　目	繰越明許費	事　　由
新型コロナウイルス感染症対策（予防接種）	(項)健康推進費 (目)保健所予防費	88,567,000	新型コロナウイルス感染症の予防接種が年度内に完了しないため
計		88,567,000	

第８款　環境清掃費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

環境清掃費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	8,004,274,000	7,615,735,000	388,539,000	5.1
支 出 済 額	7,744,896,714	7,297,967,383	446,929,331	6.1
執　行　率	96.8	95.8	－	－
翌年度繰越額	0	0	0	0
不　用　額	259,377,286	317,767,617	△ 58,390,331	△ 18.4

支出済額は、歳出総額の 4.2%（前年度 5.0%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、職員費を除くと、清掃一部事務組合分担金、資源回収の推進、収集車両の雇上げである。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　環境清掃費

増は、資源回収の推進、清掃一部事務組合分担金、収集作業の運営である。

減は、職員費、ポイ捨て防止ときれいなまちづくりである。

不用額は、259,377,286 円（3.2%）である。

第９款　土木費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

土木費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分		令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		11,330,718,000	14,359,667,000	△ 3,028,949,000	△ 21.1
支出済額		10,648,260,000	13,563,788,342	△ 2,915,528,282	△ 21.5
項別内訳	土木管理費	1,074,086,311	1,126,256,034	△ 52,169,723	△ 4.6
	道路橋りょう費	2,525,935,774	3,346,473,202	△ 820,537,428	△ 24.5
	河川費	25,617,652	27,097,438	△ 1,479,786	△ 5.5
	公園費	1,964,959,249	1,796,806,431	168,152,818	9.4
	都市計画費	2,306,867,014	4,040,165,577	△ 1,733,298,563	△ 42.9
	住宅費	1,880,978,777	2,146,646,592	△ 265,667,815	△ 12.4
	建築費	869,815,283	1,080,343,068	△ 210,527,785	△ 19.5
執行率		94.0	94.5	－	－
翌年度繰越額		0	144,489,000	△ 144,489,000	皆減
不用額		682,457,940	651,389,658	31,068,282	4.8

支出済額は、歳出総額の5.8%（前年度9.3%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、公園及び児童遊園等の維持管理、区営住宅、防災街区整備事業助成である。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　土木管理費

増は、みどりをふやすしくみづくりの推進である。

減は、放置自転車等対策の推進、魅力ある水辺づくりである。

第２項　道路橋りょう費

増は、道路の維持補修、百人町三・四丁目地区の道路整備、街路樹、植樹帯等の維持管理である。

減は、環境に配慮した道づくり、道路の改良、自転車通行空間の整備である。

第４項　公園費

増は、公園及び児童遊園等の維持管理、みんなで考える身近な公園の整備、新宿中央公園の整備である。

減は、清潔できれいな公園トイレづくり、清潔できれいな公衆トイレづくり、公園施設の長寿命化である。

第５項　都市計画費

増は、新宿駅東西自由通路の整備助成、地区計画の推進、用途地域変更等事務である。

減は、市街地再開発事業助成、防災街区整備事業助成、木造住宅密集地区整備促進事業である。

第６項　住宅費

増は、職員費である。

減は、区営住宅、マンション実態調査である。

第７項　建築費

増は、細街路拡幅整備である。

減は、建築物等耐震化支援事業である。

不用額は、682,457,940 円（6.0%）である。

また、前年度から本年度に繰り越された事業の執行状況は、**次表**のとおりである。

繰越事業執行状況

（単位：円・%）

事　業　名	科　　目	繰越明許費繰越額	支 出 済 額	執行率
道路の無電柱化整備推進	(項)道路橋りょう費 (目)道路新設改良費	53,440,000	51,749,500	96.8
新宿中央公園の整備（工事費）	(項)公園費 (目)公園新設改良費	29,202,000	29,190,700	100.0
清潔できれいな公衆トイレづくり	(項)公園費 (目)公衆便所費	61,847,000	39,411,200	63.7
合　　計		144,489,000	120,351,400	83.3

第10款　教育費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

教育費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分		令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		12,322,546,000	10,704,425,000	1,618,121,000	15.1
支出済額		11,276,876,513	10,051,522,476	1,225,354,037	12.2
項別内訳	教育総務費	3,284,832,439	2,469,378,024	815,454,415	33.0
	小学校費	3,392,967,000	3,326,234,268	66,732,732	2.0
	中学校費	1,373,955,524	1,361,074,954	12,880,570	0.9
	特別支援学校費	211,915,105	175,577,623	36,337,482	20.7
	区外学習施設費	255,002,407	209,236,117	45,766,290	21.9
	幼稚園費	1,352,305,335	1,054,828,829	297,476,506	28.2
	図書館費	1,405,898,703	1,455,192,661	△ 49,293,958	△ 3.4
執行率		91.5	93.9	－	－
翌年度繰越額		42,834,000	24,343,000	18,491,000	76.0
不用額		1,002,835,487	628,559,524	374,275,963	59.5

支出済額は、歳出総額の6.1%（前年度6.9%）を占めている。

この款の事業のうち、支出の大きいものは、職員費を除くと、普通学級の管理運営（小学校費）、調理業務委託（小学校費）、学校情報ネットワークシステムの運用（教育総務費）である。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１項　教育総務費

増は、ＩＣＴを活用した教育環境の充実、学校情報ネットワークシステムの運用、計画修繕である。

減は、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の推進、スクールスタッフの活用、日本語サポート指導である。

第２項　小学校費

増は、普通学級の管理運営、その他保健衛生費、計画修繕である。

減は、学校トイレ洋式化の推進、一般修繕、職員費である。

第３項　中学校費

増は、一般修繕、その他保健衛生費である。

減は、計画修繕、職員費、屋内運動場の空調設備整備である。

第４項　特別支援学校費

増は、計画修繕である。

第５項　区外学習施設費

増は、計画修繕である。

減は、移動教室の運営、夏季施設の運営である。

第６項　幼稚園費

増は、施設等利用給付（幼稚園振興費）、私立幼稚園事業助成、管理運営である。

減は、就園奨励費補助金、保護者負担軽減補助金である。

第７項　図書館費

増は、指定管理者制度の活用、図書館奉仕員である。

減は、計画修繕である。

不用額は、1,002,835,487 円（8.1％）である。

なお、翌年度への繰越額は 42,834,000 円（予算現額の 0.3％）で、全額が繰越明許費である。事業は、**次表**のとおりである。

翌年度繰越事業

（単位：円）

事　業　名	科　　目	繰越明許費	事　　由
新宿区立落合第一小学校擁壁改修工事	(項)小学校費 (目)営繕費	42,834,000	擁壁改修工事が年度内に完了しないため
計		42,834,000	

また、前年度から本年度に繰り越された事業の執行状況は、**次表**のとおりである。

繰越事業執行状況

（単位：円・％）

事　業　名	科　　目	繰越明許費繰越額	支 出 済 額	執行率
新宿区立牛込第二中学校擁壁補強工事	(項)中学校費 (目)営繕費	24,343,000	9,900,000	40.7
計		24,343,000	9,900,000	40.7

第11款　公債費

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

公債費 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分		令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額		2,323,468,000	2,285,857,000	37,611,000	1.6
支出済額		2,314,703,432	2,276,200,141	38,503,291	1.7
目別内訳	元金償還金	2,184,015,164	2,128,086,499	55,928,665	2.6
	利子償還金	129,071,201	147,144,588	△ 18,073,387	△ 12.3
	発行及び償還手数料	1,608,929	962,611	646,318	67.1
	公債諸費	8,138	6,443	1,695	26.3
執行率		99.6	99.6	－	－
翌年度繰越額		0	0	0	0
不用額		8,764,568	9,656,859	△ 892,291	△ 9.2

支出済額は、歳出総額の1.3%（前年度1.5%）を占めている。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第１目　元金償還金

増は、教育債、土木債、地域振興債である。

減は、住民税減税補填債である。

第２目　利子償還金

減は、区債利子である。

不用額は、8,764,568円（0.4%）である。

なお、本年度末の区債の未償還額は、**次表**のとおりである。

本年度末の区債未償還額

（単位：円）

前年度末未償還額 A	本年度発行額 B	本年度償還額 C	本年度末未償還額 D＝A＋B－C
18,638,011,100	3,922,000,000	2,184,015,164	20,375,995,936

第12款　諸支出金

この款の決算状況は、**次表**のとおりである。

諸支出金 決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　分			令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額			4,361,745,000	4,453,710,000	△ 91,965,000	△ 2.1
支出済額			4,360,601,000	4,452,604,000	△ 92,003,000	△ 2.1
項別内訳	競馬組合分担金		0	0	0	0
	小切手支払未済償還金		0	0	0	0
	財政積立金		4,360,601,000	4,452,604,000	△ 92,003,000	△ 2.1
	目別内訳	財政積立金	2,068,244,000	2,317,761,000	△ 249,517,000	△ 10.8
		減債基金積立金	103,765,000	104,438,000	△ 673,000	△ 0.6
		社会資本等整備基金積立金	1,884,609,000	1,557,030,000	327,579,000	21.0
		義務教育施設整備等次世代育成環境整備基金積立金	303,983,000	473,375,000	△ 169,392,000	△ 35.8
執行率			100.0	100.0	－	－
翌年度繰越額			0	0	0	0
不用額			1,144,000	1,106,000	38,000	3.4

支出済額は、歳出総額の2.4%（前年度3.0%）を占めている。

増減となった主なものは、次のとおりである。

第3項　財政積立金

増は、社会資本等整備基金積立金である。

減は、財政積立金、義務教育施設整備等次世代育成環境整備基金積立金である。

不用額は、1,144,000円（0.0%）である。

第13款　予備費

本年度予算計上額1,650,000,000円（前年度150,000,000円）に対し、1,212,470,00円の予備費充用を行い、予算現額は、437,530,000円となった。

予備費充用の内容は、**次表**のとおりである。

予備費充用内訳

（単位：円）

科目（款）	充用金額	充 用 理 由
総 務 費	111,688,000	・新型コロナウイルス感染症対策業務を行うための執務スペースを確保するため ・新型コロナウイルス感染症拡大防止用のマスク、アルコール消毒液等を調達するため
文化観光産業費	69,585,000	・新型コロナウイルス感染症の影響による融資等への相談件数の増に対応するため ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた区内中小企業者を支援するため ・新型コロナウイルス感染症の影響による、産業会館の過年度分の使用料償還及び館内消毒清掃委託を行うため
福 祉 費	400,925,000	・新型コロナウイルス感染症対策として、生活困窮者自立支援事業（住居確保給付金）の申請件数の増に対応するため ・新型コロナウイルス感染症対策として、生活困窮者自立支援事業（自立相談支援）の窓口体制を強化するため
健 康 費	445,879,000	・新型コロナウイルス感染症患者の病院等への移送体制を確保するため ・「新宿区新型コロナ検査スポット」の運営業務を委託するため ・新型コロナウイルス感染症対策として、医療専門職を労働者派遣により対応するため ・新型コロナウイルス感染症の感染症患者医療費公費負担が不足するため ・「新宿区新型コロナウイルス検査センター」の設置、運営等を行うため
土 木 費	2,381,000	・新型コロナウイルス感染症対策として執務スペースが配置替になったことにより、東部工事事務所及び東部公園事務所の執務環境を整備するため
教 育 費	182,012,000	・新型コロナウイルス感染症対策として、ＩＣＴ化を推進し、児童・生徒にタブレット端末機器を貸与するため
合　　計	1,212,470,000	

５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額

不納欠損額、収入未済額及び還付未済額の状況は、**次表**のとおりである（**別表４－１**（124、125ページ）**・別表４－２**（126、127ページ）**参照**）。

不納欠損額、収入未済額及び還付未済額の状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区分		令和２年度		令和元年度		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
不納欠損額		329,325,078	100	221,003,867	100	108,321,211	49.0
款別内訳	特別区税	282,839,845	85.9	162,690,116	73.6	120,149,729	73.9
	分担金及び負担金	2,136,900	0.7	4,553,559	2.1	△ 2,416,659	△ 53.1
	使用料及び手数料	2,119,725	0.6	952,838	0.4	1,166,887	122.5
	諸収入	42,228,608	12.8	52,807,354	23.9	△ 10,578,746	△ 20.0
収入未済額		2,436,172,718	100	2,428,414,751	100	7,757,967	0.3
款別内訳	特別区税	1,332,397,014	54.7	1,396,377,715	57.5	△ 63,980,701	△ 4.6
	分担金及び負担金	16,568,937	0.7	19,841,930	0.8	△ 3,272,993	△ 16.5
	使用料及び手数料	47,025,666	1.9	55,851,569	2.3	△ 8,825,903	△ 15.8
	諸収入	1,040,181,101	42.7	956,343,537	39.4	83,837,564	8.8
還付未済額		30,915,348	100	22,122,102	100	8,793,246	39.7
款別内訳	特別区税	30,803,348	99.7	21,934,202	99.1	8,869,146	40.4
	分担金及び負担金	37,700	0.1	47,600	0.2	△ 9,900	△ 20.8
	使用料及び手数料	69,400	0.2	122,800	0.6	△ 53,400	△ 43.5
	諸収入	4,900	0.0	17,500	0.1	△ 12,600	△ 72.0

国民健康保険特別会計

Ⅱ　国民健康保険特別会計

１　決算の規模

本年度の決算額は、**次表**のとおりである（**別表６・７**（130、131ページ）**参照**）。

決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳入額	35,347,736,616	37,493,269,440	△ 2,145,532,824	△ 5.7
歳出額	34,933,659,010	36,788,218,273	△ 1,854,559,263	△ 5.0
差引額	414,077,606	705,051,167	△ 290,973,561	△ 41.3

歳入額は35,347,736,616円で、前年度に比べて2,145,532,824円、5.7％の減となった。増減となった主なものは、増が、国庫支出金4億円余、繰越金3億円余であり、減が、都支出金11億円余、繰入金11億円余、国民健康保険料6億円余である。

歳出額は34,933,659,010円で、前年度に比べて、1,854,559,263円、5.0％の減となった。増減となった主なものは、増が、諸支出金2億円余であり、減が、保険給付費15億円余、国民健康保険事業費納付金5億円余である。

また、歳入額及び歳出額の対前年度増減率の推移は、**次表**のとおりである。

歳入額歳出額対前年度増減率の推移

（単位：％）

年　　度	28	29	30	元	2
歳入額	0.2	△ 0.5	△ 11.0	△ 1.5	△ 5.7
歳出額	0.2	△ 1.3	△ 9.9	△ 2.5	△ 5.0

2　財政収支等

⑴　財政収支

本年度の財政収支状況は、**次表**のとおりである。

財政収支の対前年度比較

（単位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳　入　額　A	35,347,736,616	37,493,269,440	△ 2,145,532,824	△ 5.7
歳　出　額　B	34,933,659,010	36,788,218,273	△ 1,854,559,263	△ 5.0
形式収支（A－B）＝　C	414,077,606	705,051,167	△ 290,973,561	△ 41.3
翌年度へ繰り越すべき財源　D	0	0	0	0
実質収支（C－D）＝　E	414,077,606	705,051,167	△ 290,973,561	△ 41.3

⑵　資金収支

本年度の資金収支状況は、**次表**のとおりである。

資金収支状況

（単位：円・％）

区　分	収　入		支　出		差引額	累　計
	金　額	構成比	金　額	構成比		
第１四半期	5,238,068,398	14.8	3,764,922,647	10.8	1,473,145,751	1,473,145,751
第２四半期	7,466,333,038	21.1	8,395,027,536	24.0	△ 928,694,498	544,451,253
第３四半期	7,712,207,017	21.8	10,448,801,552	29.9	△ 2,736,594,535	△ 2,192,143,282
第４四半期	10,028,665,636	28.4	10,698,381,877	30.6	△ 669,716,241	△ 2,861,859,523
出納整理期間	4,902,462,527	13.9	1,626,525,398	4.7	3,275,937,129	414,077,606
計	35,347,736,616	100	34,933,659,010	100	414,077,606	

3　歳入決算の状況

⑴　歳入の状況

本年度における歳入の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表６**（130、131 ページ）・**別表９**（132、133 ページ）**参照**）。

歳入決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	36,223,080,000	37,484,598,000	△ 1,261,518,000	△ 3.4
調　定　額	40,290,329,911	42,637,324,509	△ 2,346,994,598	△ 5.5
収入済額	35,347,736,616	37,493,269,440	△ 2,145,532,824	△ 5.7
対予算収入率	97.6	100.0	―	―
対調定収入率	87.7	87.9	―	―
不納欠損額	1,402,901,856	1,297,655,648	105,246,208	8.1
収入未済額	3,598,128,262	3,909,061,648	△ 310,933,386	△ 8.0
還付未済額	58,436,823	62,662,227	△ 4,225,404	△ 6.7

ア　予算現額

予算現額は 36,223,080,000 円で、前年度に比べて 1,261,518,000 円、3.4%の減である。

イ　収入済額

収入済額は 35,347,736,616 円で、前年度に比べて 2,145,532,824 円、5.7%の減である。

ウ　収入率

調定額に対する過去５か年の収入率は、**次表**のとおりである。

対調定収入率の推移

（単位：%）

年　度	28	29	30	元	2
収入率	90.7	90.0	88.4	87.9	87.7

⑵　各款別の概要

款別収入済額の対前年度比較は、**別表６**（130、131 ページ）のとおりであるが、増減となった主なものは、次のとおりである。

第１款　国民健康保険料

637,891,515 円、6.5％の減となった。これは主に、一般被保険者国民健康保険料によるものである。

第４款　都支出金

1,171,950,390 円、5.3％の減となった。

第６款　繰入金

1,131,975,023 円、21.2％の減となった。

第７款　繰越金

353,755,079 円、100.7％の増となった。

第８款　諸収入

32,078,242 円、49.7％の増となった。

第９款　国庫支出金

410,446,000 円、242,867.5％の増となった。

4　歳出決算の状況

⑴　歳出の状況

本年度における歳出の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表７**（130、131 ページ）**参照**）。

歳出決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	36,223,080,000	37,484,598,000	△ 1,261,518,000	△ 3.4
支 出 済 額	34,933,659,010	36,788,218,273	△ 1,854,559,263	△ 5.0
執　行　率	96.4	98.1	－	－
翌年度繰越額	0	0	0	0
不　用　額	1,289,420,990	696,379,727	593,041,263	85.2

ア　予算現額

予算現額は 36,223,080,000 円で、前年度に比べて 1,261,518,000 円、3.4%の減である。

イ　支出済額

支出済額は 34,933,659,010 円で、前年度に比べて 1,854,559,263 円、5.0%の減である。

ウ　執行率

過去５か年の執行率は、**次表**のとおりである。

執行率の推移

（単位：%）

年　度	28	29	30	元	2
執行率	96.9	98.6	98.8	98.1	96.4

エ　不用額

予算現額に対する不用額の割合は 3.6%で、前年度（1.9%）を 1.7 ポイント上回った。

オ　予備費充用

予備費充用額は 72,151,000 円で、これは、総務費における新型コロナウイルス感染症の影響による保険料減免業務に係る経費への充用 21,151,000 円、及び諸支出金における新型コロナウイルス感染症の影響による保険料減免に伴う還付金への充用 51,000,000 円である。

⑵ 各款別の概要

款別支出済額の対前年度比較は、**別表７**（130、131 ページ）のとおりであるが、増減となった主なものは、次のとおりである。

第１款　総務費

29,534,058 円、3.5％の減となった。これは主に、一般管理費によるものである。

第２款　保険給付費

1,544,326,602 円、7.2％の減となった（**別表８**（132、133 ページ）**参照**）。

これは主に、一般被保険者療養給付費、一般被保険者高額療養費、一般被保険者療養費によるものである。

第３款　国民健康保険事業費納付金

515,502,921 円、3.7％の減となった。

増は、介護納付金分である。

減は、一般被保険者医療給付費分、一般被保険者後期高齢者支援金等分である。

第５款　諸支出金

237,322,238 円、92.3％の増となった。これは主に、償還金、一般被保険者保険料還付金によるものである。

５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額

不納欠損額、収入未済額及び還付未済額は、**別表９**（132、133ページ）のとおりである。

⑴　不納欠損額

不納欠損額は1,402,901,856円で、前年度に比べて105,246,208円、8.1％の増であり、そのうち99.8％を国民健康保険料が占めている。

⑵　収入未済額

収入未済額は3,598,128,262円で、前年度に比べて310,933,386円、8.0％の減であり、そのうち99.3％を国民健康保険料が占めている。

⑶　還付未済額

還付未済額は58,436,823円で、前年度に比べて4,225,404円、6.7％の減であり、そのうち99.9％を国民健康保険料が占めている。

介 護 保 険 特 別 会 計

Ⅲ　介護保険特別会計

1　決算の規模

本年度の決算額は、**次表**のとおりである（**別表 10・11**（134、135 ページ）**参照**）。

決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
歳 入 額	26,023,020,485	24,974,539,092	1,048,481,393	4.2
歳 出 額	24,564,222,854	24,305,024,496	259,198,358	1.1
差 引 額	1,458,797,631	669,514,596	789,283,035	117.9

歳入額は 26,023,020,485 円で、前年度に比べて 1,048,481,393 円、4.2%の増となった。増減となった主なものは、増が、繰入金 6 億円余、国庫支出金 5 億円余であり、減が、介護保険料 1 億円余である。

歳出額は 24,564,222,854 円で、前年度に比べて 259,198,358 円、1.1%の増となった。増減となった主なものは、増が、保険給付費 2 億円余、総務費 2 億円余、基金積立金 1 億円余であり、減が、諸支出金 1 億円余である。

また、歳入額及び歳出額の対前年度増減率の推移は、**次表**のとおりである。

歳入額歳出額対前年度増減率の推移

（単位：%）

年　　度	28	29	30	元	2
歳 入 額	1.4	6.1	1.1	1.9	4.2
歳 出 額	△ 1.2	7.4	1.3	2.3	1.1

2　財政収支等

⑴　財政収支

本年度の財政収支状況は、**次表**のとおりである。

財政収支の対前年度比較

（単位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳　入　額　A	26,023,020,485	24,974,539,092	1,048,481,393	4.2
歳　出　額　B	24,564,222,854	24,305,024,496	259,198,358	1.1
形式収支（A－B）＝　C	1,458,797,631	669,514,596	789,283,035	117.9
翌年度へ繰り越すべき財源　D	0	0	0	0
実質収支（C－D）＝　E	1,458,797,631	669,514,596	789,283,035	117.9

⑵　資金収支

本年度の資金収支状況は、**次表**のとおりである。

資金収支状況

（単位：円・％）

区　分	収　入		支　出		差引額	累　計
	金　額	構成比	金　額	構成比		
第１四半期	6,351,399,149	24.4	4,066,230,193	16.5	2,285,168,956	2,285,168,956
第２四半期	6,667,240,127	25.6	5,862,293,023	23.9	804,947,104	3,090,116,060
第３四半期	6,007,593,223	23.1	6,610,797,387	26.9	△ 603,204,164	2,486,911,896
第４四半期	6,078,803,560	23.4	6,082,566,900	24.8	△ 3,763,340	2,483,148,556
出納整理期間	917,984,426	3.5	1,942,335,351	7.9	△ 1,024,350,925	1,458,797,631
計	26,023,020,485	100	24,564,222,854	100	1,458,797,631	

3　歳入決算の状況

⑴　歳入の状況

本年度における歳入の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表 10**（134、135 ページ）・**別表 13**（136、137 ページ）**参照**）。

歳入決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	27,350,106,000	25,936,915,000	1,413,191,000	5.4
調　定　額	26,267,598,474	25,258,526,683	1,009,071,791	4.0
収 入 済 額	26,023,020,485	24,974,539,092	1,048,481,393	4.2
対予算収入率	95.1	96.3	―	―
対調定収入率	99.1	98.9	―	―
不 納 欠 損 額	85,640,704	91,011,795	△ 5,371,091	△ 5.9
収 入 未 済 額	176,954,675	206,917,031	△ 29,962,356	△ 14.5
還 付 未 済 額	18,017,390	13,941,235	4,076,155	29.2

ア　予算現額

予算現額は 27,350,106,000 円で、前年度に比べて 1,413,191,000 円、5.4%の増である。

イ　収入済額

収入済額は 26,023,020,485 円で、前年度に比べて 1,048,481,393 円、4.2%の増である。

ウ　収入率

調定額に対する過去 5 か年の収入率は、**次表**のとおりである。

対調定収入率の推移

（単位：%）

年　度	28	29	30	元	2
収入率	98.6	98.7	98.8	98.9	99.1

⑵　各款別の概要

款別収入済額の対前年度比較は、**別表 10**（134、135 ページ）のとおりであるが、増減となった主なものは、次のとおりである。

第１款　介護保険料

169,717,333 円、3.3％の減となった。

第３款　国庫支出金

512,453,669 円、9.7％の増となった。

増は、介護給付費負担金、調整交付金、災害等臨時特例補助金である。

減は、地域支援事業交付金である。

第４款　支払基金交付金

65,706,464 円、1.1％の増となった。

これは主に、介護給付費交付金によるものである。

第５款　都支出金

71,937,234 円、2.2％の増となった。

増は、介護給付費負担金である。

減は、地域支援事業交付金である。

第７款　繰入金

641,627,436 円、14.4％の増となった。

これは、一般会計繰入金、介護給付準備基金繰入金によるものである。

第８款　繰越金

81,156,782 円、10.8％の減となった。

4　歳出決算の状況

⑴　歳出の状況

本年度における歳出の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表 11**（134、135 ページ）**参照**）。

歳出決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	27,350,106,000	25,936,915,000	1,413,191,000	5.4
支 出 済 額	24,564,222,854	24,305,024,496	259,198,358	1.1
執　行　率	89.8	93.7	－	－
翌年度繰越額	0	0	0	0
不　用　額	2,785,883,146	1,631,890,504	1,153,992,642	70.7

ア　予算現額

予算現額は 27,350,106,000 円で、前年度に比べて 1,413,191,000 円、5.4%の増である。

イ　支出済額

支出済額は 24,564,222,854 円で、前年度に比べて 259,198,358 円、1.1%の増である。

ウ　執行率

過去 5 か年の執行率は、**次表**のとおりである。

執行率の推移

（単位：%）

年　度	28	29	30	元	2
執行率	89.0	88.3	95.2	93.7	89.8

エ　不用額

予算現額に対する不用額の割合は 10.2%で、前年度（6.3%）を 3.9 ポイント上回った。

オ　予備費充用

予備費充用額は 10,578,000 円で、これは、総務費における新型コロナウイルス感染症の影響による保険料減免業務に係る経費への充用である。

⑵　各款別の概要

款別支出済額の対前年度比較は、**別表 11**（134、135 ページ）のとおりであるが、増減となった主なものは、次のとおりである。

第１款　総務費

200,644,858 円、21.3％の増となった。

増は、一般管理費である。

減は、認定調査費である。

第２款　保険給付費

206,742,005 円、1.0％の増となった（**別表 12**（136、137 ページ）**参照**）。

増は、居宅サービス給付費、サービス計画給付費、高額サービス費である。

減は、地域密着型サービス給付費、特定入所者サービス費である。

第３款　基金積立金

128,916,549 円、31.2％の増となった。

第４款　地域支援事業費

87,936,657 円、6.5％の減となった。

増は、包括的支援等事業費である。

減は、介護予防・生活支援サービス事業費である。

第５款　諸支出金

189,168,397 円、56.2％の減となった。

増は、第 1 号被保険者保険料還付金である。

減は、償還金である。

５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額

不納欠損額、収入未済額及び還付未済額は、**別表 13**（136、137 ページ）のとおりである。

⑴　不納欠損額

不納欠損額は 85,640,704 円で、全額が介護保険料である。前年度に比べて 5,371,091 円、5.9％の減となった。

⑵　収入未済額

収入未済額は 176,954,675 円で、全額が介護保険料である。前年度に比べて 29,962,356 円、14.5％の減となった。

⑶　還付未済額

還付未済額は 18,017,390 円で、全額が介護保険料である。前年度に比べて 4,076,155 円、29.2％の増となった。

後期高齢者医療特別会計

Ⅳ　後期高齢者医療特別会計

1　決算の規模

本年度の決算額は、**次表**のとおりである（**別表 14・15**（138、139 ページ）**参照**）。

決算状況及び対前年度比較

（単位：円・%）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
歳 入 額	7,332,459,975	7,294,127,673	38,332,302	0.5
歳 出 額	7,291,642,098	7,256,646,059	34,996,039	0.5
差 引 額	40,817,877	37,481,614	3,336,263	8.9

歳入額は 7,332,459,975 円で、前年度に比べて 38,332,302 円、0.5%の増となった。

歳出額は 7,291,642,098 円で、前年度に比べて 34,996,039 円、0.5%の増となった。

また、歳入額及び歳出額の対前年度増減率の推移は、**次表**のとおりである。

歳入額歳出額対前年度増減率の推移

（単位：%）

年　　度	28	29	30	元	2
歳 入 額	4.0	2.0	4.6	1.0	0.5
歳 出 額	3.9	2.0	4.7	1.0	0.5

2　財政収支等

⑴　財政収支

本年度の財政収支状況は、**次表**のとおりである。

財政収支の対前年度比較

（単位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
歳　入　額　A	7,332,459,975	7,294,127,673	38,332,302	0.5
歳　出　額　B	7,291,642,098	7,256,646,059	34,996,039	0.5
形式収支（A－B）＝　C	40,817,877	37,481,614	3,336,263	8.9
翌年度へ繰り越すべき財源　D	0	0	0	0
実質収支（C－D）＝　E	40,817,877	37,481,614	3,336,263	8.9

⑵　資金収支

本年度の資金収支状況は、**次表**のとおりである。

資金収支状況

（単位：円・％）

区　分	収　入		支　出		差引額	累　計
	金　額	構成比	金　額	構成比		
第１四半期	319,916,854	4.3	1,273,873,123	17.5	△ 953,956,269	△ 953,956,269
第２四半期	2,830,965,469	38.6	1,178,574,682	16.2	1,652,390,787	698,434,518
第３四半期	1,112,791,534	15.2	2,241,933,903	30.7	△ 1,129,142,369	△ 430,707,851
第４四半期	2,675,317,535	36.5	2,579,067,838	35.4	96,249,697	△ 334,458,154
出納整理期間	393,468,583	5.4	18,192,552	0.2	375,276,031	40,817,877
計	7,332,459,975	100	7,291,642,098	100	40,817,877	

3　歳入決算の状況

⑴　歳入の状況

本年度における歳入の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表 14**（138、139 ページ）・**別表 16**（140、141 ページ）**参照**）。

歳入決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区　　分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	7,478,303,000	7,383,462,000	94,841,000	1.3
調　定　額	7,401,601,675	7,367,303,566	34,298,109	0.5
収 入 済 額	7,332,459,975	7,294,127,673	38,332,302	0.5
対予算収入率	98.0	98.8	－	－
対調定収入率	99.1	99.0	－	－
不 納 欠 損 額	11,371,400	9,418,393	1,953,007	20.7
収 入 未 済 額	65,087,000	70,520,600	△ 5,433,600	△ 7.7
還 付 未 済 額	7,316,700	6,763,100	553,600	8.2

ア　予算現額

予算現額は 7,478,303,000 円で、前年度に比べて 94,841,000 円、1.3％の増である。

イ　収入済額

収入済額は 7,332,459,975 円で、前年度に比べて 38,332,302 円、0.5％の増である。

ウ　収入率

調定額に対する過去５か年の収入率は、**次表**のとおりである。

対調定収入率の推移

（単位：％）

年 度	28	29	30	元	2
収入率	98.9	99.1	99.2	99.0	99.1

⑵ 各款別の概要

款別収入済額の対前年度比較は、**別表 14**（138、139 ページ）のとおりであるが、増減となった主なものは、次のとおりである。

第１款　後期高齢者医療保険料

66,293,300 円、1.6％の増となった。

第３款　繰入金

40,886,226 円、1.3％の減となった。

4　歳出決算の状況

⑴ 歳出の状況

本年度における歳出の決算状況は、**次表**のとおりである（**別表 15**（138、139 ページ）**参照**）。

歳出決算状況及び対前年度比較

（単位：円・％）

区　　分	令和２年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	7,478,303,000	7,383,462,000	94,841,000	1.3
支出済額	7,291,642,098	7,256,646,059	34,996,039	0.5
執行率	97.5	98.3	－	－
翌年度繰越額	0	0	0	0
不用額	186,660,902	126,815,941	59,844,961	47.2

ア　予算現額

予算現額は 7,478,303,000 円で、前年度に比べて 94,841,000 円、1.3％の増である。

イ　支出済額

支出済額は 7,291,642,098 円で、前年度に比べて 34,996,039 円、0.5％の増である。

ウ　執行率

過去５か年の執行率は、**次表**のとおりである。

執行率の推移

（単位：％）

年度	28	29	30	元	2
執行率	99.4	99.0	99.5	98.3	97.5

エ　不用額

予算現額に対する不用額の割合は 2.5％で、前年度（1.7％）を 0.8 ポイント上回った。

オ　予備費充用

予備費充用額は 3,528,000 円で、これは、総務費における新型コロナウイルス感染症の影響による保険料減免業務に係る経費への充用である。

⑵　各款別の概要

款別支出済額の対前年度比較は、**別表 15**（138、139 ページ）のとおりであるが、増減となった主なものは、次のとおりである。

第１款　総務費

22,371,973 円、14.0％の増となった。

第２款　広域連合納付金

41,273,484 円、0.6％の増となった。

第３款　後期高齢者支援事業費

32,319,218 円、16.7％の減となった。

５　不納欠損額、収入未済額及び還付未済額

不納欠損額、収入未済額及び還付未済額は、**別表 16**（140、141 ページ）のとおりである。

⑴　不納欠損額

不納欠損額は 11,371,400 円で、全額が後期高齢者医療保険料である。前年度に比べて 1,953,007 円、20.7％の増となった。

⑵　収入未済額

収入未済額は 65,087,000 円で、全額が後期高齢者医療保険料である。前年度に比べて 5,433,600 円、7.7％の減となった。

⑶　還付未済額

還付未済額は 7,316,700 円で、全額が後期高齢者医療保険料である。前年度に比べて 553,600 円、8.2％の増となった。

財　産　及　び　基　金

Ⅴ　財産及び基金

1　財産

本年度における増減は、**次表**のとおりである。

財 産 総 括 増 減 内 訳

種別			前年度末現在高	決算年度中増減高			決算年度末現在高
				増	減	差引増減	
⑴ 公有財産							
	ア 土地	(㎡)	1,057,088.05	185.52	97.13	88.39	1,057,176.44
	内訳 行政財産	(㎡)	964,604.48	107.78	19.39	88.39	964,692.87
	内訳 普通財産	(㎡)	92,483.57	77.74	77.74	0.00	92,483.57
	イ 建物	(㎡)	631,199.79	3,807.68	2,798.72	1,008.96	632,208.75
	内訳 行政財産	(㎡)	573,213.70	3,509.68	299.95	3,209.73	576,423.43
	内訳 普通財産	(㎡)	57,986.09	298.00	2,498.77	△ 2,200.77	55,785.32
	ウ 物権	(件)	1	0	0	0	1
	エ 無体財産権	(件)	5	0	0	0	5
	オ 出資による権利	(円)	853,729,392	0	0	0	853,729,392
	カ 不動産の信託の受益権	(件)	1	0	0	0	1
⑵ 物品		(点)	921	26	13	13	934
(取得価格100万円以上)		(円)	3,115,885,962	63,518,400	29,755,812	33,762,588	3,149,648,550
⑶ 債権		(円)	345,990,958	0	7,134,172	△ 7,134,172	338,856,786
⑷ 基金		(円)	57,649,099,043	5,229,490,681	2,181,133,646	3,048,357,035	60,697,456,078

＊　本表の⑴　公有財産　ア土地　及び　イ建物の面積について
　決算年度中増減高には、用途変更・所管換え等による変動（売却等したものは除く。）は含まれていない。

以下、本年度における財産の増減について述べる。

⑴ 公有財産

ア 土地

用途変更等以外の要因により増減となった主なものは、次のとおりである。

増は、児童相談所関連施設の実測増、福祉部上落合二丁目事務所の交換である。

減は、廃道路敷及び廃水路敷の売払いである。

イ 建物

用途変更等以外の要因により増となった主なものは、次のとおりである。

児童相談所関連施設の新築、福祉部上落合二丁目事務所の交換である。

ウ 物権

区民健康村の温泉権１件であり、増減はなかった。

エ 無体財産権

「しんじゅく逸品」に係るロゴマークの商標権、「技の名匠」に係る標準文字及びロゴマークの商標権、「都市建築物の緑化手法」及び「介護予防体操」の著作権の５件であり、増減はなかった。

オ 出資による権利

本年度における出資状況は、**次表**のとおりである。

出資による権利増減内訳

（単位：円）

区　　分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
新宿区土地開発公社	10,000,000	0	10,000,000
公益財団法人東京しごと財団	5,000,000	0	5,000,000
一般財団法人道路管理センター	2,512,000	0	2,512,000
公益財団法人暴力団追放運動推進都民センター	15,217,392	0	15,217,392
社会福祉法人新宿区社会福祉事業団	5,000,000	0	5,000,000
公益財団法人新宿未来創造財団	500,000,000	0	500,000,000
地方公共団体金融機構	13,000,000	0	13,000,000
公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター	303,000,000	0	303,000,000
合　　計	853,729,392	0	853,729,392

カ　不動産の信託の受益権

区分は賃貸型土地信託１件であり、内容は次のとおりである。増減はなかった。

・所在地　　新宿区西新宿一丁目 23 番 3
・面積　　3,859.62 ㎡
・受託者　　みずほ信託銀行株式会社
・契約締結日　　平成 12 年 12 月 28 日
・信託期間　　平成 13 年 1 月 12 日から令和 5 年 6 月 30 日まで

⑵　物品

増減となった主なものは､次のとおりである。

増は、陳列ケース、熱風消毒食器保管庫、文学である。

減は、謄写印刷機、移動用リフト、副調整機器である。

⑶　債権

本年度における増減は、**次表**のとおりである。

債 権 増 減 内 訳

（単位：円）

区　　分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
女性福祉資金貸付金	2,965,438	△ 1,276,572	1,688,866
区営住宅賃貸借契約保証金	122,323,520	△ 451,000	121,872,520
区民住宅賃貸借契約保証金	5,464,980	0	5,464,980
特定住宅賃貸借契約保証金	157,703,400	0	157,703,400
事業住宅賃貸借契約保証金	1,380,000	△ 4,000	1,376,000
奨学資金貸付金	56,153,620	△ 5,402,600	50,751,020
合　　計	345,990,958	△ 7,134,172	338,856,786

本年度中に減となったものは、次のとおりである。

・女性福祉資金貸付金の減は、償還によるものである。

＊　女性福祉資金貸付金は、新規貸付を平成 13 年度に終了している（条例廃止平成 14 年 4 月 1 日）。前年度末現在高は、平成 13 年度までの貸付金利子の支払期限未到来の元利金額の合計である。決算年度中増減高は、貸付金の支払期限が到来したことを示す。

・区営住宅賃貸借契約保証金の減は、契約更新時における減額によるものである。
・事業住宅賃貸借契約保証金の減は、契約更新時における減額によるものである。
・奨学資金貸付金の減は、償還によるものである。

⑷ 基金

積立基金及び運用基金の本年度における増減等は、**次表**のとおりである。

基 金 増 減 等 内 訳

（単位：円）

区分		前年度末現在高	決算年度中増減高			決算年度末現在高	基金利子収入額
			増	減	差引増減		
⑴ 積立基金	ア 財政調整基金	32,606,962,000	2,068,244,000	800,000,000	1,268,244,000	33,875,206,000	21,124,054
	イ 障害者福祉活動基金	321,020,904	40,000	0	40,000	321,060,904	209,506
	ウ 障害者福祉活動エヌ・ケイ愛の基金	104,000,000	0	0	0	104,000,000	67,864
	エ 島田育英基金	134,715,030	0	1,712,067	△ 1,712,067	133,002,963	87,933
	オ 高齢者福祉活動基金	639,765,757	47,774,140	0	47,774,140	687,539,897	417,475
	カ 地場産業振興小野基金	100,837,903	65,804	0	65,804	100,903,707	65,804
	キ 外国人留学生学習奨励馬場基金	57,307,757	0	1,478,441	△ 1,478,441	55,829,316	37,447
	ク 外国人留学生学習奨励濱田基金	74,267,754	0	1,915,593	△ 1,915,593	72,352,161	48,519
	ケ 減債基金	5,778,976,000	103,765,000	0	103,765,000	5,882,741,000	3,764,352
	コ 介護給付準備基金	1,897,428,190	542,196,147	774,042,078	△ 231,845,931	1,665,582,259	1,187,733
	サ 義務教育施設整備等次世代育成環境整備基金	5,339,352,000	303,983,000	37,184,000	266,799,000	5,606,151,000	3,452,755
	シ 社会資本等整備基金	9,123,713,000	1,884,609,000	137,257,000	1,747,352,000	10,871,065,000	5,849,873
	ス 協働推進基金	16,073,899	795,550	0	795,550	16,869,449	10,550
	セ みどり公園基金	371,717,941	2,789,573	31,588,000	△ 28,798,427	342,919,514	242,573
	ソ 夏目漱石記念施設整備基金	59,101,000	2,518,000	2,300,000	218,000	59,319,000	38,930
	タ 子ども未来基金	317,052,000	5,560,000	2,699,000	2,861,000	319,913,000	207,135
	チ スポーツ施設整備基金	321,694,000	220,000	124,077,000	△ 123,857,000	197,837,000	209,933
	ツ 東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金	75,113,908	50,000	0	50,000	75,163,908	49,867
	小計	57,339,099,043	4,962,610,214	1,914,253,179	3,048,357,035	60,387,456,078	37,072,303
⑵ 運用基金	ア 国民健康保険高額療養費資金貸付基金	5,000,000	0	0	0	5,000,000	45
	イ 介護保険高額サービス費等資金貸付基金	5,000,000	0	0	0	5,000,000	45
	ウ 公共料金支払基金	300,000,000	266,880,467	266,880,467	0	300,000,000	590
	小計	310,000,000	266,880,467	266,880,467	0	310,000,000	680
合計		57,649,099,043	5,229,490,681	2,181,133,646	3,048,357,035	60,697,456,078	37,072,983

本年度末現在高は、60,697,456,078円で、前年度末の57,649,099,043円に比べると3,048,357,035円の増となった。

２　積立基金の状況

ア　財政調整基金

この基金は、「新宿区財政調整基金条例」に基づき、年度間の財源の調整を図り、財政の健全な運営に資するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

財 政 調 整 基 金

（単位：円）

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	32,606,962,000	0	21,124,054	2,047,119,946	800,000,000	33,875,206,000	21,124,054	0
元	30,289,201,000	0	23,510,385	2,294,250,615	0	32,606,962,000	23,510,385	0

本年度の積立額 2,068,244,000 円の内訳は、既積立金の利子収入額 21,124,054 円、不動産貸付収入等 341,258,946 円及び前年度繰越金の実質収支額からの法定による積立分 1,705,861,000 円である。

また、取崩額 800,000,000 円は、一般会計に繰り入れられた。

イ　障害者福祉活動基金

この基金は、「新宿区障害者福祉活動基金条例」に基づき、障害者の自立及び社会参加を促進する活動に助成を行い、もって障害者福祉の増進を図るため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

障 害 者 福 祉 活 動 基 金

（単位：円）

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	321,020,904	40,000	0	0	0	321,060,904	209,506	209,506
元	320,936,904	83,200	0	800	0	321,020,904	251,388	251,388

本年度は、指定寄附金 40,000 円を積み立てた。

なお、この基金は、障害者福祉活動エヌ・ケイ愛の基金と一体で運用されている。

ウ　障害者福祉活動エヌ・ケイ愛の基金

この基金は、「新宿区障害者福祉活動基金条例」に基づき、障害者の自立及び社会参加を促進する活動に助成を行い、もって障害者福祉の増進を図るため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

障 害 者 福 祉 活 動 エ ヌ ・ ケ イ 愛 の 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	104,000,000	0	0	0	0	104,000,000	67,864	67,864
元	104,000,000	0	0	0	0	104,000,000	81,462	81,462

なお、この基金は、障害者福祉活動基金と一体で運用されている。

エ　島田育英基金

この基金は、「新宿区島田育英基金条例」に基づき、社会に有為な人材の育成に寄与するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

島 田 育 英 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	134,715,030	0	0	0	1,712,067	133,002,963	87,933	87,933
元	136,408,158	0	0	0	1,693,128	134,715,030	106,872	106,872

本年度は、取崩額1,712,067円に基金利子収入額87,933円及び一般財源240,000円を加えた2,040,000円が育英資金として奨学生に支給された。

オ　高齢者福祉活動基金

この基金は、「新宿区高齢者福祉活動基金条例」に基づき、地域高齢者に対する福祉活動への助成その他高齢者福祉施策の推進に資するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

高 齢 者 福 祉 活 動 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	639,765,757	47,356,665	417,475	0	0	687,539,897	417,475	0
元	639,263,084	65,000	437,673	0	0	639,765,757	500,673	63,000

本年度は、指定寄附金 47,356,665 円を積み立てた。

カ　地場産業振興小野基金

この基金は、「新宿区地場産業振興小野基金条例」に基づき、地場産業振興施策の推進に資するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

地 場 産 業 振 興 小 野 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	100,837,903	0	65,804	0	0	100,903,707	65,804	0
元	100,758,985	0	78,918	0	0	100,837,903	78,918	0

キ　外国人留学生学習奨励馬場基金

この基金は、「新宿区外国人留学生学習奨励基金条例」に基づき、外国人留学生の学習を奨励するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

外 国 人 留 学 生 学 習 奨 励 馬 場 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	57,307,757	0	0	0	1,478,441	55,829,316	37,447	37,447
元	58,742,755	0	0	0	1,434,998	57,307,757	46,042	46,042

なお、この基金は、外国人留学生学習奨励濱田基金と一体で運用されている。

ク　外国人留学生学習奨励濱田基金

この基金は、「新宿区外国人留学生学習奨励基金条例」に基づき、外国人留学生の学習を奨励するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

外 国 人 留 学 生 学 習 奨 励 濱 田 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	74,267,754	0	0	0	1,915,593	72,352,161	48,519	48,519
元	76,127,058	0	0	0	1,859,304	74,267,754	59,656	59,656

なお、この基金は、外国人留学生学習奨励馬場基金と一体で運用されている。

本年度は、外国人留学生学習奨励馬場基金から取崩額 1,478,441 円及び基金利子収入額 37,447 円、外国人留学生学習奨励濱田基金から取崩額 1,915,593 円及び基金利子収入額 48,519 円の合計 3,480,000 円が外国人留学生学習奨励費として支給された。

ケ　減債基金

この基金は、「新宿区減債基金条例」に基づき、特別区債の償還に必要な財源を確保し、財政の健全な運営に資するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

減　債　基　金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	5,778,976,000	0	3,764,352	100,000,648	0	5,882,741,000	3,764,352	0
元	5,674,538,000	0	4,437,921	100,000,079	0	5,778,976,000	4,437,921	0

コ　介護給付準備基金

この基金は、「新宿区介護給付準備基金条例」に基づき、介護保険財政の安定化に資するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

介 護 給 付 準 備 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	1,897,428,190	0	1,187,733	541,008,414	774,042,078	1,665,582,259	1,187,733	0
元	1,971,043,468	0	1,522,324	411,757,274	486,894,876	1,897,428,190	1,522,324	0

本年度は、取崩額774,042,078円が介護保険特別会計に繰り入れられた。

サ　義務教育施設整備等次世代育成環境整備基金

この基金は、「新宿区義務教育施設整備等次世代育成環境整備基金条例」に基づき、義務教育施設の整備その他の次代の社会を担う子どもが健やかに育成される環境の整備に係る資金に充てるため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

義 務 教 育 施 設 整 備 等 次 世 代 育 成 環 境 整 備 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	5,339,352,000	529,078	3,452,755	300,001,167	37,184,000	5,606,151,000	3,452,755	0
元	4,865,977,000	7,105,900	3,774,338	462,494,762	0	5,339,352,000	3,774,338	0

本年度は、指定寄附金529,078円を積み立てるとともに、取崩額37,184,000円が児童相談所一時保護所建設のために支出された。

シ　社会資本等整備基金

この基金は、「新宿区社会資本等整備基金条例」に基づき、都市基盤の整備、福祉施設の整備その他の区の社会資本等の整備に係る資金に充てるため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

社 会 資 本 等 整 備 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	9,123,713,000	0	5,849,873	1,878,759,127	137,257,000	10,871,065,000	5,849,873	0
元	7,566,683,000	0	5,812,841	1,551,217,159	0	9,123,713,000	5,812,841	0

本年度は、取崩額137,257,000円が柏木地域センター外壁改修・空調設備改修等工事、四谷地域センターエレベーター改修工事等のために支出された。

ス　協働推進基金

この基金は、「新宿区協働推進基金条例」に基づき、区民の福祉の向上を目的として非営利活動を行うものに対し助成を行い、もって協働による地域社会づくりの推進に資するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

協 働 推 進 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	16,073,899	785,000	10,550	0	0	16,869,449	10,550	0
元	16,832,497	380,111	13,291	0	1,152,000	16,073,899	13,291	0

本年度は、指定寄附金 785,000 円を積み立てた。

セ　みどり公園基金

この基金は、「新宿区みどり公園基金条例」に基づき、公園、緑地その他これらに類する施設の用に供するための土地の取得及び公園等の建設、改修その他の整備を行い、もって区内におけるみどりの創出及び保全並びに公園等の充実に資するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

み ど り 公 園 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	371,717,941	2,547,000	242,573	0	31,588,000	342,919,514	242,573	0
元	371,417,040	10,000	290,901	0	0	371,717,941	290,901	0

本年度は、指定寄附金 2,547,000 円を積み立てるとともに、取崩額 31,588,000 円が新宿中央公園の整備のために支出された。

ソ　夏目漱石記念施設整備基金

この基金は、「新宿区夏目漱石記念施設整備基金条例」に基づき、漱石山房記念館の整備に係る資金に充てるため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

夏 目 漱 石 記 念 施 設 整 備 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	59,101,000	2,478,500	38,930	570	2,300,000	59,319,000	38,930	0
元	60,616,000	3,745,000	48,115	885	5,309,000	59,101,000	48,115	0

本年度は、指定寄附金2,478,500円を積み立てるとともに、取崩額2,300,000円が漱石山房記念館展示用資料の購入のために支出された。

タ　子ども未来基金

この基金は、「新宿区子ども未来基金条例」に基づき、未来を担う子どもの育ちを支援する区民等の自主的な活動に対し助成を行い、もって子育て家庭の福祉の向上を図るとともに、子どもたちの生きる力を育むため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

子 ど も 未 来 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	317,052,000	5,350,255	207,135	2,610	2,699,000	319,913,000	207,135	0
元	309,790,000	7,820,338	244,364	3,298	806,000	317,052,000	244,364	0

本年度は、指定寄附金5,350,255円を積み立てるとともに、取崩額2,699,000円が活動助成金として6団体に交付された。

チ　スポーツ施設整備基金

この基金は、「新宿区スポーツ施設整備基金条例」に基づき、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機にスポーツ施設を整備することにより、スポーツへの区民の参加を促進するため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

ス ポ ー ツ 施 設 整 備 基 金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	321,694,000	10,000	209,933	67	124,077,000	197,837,000	209,933	0
元	151,438,000	10,000	245,546	170,000,454	0	321,694,000	245,546	0

本年度は、指定寄附金 10,000 円を積み立てるとともに、取崩額 124,077,000 円が西戸山公園野球場及び落合中央公園庭球場の整備のために支出された。

ツ　東京 2020 オリンピック・パラリンピック区民参画基金

この基金は、「新宿区東京 2020 オリンピック・パラリンピック区民参画基金条例」に基づき、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、地域の伝統芸能又は歴史的な行事その他の文化を発信する区民等の自主的な活動に対し助成を行い、もって大会を将来にわたって区民の記憶に残るものとするため設置されたものである。

本基金の状況は、**次表**のとおりである。

東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金

(単位：円)

区分／年度	前年度末現在高 A	積立額 寄附金 B	積立額 基金利子 C＝G－H	積立額 その他 D	取崩額 E	年度末現在高 F=A+(B+C+D)－E	基金利子収入額 G	基金利子活用額 H
2	75,113,908	0	49,867	133	0	75,163,908	49,867	0
元	100,004,000	0	78,328	672	24,969,092	75,113,908	78,328	0

３　運用基金の状況

ア　国民健康保険高額療養費資金貸付基金

この基金は、「新宿区国民健康保険高額療養費資金貸付基金条例」に基づき、国民健康保険の被保険者の属する世帯の世帯主に対し、高額療養費が支給されるまでの間、当該世帯の被保険者の療養に要する費用のうち高額療養費に相当する療養資金を貸し付けることにより、国民健康保険の被保険者の療養を確保し、もって福祉の増進を図るため設置されたものであり、5,000,000円の基金で運用されている。

本基金の運用状況は、**次表**のとおりである。

国 民 健 康 保 険 高 額 療 養 費 資 金 貸 付 基 金

（単位：円）

区分／年度	前年度末現金 A	貸付額 B	運用回転数 C＝B÷H	前年度末未返還額 D	返還額 E	未返還額 F＝B＋D－E	年度末現金 G＝A－B＋E	基金の額 H
2	5,000,000	0	0 回転	0	0	0	5,000,000	5,000,000
元	5,000,000	0	0 回転	0	0	0	5,000,000	5,000,000

本年度の運用回転数は0回転で、平成21年度から12年連続で0回転となった。これは、前年度と同様に実績がなかったためである。

なお、基金利子収入額45円は、令和2年度国民健康保険特別会計、財産収入（款）、財産運用収入（項）、基金利子（目）に収入されている。

イ　介護保険高額サービス費等資金貸付基金

この基金は、「新宿区介護保険高額サービス費等資金貸付基金条例」に基づき、新宿区介護保険の被保険者に対し、高額サービス費等が支給されるまでの間、当該被保険者の介護に要する費用のうち高額サービス費等に相当する資金を貸し付けることにより、介護保険制度の円滑な運営を図り、もって福祉の増進を図るため設置されたものであり、5,000,000 円の基金で運用されている。

本基金の運用状況は、**次表**のとおりである。

介 護 保 険 高 額 サ ー ビ ス 費 等 資 金 貸 付 基 金

（単位：円）

区分／年度	前年度末現金 A	貸付額 B	運用回転数 C＝B÷H	前年度末未返還額 D	返還額 E	未返還額 F＝B＋D－E	年度末現金 G＝A－B＋E	基金の額 H
2	5,000,000	0	0 回転	0	0	0	5,000,000	5,000,000
元	5,000,000	20,995	0.00 回転	0	20,995	0	5,000,000	5,000,000

本年度の運用回転数は 0 回転であった。

なお、基金利子収入額 45 円は、令和 2 年度介護保険特別会計、財産収入(款)、財産運用収入(項)、基金利子(目)に収入されている。

ウ　公共料金支払基金

この基金は、「新宿区公共料金支払基金条例」に基づき、公共料金の支払事務を円滑かつ効率的に行うため設置されたものであり、300,000,000 円の基金で運用されている。

本基金の運用状況は、**次表**のとおりである。

公 共 料 金 支 払 基 金

（単位：円）

区分／年度	前年度末現金 A	払出額 B	運用回転数 C＝B÷G	受入額 D	未受入額 E＝G－F	年度末現金 F＝A－B＋D	基金の額 G
2	165,245,875	1,164,002,809	3.88 回転	1,166,630,592	132,126,342	167,873,658	300,000,000
元	218,870,538	1,344,030,249	4.48 回転	1,290,405,586	134,754,125	165,245,875	300,000,000

本年度の運用回転数は 3.88 回転で、前年度に比べると 0.60 回転下回った。

なお、基金利子収入額 590 円は、令和 2 年度一般会計、財産収入(款)、財産運用収入(項)、基金利子(目)に収入されている。

別　　表

別表１　監査委員による決算審査及び定期監査に関する質問日程・項目

実施月日	対象部局等	主な質問項目
7月　8日（木）	会計室	・ 決算総括説明 ・ 室の決算状況について
	議会事務局	・ 局の決算状況について ・ 区議会のＩＣＴ化（ペーパーレス化）について ・ 区議会の広報活動について ・ 議会中継の運営について
	教育委員会事務局	・ 局の決算状況について ・ ＩＣＴを活用した教育の充実について ・ 教員の勤務環境の改善と働き方改革の推進について ・ 物品の購入に係る契約事務について
7月 12日（月）	都市計画部	・ 部の決算状況について ・ 建築物等耐震化支援事業について ・ 新宿駅周辺地域及び高田馬場駅周辺地区のまちづくりについて
	みどり土木部	・ 部の決算状況について ・ 公園等の維持管理について ・ 新宿中央公園の整備状況について ・ 自転車等の利用と駐輪対策に関する総合計画について
	健康部	・ 部の決算状況について ・ 国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計について ・ 生活習慣病治療中断者への受診勧奨について
7月 13日（火）	子ども家庭部	・ 部の決算状況について ・ 保育所の整備状況について ・ 幼児教育・保育の無償化について ・ 委託契約に係る履行確認について
	文化観光産業部	・ 部の決算状況について ・ 中小企業等の支援及び地域経済浮揚策について ・ 人材確保支援事業について
	地域振興部	・ 部の決算状況について ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業について ・ 施設の利用や整備の状況について ・ 物品の適正な管理について
7月 19日（月）	福祉部	・ 部の決算状況について ・ 介護保険特別会計について ・ 第7期介護保険事業計画について ・ 生活保護費及び障害者地域生活支援事業について
	選挙管理委員会事務局	・ 局の決算状況について ・ 選挙時の啓発活動について ・ 選挙公報の配布について ・ 選挙事務の効率化について
	総務部	・ 部の決算状況について ・ 特別区税について ・ 災害用備蓄物資について ・ 支払の遅延について
7月 26日（月）	環境清掃部	・ 部の決算状況について ・ 路上喫煙対策とポイ捨て防止等によるまち美化対策について ・ 地球温暖化対策について
7月 29日（木）	総合政策部	・ 部の決算状況について ・ 広報紙の発行について ・ ＩＣＴの利活用による業務改善の推進について ・ 令和2年度の財政運営について（財政指標、財政調整基金等の動向を含む）
	監査事務局	・ 局の決算状況について

＊なお、新型コロナウイルス感染症による決算及び事業運営への影響等について、全部局等に対し質問を実施した。

別表２　　令和２年度一般会計歳入　決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分 / 科目（款）	令和２年度 予算現額	令和２年度 調定額	令和２年度 収入済額	令和２年度 収入率 対予算	令和２年度 収入率 対調定	令和２年度 収入済額の構成比	令和元年度 予算現額	令和元年度 調定額	令和元年度 収入済額	令和元年度 収入率 対予算	令和元年度 収入率 対調定	令和元年度 収入済額の構成比	収入済額比較 増減額	収入済額比較 増減率
1 特別区税	49,035,097,000	51,595,497,855	50,011,064,344	102.0	96.9	26.6	49,184,997,000	51,439,617,774	49,902,484,145	101.5	97.0	33.3	108,580,199	0.2
2 地方譲与税	497,481,000	500,047,000	500,047,000	100.5	100	0.3	569,796,000	489,333,049	489,333,049	85.9	100	0.3	10,713,951	2.2
3 利子割交付金	130,248,000	133,511,000	133,511,000	102.5	100	0.1	135,791,000	137,300,000	137,300,000	101.1	100	0.1	△ 3,789,000	△ 2.8
4 配当割交付金	671,242,000	647,771,000	647,771,000	96.5	100	0.3	692,476,000	685,445,000	685,445,000	99.0	100	0.5	△ 37,674,000	△ 5.5
5 株式等譲渡所得割交付金	372,639,000	758,707,000	758,707,000	203.6	100	0.4	443,745,000	425,780,000	425,780,000	96.0	100	0.3	332,927,000	78.2
6 地方消費税交付金	11,632,833,000	11,552,680,000	11,552,680,000	99.3	100	6.2	10,282,889,000	10,173,690,000	10,173,690,000	98.9	100	6.8	1,378,990,000	13.6
7 自動車取得税交付金	1,000	41,874	41,874	4,187.4	100	0.0	132,305,000	143,076,000	143,076,000	108.1	100	0.1	△ 143,034,126	△ 100.0
8 環境性能割交付金	122,604,000	86,977,062	86,977,062	70.9	100	0.0	46,733,000	50,557,235	50,557,235	108.2	100	0.0	36,419,827	72.0
9 地方特例交付金	142,213,000	142,213,000	142,213,000	100	100	0.1	699,548,000	725,022,000	725,022,000	103.6	100	0.5	△ 582,809,000	△ 80.4
10 特別区交付金	25,495,618,000	25,133,991,000	25,133,991,000	98.6	100	13.4	29,651,304,000	29,467,081,000	29,467,081,000	99.4	100	19.7	△ 4,333,090,000	△ 14.7
11 交通安全対策特別交付金	36,288,000	35,307,000	35,307,000	97.3	100	0.0	46,775,000	32,241,000	32,241,000	68.9	100	0.0	3,066,000	9.5
12 分担金及び負担金	2,070,649,000	1,785,683,254	1,767,015,117	85.3	99.0	0.9	2,226,663,000	2,280,976,677	2,256,628,788	101.3	98.9	1.5	△ 489,613,671	△ 21.7
13 使用料及び手数料	4,536,487,000	4,291,673,132	4,242,597,141	93.5	98.9	2.3	4,557,337,000	4,469,838,308	4,413,156,701	96.8	98.7	2.9	△ 170,559,560	△ 3.9
14 国庫支出金	66,263,722,000	64,925,633,386	64,925,633,386	98.0	100	34.6	30,255,318,000	28,962,185,106	28,962,185,106	95.7	100	19.3	35,963,448,280	124.2
15 都支出金	15,305,817,000	14,205,915,317	14,205,915,317	92.8	100	7.6	12,169,679,000	11,689,324,713	11,689,324,713	96.1	100	7.8	2,516,590,604	21.5
16 財産収入	1,564,174,000	1,561,202,653	1,561,202,653	99.8	100	0.8	1,353,265,000	1,356,282,293	1,356,282,293	100.2	100	0.9	204,920,360	15.1
17 寄附金	180,864,000	185,286,615	185,286,615	102.4	100	0.1	60,141,000	71,117,549	71,117,549	118.3	100	0.1	114,169,066	160.5
18 繰入金	5,799,373,000	1,140,211,101	1,140,211,101	19.7	100	0.6	2,919,243,000	65,947,522	65,947,522	2.3	100	0.0	1,074,263,579	1,629.0
19 繰越金	3,574,715,000	3,574,715,179	3,574,715,179	100.0	100	1.9	4,580,179,000	4,580,179,383	4,580,179,383	100.0	100	3.1	△ 1,005,464,204	△ 22.0
20 諸収入	2,993,464,000	4,262,916,822	3,180,512,013	106.2	74.6	1.7	3,191,068,000	4,373,023,120	3,363,889,729	105.4	76.9	2.2	△ 183,377,716	△ 5.5
21 特別区債	4,648,000,000	3,922,000,000	3,922,000,000	84.4	100	2.1	995,000,000	819,000,000	819,000,000	82.3	100	0.6	3,103,000,000	378.9
合計	195,073,529,000	190,441,981,250	187,707,398,802	96.2	98.6	100	154,194,252,000	152,437,017,729	149,809,721,213	97.2	98.3	100	37,897,677,589	25.3

別表３

令和２年度一般会計歳出 決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分 / 科目（款）	令和２年度 予算現額	令和２年度 支出済額	令和２年度 不用額	令和２年度 執行率	令和２年度 支出済額の構成比	令和元年度 予算現額	令和元年度 支出済額	令和元年度 不用額	令和元年度 執行率	令和元年度 支出済額の構成比	支出済額比較 増減額	支出済額比較 増減率
１ 議会費	767,456,000	734,627,204	32,828,796	95.7	0.4	776,692,000	742,664,411	34,027,589	95.6	0.5	△ 8,037,207	△ 1.1
２ 総務費	46,794,829,000	45,321,441,446	1,473,387,554	96.9	24.6	11,755,194,000	11,344,695,882	410,498,118	96.5	7.8	33,976,745,564	299.5
３ 地域振興費	8,692,158,000	7,659,660,423	1,032,497,577	88.1	4.2	7,207,256,000	6,575,182,949	632,073,051	91.2	4.5	1,084,477,474	16.5
４ 文化観光産業費	4,642,958,000	4,103,544,769	539,413,231	88.4	2.2	4,580,711,000	3,896,208,176	9,089,000 675,413,824	85.1	2.7	207,336,593	5.3
５ 福祉費	46,271,565,000	43,746,964,725	2,524,600,275	94.5	23.7	43,577,284,000	41,516,838,547	2,060,445,453	95.3	28.4	2,230,126,178	5.4
６ 子ども家庭費	32,618,440,000	31,042,994,539	9,137,000 1,566,308,461	95.2	16.8	31,119,549,000	29,887,533,307	1,232,015,693	96.0	20.4	1,155,461,232	3.9
７ 健康費	16,505,842,000	15,232,346,741	88,567,000 1,184,928,259	92.3	8.3	15,658,663,000	14,629,800,420	1,028,862,580	93.4	10.0	602,546,321	4.1
８ 環境清掃費	8,004,274,000	7,744,896,714	259,377,286	96.8	4.2	7,615,735,000	7,297,967,383	317,767,617	95.8	5.0	446,929,331	6.1
９ 土木費	11,330,718,000	10,648,260,060	682,457,940	94.0	5.8	14,359,667,000	13,563,788,342	144,489,000 651,389,658	94.5	9.3	△ 2,915,528,282	△ 21.5
10 教育費	12,322,546,000	11,276,876,513	42,834,000 1,002,835,487	91.5	6.1	10,704,425,000	10,051,522,476	24,343,000 628,559,524	93.9	6.9	1,225,354,037	12.2
11 公債費	2,323,468,000	2,314,703,432	8,764,568	99.6	1.3	2,285,857,000	2,276,200,141	9,656,859	99.6	1.5	38,503,291	1.7
12 諸支出金	4,361,745,000	4,360,601,000	1,144,000	100.0	2.4	4,453,710,000	4,452,604,000	1,106,000	100.0	3.0	△ 92,003,000	△ 2.1
13 予備費	437,530,000 (1,650,000,000)	0 (1,212,470,000)	437,530,000	0 (73.5)	0	99,509,000 (150,000,000)	0 (50,491,000)	99,509,000	0 (33.7)	0	0	0
合計	195,073,529,000	184,186,917,566	140,538,000 10,746,073,434	94.4	100	154,194,252,000	146,235,006,034	177,921,000 7,781,324,966	94.8	100	37,951,911,532	26.0

（注）不用額の二段書きの上段は、翌年度への繰越額で外数である。

別表４－１　令和２・元年度一般会計不納欠損額、収入未済額及び還付未済額の内訳

（単位：円・件）

科目＼区分				令和２年度 不納欠損額 金額	令和２年度 不納欠損額 件数	令和２年度 収入未済額 金額	令和２年度 収入未済額 件数	還付未済額 金額	還付未済額 件数	令和元年度 不納欠損額 金額	令和元年度 不納欠損額 件数	令和元年度 収入未済額 金額	令和元年度 収入未済額 件数	還付未済額 金額	還付未済額 件数
特別区税	特別区民税	特別区民税	現年課税分	39,670,248	1,811	666,899,368	25,492	29,615,827	1,744	27,355,966	1,364	714,669,798	29,562	19,301,525	1,321
			滞納繰越分	241,490,253	9,881	650,847,304	29,778	914,510	59	131,526,741	6,443	663,399,006	29,460	2,428,677	67
			小計	281,160,501	11,692	1,317,746,672	55,270	30,530,337	1,803	158,882,707	7,807	1,378,068,804	59,022	21,730,202	1,388
	軽自動車税	軽自動車税	現年課税分	61,300	18	3,535,500	1,077	221,900	59	334,800	118	6,462,800	1,893	188,400	51
			滞納繰越分	1,618,044	803	11,114,842	3,532	51,100	9	3,472,609	1,629	11,846,111	3,981	15,600	5
			小計	1,679,344	821	14,650,342	4,609	273,000	68	3,807,409	1,747	18,308,911	5,874	204,000	56
	特別区たばこ税	特別区たばこ税	現年課税分	0	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0
	計			282,839,845	12,513	1,332,397,014	59,879	30,803,348	1,873	162,690,116	9,554	1,396,377,715	64,896	21,934,202	1,444
分担金及び負担金	負担金	福祉費負担金	老人福祉施設費	9,100	1	3,378,187	43	0	0	144,959	3	3,877,360	54	0	0
		子ども家庭費負担金	委託保育費	421,500	30	5,563,020	322	0	0	467,550	48	6,101,400	388	0	0
			母子生活支援施設費	0	0	0	0	0	0	0	0	9,300	1	0	0
			保育所保育料負担金	126,800	12	924,850	83	0	0	111,600	10	1,653,350	108	0	0
			保育所延長保育料負担金	6,900	1	34,400	25	0	0	0	0	31,900	30	0	0
			保育所一時保育料負担金	0	0	8,900	3	0	0	0	0	43,700	9	0	0
			学童クラブ利用料負担金	549,600	140	4,918,400	1,510	2,700	2	2,028,400	454	5,188,500	984	47,600	10
			子ども園保育料負担金	914,200	73	1,642,350	186	35,000	1	1,746,650	157	2,705,450	350	0	0
			子ども園一時保育料負担金	108,800	7	78,200	8	0	0	54,400	5	217,600	22	0	0
			子ども園定期保育料負担金	0	0	20,630	8	0	0	0	0	13,370	7	0	0
			小計	2,127,800	263	13,190,750	2,145	37,700	3	4,408,600	674	15,964,570	1,899	47,600	10
	計			2,136,900	264	16,568,937	2,188	37,700	3	4,553,559	677	19,841,930	1,953	47,600	10
使用料及び手数料	使用料	福祉使用料	作業宿泊所使用料	11,200	2	0	0	0	0	93,400	20	11,200	2	0	0
		子ども家庭使用料	子ども総合センター使用料	1,305	6	44,390	91	0	0	5,238	25	70,803	136	0	0
		土木使用料	区営住宅使用料	168,100	7	7,225,340	143	69,400	9	698,200	21	8,025,840	169	121,900	9
			区民住宅使用料	1,865,620	24	28,411,160	297	0	0	0	0	35,351,680	380	0	0
			特定住宅使用料	0	0	10,215,076	91	0	0	0	0	11,143,596	99	0	0
			事業住宅使用料	0	0	2,700	1	0	0	0	0	2,700	1	900	1
			小計	2,033,720	31	45,854,276	532	69,400	9	698,200	21	54,523,816	649	122,800	10
		教育使用料	幼稚園保育料	72,000	12	1,109,000	257	0	0	156,000	26	1,222,500	255	0	0
	手数料	教育手数料	幼稚園入園手数料	1,500	1	18,000	14	0	0	0	0	23,250	18	0	0
	計			2,119,725	52	47,025,666	894	69,400	9	952,838	92	55,851,569	1,060	122,800	10

別表４－２　　令和２・元年度一般会計不納欠損額、収入未済額及び還付未済額の内訳

（単位：円・件）

科目	区分		令和２年度 不納欠損額 金額	令和２年度 不納欠損額 件数	令和２年度 収入未済額 金額	令和２年度 収入未済額 件数	令和２年度 還付未済額 金額	令和２年度 還付未済額 件数	令和元年度 不納欠損額 金額	令和元年度 不納欠損額 件数	令和元年度 収入未済額 金額	令和元年度 収入未済額 件数	令和元年度 還付未済額 金額	令和元年度 還付未済額 件数
諸収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入 女性福祉資金貸付金	673,070	122	20,685,386	3,238	0	0	0	0	21,178,357	3,315	0	0
		生業資金貸付金	9,799,626	632	37,238,947	2,286	0	0	11,551,894	708	49,702,004	3,066	0	0
		母子福祉応急小口資金貸付金	206,000	22	962,500	125	0	0	48,000	6	1,175,500	147	0	0
		奨学資金貸付金	1,120,430	3	16,142,350	49	0	0	374,000	1	17,613,380	53	0	0
		小計	11,799,126	779	75,029,183	5,698	0	0	11,973,894	715	89,669,241	6,581	0	0
	雑入	弁償金 生活保護費弁償金	29,367,602	44	900,996,515	1,399	0	0	40,268,276	51	807,322,560	1,297	0	0
		弁償金 支援給付費弁償金	0	0	0	0	0	0	0	0	80,661	1	0	0
		弁償金 小計	29,367,602	44	900,996,515	1,399	0	0	40,268,276	51	807,403,221	1,298	0	0
		違約金及び延納利息 違約金及び延納利息	0	0	58,253	1	0	0	0	0	58,253	1	0	0
		違約金及び延納利息 小計	0	0	58,253	1	0	0	0	0	58,253	1	0	0
		雑入 諸料金受入れ	0	0	519,004	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		雑入 生活保護費返還金	0	0	27,572,610	1	0	0	0	0	27,572,610	1	0	0
		雑入 公文書公開取扱費	0	0	180	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		雑入 個人情報開示等取扱費	0	0	480	6	0	0	0	0	0	0	0	0
		雑入 賃貸借保証金収入	0	0	156,000	1	0	0	0	0	156,000	1	0	0
		雑入 区立住宅共益費	138,600	31	2,464,200	472	4,900	6	82,300	22	2,851,700	562	17,500	8
		雑入 区立住宅修繕費	344,850	2	5,215,147	33	0	0	4,754	1	5,058,809	31	0	0
		雑入 回復期生活支援ｻｰﾋﾞｽ利用収入	0	0	2,400	2	0	0	0	0	11,700	5	0	0
		雑入 介護者ﾘﾌﾚｯｼｭ支援事業利用収入	0	0	300,900	202	0	0	0	0	296,700	221	0	0
		雑入 小規模保育事業等利用収入	0	0	470,200	38	0	0	0	0	536,000	45	0	0
		雑入 子ども総合ｾﾝﾀｰ保護者給食費	0	0	40,700	54	0	0	0	0	86,210	72	0	0
		雑入 幼稚園預かり保育利用収入	0	0	0	0	0	0	0	0	205,500	64	0	0
		雑入 一人暮し認知症高齢者への生活支援サービス利用収入	0	0	57,300	53	0	0	0	0	52,200	53	0	0
		雑入 雑入	578,430	9	27,298,029	170	0	0	478,130	3	22,385,393	155	0	0
		雑入 小計	1,061,880	42	64,097,150	1,036	4,900	6	565,184	26	59,212,822	1,210	17,500	8
	計		42,228,608	865	1,040,181,101	8,134	4,900	6	52,807,354	792	956,343,537	9,090	17,500	8
合計			329,325,078	13,694	2,436,172,718	71,095	30,915,348	1,891	221,003,867	11,115	2,428,414,751	76,999	22,122,102	1,472

別表５

令和２年度一般会計歳出　決算節別集計表

（単位：円・％）

区分(款) / 節	令和２年度 1 議会費	2 総務費	3 地域振興費	4 文化観光産業費	5 福祉費	6 子ども家庭費	7 健康費	8 環境清掃費	9 土木費	10 教育費	11 公債費	12 諸支出金	計	構成比	令和元年度 金額	構成比	増減額	増減率
1 報酬	399,526,336	335,916,429	216,447,964	61,184,422	171,961,758	783,866,520	88,322,321	1,090,000	21,717,020	862,643,688	0	0	2,942,676,458	1.6	2,824,311,168	1.9	118,365,290	4.2
2 給料	64,398,180	1,369,987,955	906,388,029	168,741,902	836,501,109	2,655,687,484	802,701,670	798,300,458	968,234,849	906,815,335	0	0	9,477,756,971	5.2	9,549,129,842	6.5	△ 71,372,871	△ 0.7
3 職員手当等	56,509,870	3,039,194,788	811,160,550	176,054,021	768,620,505	2,358,219,102	754,450,264	727,465,281	817,480,536	865,182,234	0	0	10,374,337,151	5.6	10,456,536,555	7.2	△ 82,199,404	△ 0.8
4 共済費	121,503,554	1,392,380,010	317,463,362	67,533,754	308,540,870	967,488,035	297,615,437	308,726,197	347,880,698	319,934,041	0	0	4,449,065,958	2.4	4,315,225,522	3.0	133,840,436	3.1
5 災害補償費	0	491,880	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	491,880	0.0	235,513	0.0	256,367	108.9
7 報償費	0	52,126,400	2,513,000	27,156,730	123,109,280	19,293,000	566,842,871	33,034,598	15,638,670	87,424,061	0	0	927,138,610	0.5	491,368,399	0.3	435,770,211	88.7
8 旅費	5,597,680	21,650,068	7,278,998	3,549,104	10,517,221	35,789,817	5,616,696	767,453	1,966,248	38,121,587	0	0	130,854,872	0.1	52,870,843	0.0	77,984,029	147.5
9 交際費	35,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0	0	100,000	0.0	1,693,160	0.0	△ 1,593,160	△ 94.1
10 需用費	10,070,110	422,256,674	207,234,795	49,300,376	104,279,954	540,114,498	231,283,023	136,837,443	198,298,473	1,197,515,539	4,180	0	3,097,195,065	1.7	3,107,798,987	2.1	△ 10,603,922	△ 0.3
11 役務費	11,181,270	618,730,113	111,302,536	33,976,204	84,774,931	298,182,480	266,323,129	1,807,123,268	876,387,672	458,504,311	1,612,887	0	4,568,098,801	2.5	3,803,139,290	2.6	764,959,511	20.1
12 委託料	5,701,129	1,930,879,726	2,769,463,141	805,296,417	2,269,972,936	3,979,276,851	3,713,295,909	1,923,494,355	1,758,866,285	3,423,879,893	0	0	22,580,126,642	12.3	21,361,118,024	14.6	1,219,008,618	5.7
13 使用料及び賃借料	2,033,120	853,592,350	74,231,033	61,900,259	18,215,383	37,282,580	6,290,886	30,234,668	1,312,335,022	671,963,154	0	0	3,068,078,455	1.7	3,091,765,247	2.1	△ 23,686,792	△ 0.8
14 工事請負費	0	211,447,038	1,498,011,135	9,896,810	298,531,858	502,504,357	87,384,818	139,848,695	2,294,204,549	1,199,522,152	0	0	6,241,351,412	3.4	5,610,080,389	3.8	631,271,023	11.3
15 原材料費	0	334,202	120,450	0	400,504	811,624	0	6,763,955	22,080,001	6,276,258	0	0	36,786,994	0.0	35,118,062	0.0	1,668,932	4.8
16 公有財産購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	31,436,580	0	0	0	31,436,580	0.0	83,236,670	0.1	△ 51,800,090	△ 62.2
17 備品購入費	0	15,064,551	15,791,016	2,739,450	2,888,534	29,921,962	5,463,447	24,948,055	1,806,970	146,217,782	0	0	244,841,767	0.1	188,328,924	0.1	56,512,843	30.0
18 負担金補助及び交付金	58,070,955	34,780,335,121	678,838,964	1,511,422,116	1,051,645,440	2,279,184,443	67,651,072	1,805,611,592	1,962,606,128	247,871,538	0	0	44,443,237,369	24.1	10,576,751,508	7.2	33,866,485,861	320.2
19 扶助費	0	0	0	0	32,146,104,609	16,362,518,994	1,039,075,938	0	0	785,085,898	0	0	50,332,785,439	27.3	48,779,556,122	33.4	1,553,229,317	3.2
20 貸付金	0	0	37,000,000	1,114,000,000	0	0	0	0	0	3,052,000	0	0	1,154,052,000	0.6	1,152,072,000	0.8	1,980,000	0.2
21 補償補填及び賠償金	0	0	0	0	0	0	0	0	12,876,730	0	0	0	12,876,730	0.0	595,628	0.0	12,281,102	2,061.9
22 償還金利子及び割引料	0	276,903,741	5,333,500	8,209,400	1,165,373,259	187,292,792	72,772,363	365,296	1,413,456	56,842,042	2,313,086,365	0	4,087,592,214	2.2	3,476,456,076	2.4	611,136,138	17.6
23 投資及び出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24 積立金	0	0	1,065,550	2,583,804	47,814,140	5,560,000	0	0	2,789,573	0	0	4,360,601,000	4,420,414,067	2.4	4,636,160,894	3.2	△ 215,746,827	△ 4.7
26 公課費	0	100,400	16,400	0	32,800	0	0	285,400	240,600	10,000	0	0	685,600	0.0	545,400	0.0	140,200	25.7
27 繰出金	0	0	0	0	4,337,679,634	0	7,227,256,897	0	0	0	0	0	11,564,936,531	6.3	12,383,317,546	8.5	△ 818,381,015	△ 6.6
（賃金）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	257,594,265	0.2	△ 257,594,265	皆減
合計	734,627,204	45,321,441,446	7,659,660,423	4,103,544,769	43,746,964,725	31,042,994,539	15,232,346,741	7,744,896,714	10,648,260,060	11,276,876,513	2,314,703,432	4,360,601,000	184,186,917,566	100	146,235,006,034	100	37,951,911,532	26.0

別表６　　令和２年度国民健康保険特別会計　　歳入決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分／科目（款）	令和２年度 予算現額	調定額	収入済額	収入率 対予算	収入率 対調定	収入済額の構成比	令和元年度 予算現額	調定額	収入済額	収入率 対予算	収入率 対調定	収入済額の構成比	収入済額比較 増減額	増減率
１ 国民健康保険料	8,861,828,000	14,066,987,854	9,153,580,829	103.3	65.1	25.9	9,597,854,000	14,897,330,181	9,791,472,344	102.0	65.7	26.1	△ 637,891,515	△ 6.5
２ 一部負担金	2,000	0	0	0	0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0
３ 使用料及び手数料	210,000	189,000	189,000	90.0	100	0.0	180,000	184,200	184,200	102.3	100	0.0	4,800	2.6
４ 都支出金	21,331,752,000	20,780,615,520	20,780,615,520	97.4	100	58.8	21,920,399,000	21,952,565,910	21,952,565,910	100.1	100	58.6	△ 1,171,950,390	△ 5.3
５ 財産収入	2,000	45	45	2.3	100	0.0	2,000	62	62	3.1	100	0.0	△ 17	△ 27.4
６ 繰入金	4,844,426,000	4,201,126,986	4,201,126,986	86.7	100	11.9	5,569,234,000	5,333,102,009	5,333,102,009	95.8	100	14.2	△ 1,131,975,023	△ 21.2
７ 繰越金	705,051,000	705,051,167	705,051,167	100.0	100	2.0	351,296,000	351,296,088	351,296,088	100.0	100	0.9	353,755,079	100.7
８ 諸収入	63,880,000	125,744,339	96,558,069	151.2	76.8	0.3	45,435,000	102,677,059	64,479,827	141.9	62.8	0.2	32,078,242	49.7
９ 国庫支出金	415,929,000	410,615,000	410,615,000	98.7	100	1.1	196,000	169,000	169,000	86.2	100	0.0	410,446,000	242,867.5
合計	36,223,080,000	40,290,329,911	35,347,736,616	97.6	87.7	100	37,484,598,000	42,637,324,509	37,493,269,440	100.0	87.9	100	△ 2,145,532,824	△ 5.7

別表７　　令和２年度国民健康保険特別会計　　歳出決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分／科目(款)	令和２年度 予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額の構成比	令和元年度 予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額の構成比	支出済額比較 増減額	増減率
１ 総務費	875,452,000	807,429,597	68,022,403	92.2	2.3	917,963,000	836,963,655	80,999,345	91.2	2.3	△ 29,534,058	△ 3.5
２ 保険給付費	21,070,607,000	20,046,869,663	1,023,737,337	95.1	57.4	22,009,550,000	21,591,196,265	418,353,735	98.1	58.7	△ 1,544,326,602	△ 7.2
３ 国民健康保険事業費納付金	13,407,260,000	13,407,255,486	4,514	100.0	38.4	13,922,762,000	13,922,758,407	3,593	100.0	37.8	△ 515,502,921	△ 3.7
４ 保健事業費	218,822,000	177,589,055	41,232,945	81.2	0.5	231,415,000	180,106,975	51,308,025	77.8	0.5	△ 2,517,920	△ 1.4
５ 諸支出金	573,090,000	494,515,209	78,574,791	86.3	1.4	258,230,000	257,192,971	1,037,029	99.6	0.7	237,322,238	92.3
６ 予備費	77,849,000 (150,000,000)	0 (72,151,000)	77,849,000	0 (48.1)	0	144,678,000 (150,000,000)	0 (5,322,000)	144,678,000	0 (3.5)	0	0	0
合計	36,223,080,000	34,933,659,010	1,289,420,990	96.4	100	37,484,598,000	36,788,218,273	696,379,727	98.1	100	△ 1,854,559,263	△ 5.0

別表８　令和２・元年度国民健康保険特別会計保険給付費　支払状況

（単位：円・件）

区分 / 科目		令和２年度 給付金額	令和２年度 件数	令和２年度 1件当たりの給付額	令和元年度 給付金額	令和元年度 件数	令和元年度 1件当たりの給付額	増減 給付金額	増減 件数	増減 1件当たりの給付額
療養諸費		17,391,936,899	2,201,522		18,715,762,843	2,498,881		△ 1,323,825,944	△ 297,359	
目別内訳	一般被保険者療養給付費	17,056,540,373	1,051,301	16,224	18,291,263,135	1,187,442	15,404	△ 1,234,722,762	△ 136,141	820
	退職被保険者等療養給付費	109,970	10	10,997	20,784,018	748	27,786	△ 20,674,048	△ 738	△ 16,789
	一般被保険者療養費	258,737,717	34,145	7,578	319,987,098	42,002	7,618	△ 61,249,381	△ 7,857	△ 40
	退職被保険者等療養費	10,458	3	3,486	194,797	32	6,087	△ 184,339	△ 29	△ 2,601
	審査支払手数料	76,538,381	1,116,063		83,533,795	1,268,657		△ 6,995,414	△ 152,594	
高額療養費		2,461,544,257	44,439	55,392	2,662,482,823	45,438	58,596	△ 200,938,566	△ 999	△ 3,204
その他		193,388,507	22,645	8,540	212,950,599	21,579	9,868	△ 19,562,092	1,066	△ 1,328
合計		20,046,869,663	2,268,606		21,591,196,265	2,565,898		△ 1,544,326,602	△ 297,292	

（注）「その他」は、移送費、出産育児諸費、葬祭費、結核・精神医療給付金及び傷病手当金である。

別表９　令和２・元年度国民健康保険特別会計不納欠損額、収入未済額及び還付未済額の内訳

（単位：円・件）

区分 / 科目		令和２年度 不納欠損額 金額	令和２年度 不納欠損額 件数	令和２年度 収入未済額 金額	令和２年度 収入未済額 件数	令和２年度 還付未済額 金額	令和２年度 還付未済額 件数	令和元年度 不納欠損額 金額	令和元年度 不納欠損額 件数	令和元年度 収入未済額 金額	令和元年度 収入未済額 件数	令和元年度 還付未済額 金額	令和元年度 還付未済額 件数
国民健康保険料	医療給付費分現年分	4,009,355	420	1,297,345,389	154,438	54,771,763	6,653	4,127,998	468	1,379,606,604	169,608	58,089,876	10,542
	後期高齢者支援金分現年分	1,277,086	420	415,683,528	147,782	0	0	1,272,079	468	425,719,305	159,065	0	0
	介護納付金分現年分	569,100	155	131,278,719	41,740	0	0	457,844	207	131,933,141	44,260	0	0
	医療給付費分滞納繰越分	1,007,768,748	123,973	1,235,534,003	148,549	3,633,460	311	943,496,512	123,359	1,394,999,596	162,290	4,566,151	415
	後期高齢者支援金分滞納繰越分	300,281,165	123,971	380,098,655	148,236	0	0	266,870,320	123,358	417,958,553	161,872	0	0
	介護納付金分滞納繰越分	85,902,022	32,034	112,064,478	38,894	0	0	77,619,221	31,159	124,452,691	43,410	0	0
	計	1,399,807,476	280,973	3,572,004,772	679,639	58,405,223	6,964	1,293,843,974	279,019	3,874,669,890	740,505	62,656,027	10,957
諸収入	延滞金	0	0	0	0	31,600	17	0	0	0	0	6,200	6
	加算金	0	0	469,044	4	0	0	0	0	469,044	4	0	0
	第三者納付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	返納金	3,094,380	391	25,654,446	2,747	0	0	3,811,674	430	33,900,392	2,941	0	0
	雑入	0	0	0	0	0	0	0	0	22,322	3	0	0
	計	3,094,380	391	26,123,490	2,751	31,600	17	3,811,674	430	34,391,758	2,948	6,200	6
合計		1,402,901,856	281,364	3,598,128,262	682,390	58,436,823	6,981	1,297,655,648	279,449	3,909,061,648	743,453	62,662,227	10,963

別表10

令和２年度介護保険特別会計　歳入決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分 / 科目（款）	令和２年度 予算現額	令和２年度 調定額	令和２年度 収入済額	令和２年度 収入率 対予算	令和２年度 収入率 対調定	令和２年度 収入済額の構成比	令和元年度 予算現額	令和元年度 調定額	令和元年度 収入済額	令和元年度 収入率 対予算	令和元年度 収入率 対調定	令和元年度 収入済額の構成比	収入済額比較 増減額	収入済額比較 増減率
1 介護保険料	4,706,236,000	5,180,286,642	4,935,708,653	104.9	95.3	19.0	4,924,263,000	5,389,413,577	5,105,425,986	103.7	94.7	20.4	△ 169,717,333	△ 3.3
2 使用料及び手数料	3,000	2,100	2,100	70.0	100	0.0	3,000	1,500	1,500	50.0	100	0.0	600	40.0
3 国庫支出金	5,955,802,000	5,799,245,404	5,799,245,404	97.4	100	22.3	5,595,053,000	5,286,791,735	5,286,791,735	94.5	100	21.2	512,453,669	9.7
4 支払基金交付金	6,650,536,000	6,062,539,464	6,062,539,464	91.2	100	23.3	6,345,868,000	5,996,833,000	5,996,833,000	94.5	100	24.0	65,706,464	1.1
5 都支出金	3,693,539,000	3,417,813,254	3,417,813,254	92.5	100	13.1	3,528,854,000	3,345,876,020	3,345,876,020	94.8	100	13.4	71,937,234	2.2
6 財産収入	1,198,000	1,187,778	1,187,778	99.1	100	0.0	1,525,000	1,522,386	1,522,386	99.8	100	0.0	△ 334,608	△ 22.0
7 繰入金	5,656,844,000	5,111,721,712	5,111,721,712	90.4	100	19.6	4,777,090,000	4,470,094,276	4,470,094,276	93.6	100	17.9	641,627,436	14.4
8 繰越金	669,514,000	669,514,596	669,514,596	100.0	100	2.6	750,672,000	750,671,378	750,671,378	100.0	100	3.0	△ 81,156,782	△ 10.8
9 諸収入	16,434,000	25,287,524	25,287,524	153.9	100	0.1	13,587,000	17,322,811	17,322,811	127.5	100	0.1	7,964,713	46.0
合計	27,350,106,000	26,267,598,474	26,023,020,485	95.1	99.1	100	25,936,915,000	25,258,526,683	24,974,539,092	96.3	98.9	100	1,048,481,393	4.2

別表11

令和２年度介護保険特別会計　歳出決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分 / 科目(款)	令和２年度 予算現額	令和２年度 支出済額	令和２年度 不用額	令和２年度 執行率	令和２年度 支出済額の構成比	令和元年度 予算現額	令和元年度 支出済額	令和元年度 不用額	令和元年度 執行率	令和元年度 支出済額の構成比	支出済額比較 増減額	支出済額比較 増減率
1 総務費	1,322,816,000	1,143,082,739	179,733,261	86.4	4.7	1,006,594,000	942,437,881	64,156,119	93.6	3.9	200,644,858	21.3
2 保険給付費	23,423,303,000	21,467,042,715	1,956,260,285	91.6	87.4	22,338,100,000	21,260,300,710	1,077,799,290	95.2	87.5	206,742,005	1.0
3 基金積立金	610,710,000	542,196,147	68,513,853	88.8	2.2	453,771,000	413,279,598	40,491,402	91.1	1.7	128,916,549	31.2
4 地域支援事業費	1,802,480,000	1,264,326,936	538,153,064	70.1	5.1	1,749,358,000	1,352,263,593	397,094,407	77.3	5.5	△ 87,936,657	△ 6.5
5 諸支出金	151,375,000	147,574,317	3,800,683	97.5	0.6	339,092,000	336,742,714	2,349,286	99.3	1.4	△ 189,168,397	△ 56.2
6 予備費	39,422,000 (50,000,000)	0 (10,578,000)	39,422,000	0 (21.2)	0	50,000,000	0	50,000,000	0	0	0	0
合計	27,350,106,000	24,564,222,854	2,785,883,146	89.8	100	25,936,915,000	24,305,024,496	1,631,890,504	93.7	100	259,198,358	1.1

別表12

令和２・元年度介護保険特別会計保険給付費 支払状況

（単位：円・件）

区分／科目		令和２年度 給付金額	令和２年度 件数	令和２年度 1件当たりの給付額	令和元年度 給付金額	令和元年度 件数	令和元年度 1件当たりの給付額	増減 給付金額	増減 件数	増減 1件当たりの給付額
サービス等諸費		20,559,607,754	789,297		20,377,857,491	777,047		181,750,263	12,250	
目別内訳	居宅サービス給付費	10,906,499,570	265,591	41,065	10,650,407,272	258,675	41,173	256,092,298	6,916	△ 108
	施設サービス給付費	5,579,515,266	19,449	286,879	5,586,205,670	19,926	280,348	△ 6,690,404	△ 477	6,531
	地域密着型サービス給付費	2,427,185,267	21,782	111,431	2,513,480,668	23,660	106,233	△ 86,295,401	△ 1,878	5,198
	福祉用具購入費	34,940,783	1,050	33,277	30,724,646	977	31,448	4,216,137	73	1,829
	住宅改修費	56,762,612	742	76,499	62,064,505	775	80,083	△ 5,301,893	△ 33	△ 3,584
	サービス計画給付費	1,062,545,297	82,343	12,904	1,028,479,742	80,433	12,787	34,065,555	1,910	117
	特定入所者サービス費	468,548,509	11,980	39,111	483,486,270	12,659	38,193	△ 14,937,761	△ 679	918
	審査支払手数料	23,610,450	386,360		23,008,718	379,942		601,732	6,418	
高額サービス費等		907,434,961	53,285	17,030	882,443,219	52,167	16,916	24,991,742	1,118	114
目別内訳	高額サービス費	800,819,484	50,676	15,803	767,630,896	49,464	15,519	33,188,588	1,212	284
	高額医療合算サービス費	106,615,477	2,609	40,864	114,812,323	2,703	42,476	△ 8,196,846	△ 94	△ 1,612
合計		21,467,042,715	842,582		21,260,300,710	829,214		206,742,005	13,368	

別表13

令和２・元年度介護保険特別会計不納欠損額、収入未済額及び還付未済額の内訳

（単位：円・件）

区分／科目		令和２年度 不納欠損額 金額	令和２年度 不納欠損額 件数	令和２年度 収入未済額 金額	令和２年度 収入未済額 件数	令和２年度 還付未済額 金額	令和２年度 還付未済額 件数	令和元年度 不納欠損額 金額	令和元年度 不納欠損額 件数	令和元年度 収入未済額 金額	令和元年度 収入未済額 件数	令和元年度 還付未済額 金額	令和元年度 還付未済額 件数
介護保険料	現年分	0	0	88,985,342	18,547	17,858,210	2,332	0	0	107,097,800	21,170	13,675,450	3,194
	滞納繰越分	85,640,704	16,971	87,969,333	17,658	159,180	36	91,011,795	18,729	99,819,231	17,127	265,785	87
	計	85,640,704	16,971	176,954,675	36,205	18,017,390	2,368	91,011,795	18,729	206,917,031	38,297	13,941,235	3,281
諸収入	加算金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	返納金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	弁償金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		85,640,704	16,971	176,954,675	36,205	18,017,390	2,368	91,011,795	18,729	206,917,031	38,297	13,941,235	3,281

別表14　　令和２年度後期高齢者医療特別会計　歳入決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分 / 科目（款）	令和２年度 予算現額	調定額	収入済額	収入率 対予算	収入率 対調定	収入済額の構成比	令和元年度 予算現額	調定額	収入済額	収入率 対予算	収入率 対調定	収入済額の構成比	収入済額比較 増減額	増減率
1 後期高齢者医療保険料	4,199,201,000	4,208,249,400	4,139,107,700	98.6	98.4	56.4	4,000,675,000	4,145,990,293	4,072,814,400	101.8	98.2	55.8	66,293,300	1.6
2 使用料及び手数料	6,000	1,800	1,800	30.0	100	0.0	6,000	3,900	3,900	65.0	100	0.0	△ 2,100	△ 53.8
3 繰入金	3,119,800,000	3,026,129,911	3,026,129,911	97.0	100	41.3	3,223,191,000	3,067,016,137	3,067,016,137	95.2	100	42.0	△ 40,886,226	△ 1.3
4 繰越金	37,481,000	37,481,614	37,481,614	100.0	100	0.5	32,923,000	32,923,250	32,923,250	100.0	100	0.5	4,558,364	13.8
5 諸収入	121,815,000	129,738,950	129,738,950	106.5	100	1.8	126,667,000	121,369,986	121,369,986	95.8	100	1.7	8,368,964	6.9
合計	7,478,303,000	7,401,601,675	7,332,459,975	98.0	99.1	100	7,383,462,000	7,367,303,566	7,294,127,673	98.8	99.0	100	38,332,302	0.5

別表15　　令和２年度後期高齢者医療特別会計　歳出決算款別対前年度比較

（単位：円・％）

区分 / 科目(款)	令和２年度 予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額の構成比	令和元年度 予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額の構成比	支出済額比較 増減額	増減率
1 総務費	192,535,000	182,406,121	10,128,879	94.7	2.5	180,022,000	160,034,148	19,987,852	88.9	2.2	22,371,973	14.0
2 広域連合納付金	7,057,921,000	6,934,410,712	123,510,288	98.3	95.1	6,975,514,000	6,893,137,228	82,376,772	98.8	95.0	41,273,484	0.6
3 後期高齢者支援事業費	205,909,000	161,328,765	44,580,235	78.3	2.2	207,796,000	193,647,983	14,148,017	93.2	2.7	△ 32,319,218	△ 16.7
4 諸支出金	15,466,000	13,496,500	1,969,500	87.3	0.2	10,130,000	9,826,700	303,300	97.0	0.1	3,669,800	37.3
5 予備費	6,472,000 (10,000,000)	0 (3,528,000)	6,472,000	0 (35.3)	0	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	0
合計	7,478,303,000	7,291,642,098	186,660,902	97.5	100	7,383,462,000	7,256,646,059	126,815,941	98.3	100	34,996,039	0.5

別表16

令和２・元年度後期高齢者医療特別会計

不納欠損額、収入未済額及び還付未済額の内訳

（単位：円・件）

区分 / 科目		令和２年度				令和元年度					
		不納欠損額		収入未済額		還付未済額		不納欠損額		収入未済額		還付未済額	
		金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数
後期高齢者医療保険料	現年度分	0	0	33,606,600	2,640	7,287,700	811	0	0	42,645,600	3,193	6,500,600	798
	滞納繰越分	11,371,400	1,019	31,480,400	2,284	29,000	10	9,418,393	891	27,875,000	1,828	262,500	26
	計	11,371,400	1,019	65,087,000	4,924	7,316,700	821	9,418,393	891	70,520,600	5,021	6,763,100	824
諸収入	加算金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	返納金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	弁償金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		11,371,400	1,019	65,087,000	4,924	7,316,700	821	9,418,393	891	70,520,600	5,021	6,763,100	824

財　政　課　資　料

一般会計決算概要

区　分		令和2年度	令和元年度	増減率 %
歳入総額	A	千円 187,707,398	千円 149,809,721	% 25.3
歳出総額	B	千円 184,186,917	千円 146,235,006	% 26.0
歳入歳出差引額 (A)－(B)	C	千円 3,520,481	千円 3,574,715	% △ 1.5
翌年度に繰り越すべき財源	D	千円 51,971	千円 162,994	% △ 68.1
実質収支 (C)－(D)	E	千円 3,468,510	千円 3,411,721	% 1.7
単年度収支	F	千円 56,789	千円 △ 479,806	
積立金	G	千円 2,068,244	千円 2,317,761	% △ 10.8
繰上償還金	H	千円 0	千円 0	% 0.0
積立金取崩額	I	千円 800,000	千円 0	% 皆増
実質単年度収支 (F)＋(G)＋(H)－(I)	J	千円 1,325,033	千円 1,837,955	

区　分	令和2年度	令和元年度
基準財政需要額	千円 79,382,434	千円 80,831,778
基準財政収入額	千円 55,186,816	千円 52,480,474
標準財政規模	千円 89,285,438	千円 90,598,164
財政力指数	0.67	0.66
実質収支比率	% 3.9	% 3.8
公債費負担比率	% 2.3	% 2.3
経常収支比率 (減収補填債特例分を除いたもの)	% 84.0 (84.4)	% 81.5
地方債現在高	千円 20,375,996	千円 18,638,011

基準財政需要額

各地方自治体が合理的かつ妥当な水準で行政を行うために必要な経費として算定される額
（市町村にあっては地方交付税制度により、特別区にあっては都区財政調整制度により算定される額）

基準財政収入額

各地方自治体の基礎的需要に対応する一般財源（標準的、普遍的税収を対象）として算定される額
（市町村にあっては地方交付税制度により、特別区にあっては都区財政調整制度により算定される額）

標準財政規模

各地方自治体の標準的な一般財源の規模（市町村にあっては地方交付税制度による普通交付税を、特別区にあっては都区財政調整制度による普通交付金を含め、*臨時財政対策債発行可能額を加えた数値）
*平成25年度から、臨時財政対策債発行可能額の算出方法の見直しにより、特別区においては発行可能額が皆減

財政力指数

基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の直近３か年度の平均値

公債費負担比率

一般財源総額に対する公債費充当一般財源の割合

経常収支比率

経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額等に対する割合
経常収支比率＝　経常経費充当一般財源等　／　歳入経常一般財源等+減収補填債特例分　×100
減収補填債特例分：減収見込額の範囲内で、財政事情等を総合的に勘案して同意等される地方債

一般財源と特定財源の対前年度比較

区分		令和2年度		令和元年度		増減額	増減率
		金　額	構成比	金　額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
特別区税		50,011,064	26.7	49,902,484	33.3	108,580	0.2
	特別区民税	45,553,835	24.3	44,635,169	29.8	918,666	2.1
	軽自動車税	113,671	0.1	106,250	0.1	7,421	7.0
	特別区たばこ税	4,320,552	2.3	5,099,930	3.4	△ 779,378	△ 15.3
	入湯税	23,006	0.0	61,135	0.0	△ 38,129	△ 62.4
地方譲与税		500,047	0.3	489,333	0.3	10,714	2.2
利子割交付金		133,511	0.1	137,300	0.1	△ 3,789	△ 2.8
配当割交付金		647,771	0.3	685,445	0.5	△ 37,674	△ 5.5
株式等譲渡所得割交付金		758,707	0.4	425,780	0.3	332,927	78.2
地方消費税交付金		11,552,680	6.2	10,173,690	6.8	1,378,990	13.6
自動車取得税交付金		42	0.0	143,076	0.1	△ 143,034	△ 100.0
環境性能割交付金		86,977	0.0	50,557	0.0	36,420	72.0
地方特例交付金		142,213	0.1	725,022	0.5	△ 582,809	△ 80.4
特別区交付金		25,133,991	13.4	29,467,081	19.7	△ 4,333,090	△ 14.7
交通安全対策特別交付金		35,307	0.0	32,241	0.0	3,066	9.5
財産収入		774,298	0.4	756,956	0.5	17,342	2.3
寄附金		53,249	0.0	51,898	0.0	1,351	2.6
繰入金		800,000	0.4	－	0.0	800,000	皆増
繰越金		3,411,721	1.8	3,891,527	2.6	△ 479,806	△ 12.3
諸収入		208,791	0.1	320,486	0.2	△ 111,695	△ 34.9
特別区債		1,847,000	1.0	－	0.0	1,847,000	皆増
一般財源計		**96,097,369**	**51.2**	**97,252,876**	**64.9**	**△ 1,155,507**	**△ 1.2**
分担金及び負担金		1,767,015	0.9	2,256,629	1.5	△ 489,614	△ 21.7
使用料及び手数料		4,242,597	2.2	4,413,156	3.0	△ 170,559	△ 3.9
国庫支出金		64,925,633	34.6	28,962,185	19.3	35,963,448	124.2
都支出金		14,205,915	7.6	11,689,325	7.8	2,516,590	21.5
財産収入		786,905	0.4	599,326	0.4	187,579	31.3
寄附金		132,038	0.1	19,220	0.0	112,818	587.0
繰入金		340,211	0.2	65,948	0.0	274,263	415.9
繰越金		162,994	0.1	688,652	0.5	△ 525,658	△ 76.3
諸収入		2,971,721	1.6	3,043,404	2.0	△ 71,683	△ 2.4
特別区債		2,075,000	1.1	819,000	0.6	1,256,000	153.4
特定財源計		**91,610,029**	**48.8**	**52,556,845**	**35.1**	**39,053,184**	**74.3**
合計		**187,707,398**	**100**	**149,809,721**	**100**	**37,897,677**	**25.3**

自主財源と依存財源の対前年度比較

区分	令和2年度		令和元年度		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
特別区税	50,011,064	26.6	49,902,484	33.3	108,580	0.2
分担金及び負担金	1,767,015	1.0	2,256,629	1.5	△ 489,614	△ 21.7
使用料及び手数料	4,242,597	2.3	4,413,156	3.0	△ 170,559	△ 3.9
財産収入	1,561,203	0.8	1,356,282	0.9	204,921	15.1
寄附金	185,287	0.1	71,118	0.0	114,169	160.5
繰入金	1,140,211	0.6	65,948	0.0	1,074,263	1,629.0
繰越金	3,574,715	1.9	4,580,179	3.1	△ 1,005,464	△ 22.0
諸収入	3,180,512	1.7	3,363,890	2.3	△ 183,378	△ 5.5
自主財源計	**65,662,604**	**35.0**	**66,009,686**	**44.1**	**△ 347,082**	**△ 0.5**
地方譲与税	500,047	0.3	489,333	0.3	10,714	2.2
利子割交付金	133,511	0.1	137,300	0.1	△ 3,789	△ 2.8
配当割交付金	647,771	0.2	685,445	0.5	△ 37,674	△ 5.5
株式等譲渡所得割交付金	758,707	0.4	425,780	0.3	332,927	78.2
地方消費税交付金	11,552,680	6.2	10,173,690	6.8	1,378,990	13.6
自動車取得税交付金	42	0.0	143,076	0.1	△ 143,034	△ 100.0
環境性能割交付金	86,977	0.0	50,557	0.0	36,420	72.0
地方特例交付金	142,213	0.1	725,022	0.5	△ 582,809	△ 80.4
特別区交付金	25,133,991	13.4	29,467,081	19.7	△ 4,333,090	△ 14.7
交通安全対策特別交付金	35,307	0.0	32,241	0.0	3,066	9.5
国庫支出金	64,925,633	34.6	28,962,185	19.3	35,963,448	124.2
都支出金	14,205,915	7.6	11,689,325	7.8	2,516,590	21.5
特別区債	3,922,000	2.1	819,000	0.5	3,103,000	378.9
依存財源計	**122,044,794**	**65.0**	**83,800,035**	**55.9**	**38,244,759**	**45.6**
合計	**187,707,398**	**100**	**149,809,721**	**100**	**37,897,677**	**25.3**

性質別経費の対前年度比較

区分	令和2年度		令和元年度		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
義務的経費	**81,237,609**	**44.1**	**79,096,534**	**54.1**	**2,141,075**	**2.7**
人件費	26,827,897	14.6	26,669,947	18.2	157,950	0.6
扶助費	52,096,626	28.3	50,151,356	34.3	1,945,270	3.9
公債費	2,313,086	1.2	2,275,231	1.6	37,855	1.7
投資的経費	**8,427,158**	**4.6**	**10,263,123**	**7.0**	**△ 1,835,965**	**△ 17.9**
普通建設事業費	8,427,158	4.6	10,263,123	7.0	△ 1,835,965	△ 17.9
その他経費	**94,522,150**	**51.3**	**56,875,349**	**38.9**	**37,646,801**	**66.2**
物件費	30,852,297	16.7	29,097,717	19.9	1,754,580	6.0
維持補修費	1,323,023	0.7	1,255,987	0.9	67,036	5.3
補助費等	45,259,325	24.6	8,394,969	5.7	36,864,356	439.1
積立金	4,420,415	2.4	4,636,161	3.2	△ 215,746	△ 4.7
投資及び出資金	－	0.0	－	0.0	－	－
貸付金	1,154,052	0.6	1,152,072	0.8	1,980	0.2
繰出金	11,513,038	6.3	12,338,443	8.4	△ 825,405	△ 6.7
合計	**184,186,917**	**100**	**146,235,006**	**100**	**37,951,911**	**26.0**

一般会計補正予算状況表（令和2年度）

【歳入】

単位：千円

科　目（款）	当初予算額	構成比(%)	2月補正（第1号）	3月補正（第2号）	4月補正（第3号）	6月補正（第4号）	6月補正（第5号）	8月補正（第6号）	9月補正（第7号）	10月補正（第8号）	11月補正（第9号）	11月補正（第10号）	11月補正（第11号）	2月補正（第12号）	2月補正（第13号）	3月補正（第14号）	△補正額計	最終予算額（繰越除く）	構成比(%)
1 特別区税	49,329,865	32.0													294,768		294,768	49,035,097	25.2
2 地方譲与税	497,481	0.3															0	497,481	0.3
3 利子割交付金	130,248	0.1															0	130,248	0.1
4 配当割交付金	671,242	0.4															0	671,242	0.3
5 株式等譲渡所得割交付金	372,639	0.3													△		△ 0	372,639	0.2
6 地方消費税交付金	13,163,547	8.6													1,530,714		1,530,714	11,632,833	6.0
7 自動車取得税交付金	1	0.0															0	1	0.0
8 環境性能割交付金	122,604	0.1															0	122,604	0.1
9 地方特例交付金	130,426	0.1													△ 11,787		△ 11,787	142,213	0.1
10 特別区交付金	26,369,000	17.1													873,382		873,382	25,495,618	13.1
11 交通安全対策特別交付金	36,288	0.0															0	36,288	0.0
12 分担金及び負担金	2,070,649	1.3															0	2,070,649	1.0
13 使用料及び手数料	4,536,487	3.0													△		0	4,536,487	2.3
14 国庫支出金	29,384,478	19.1	959		35,944,962	△	268,957	533,001		152,317				88,567	△ 118,608		36,870,155	66,254,633	34.0
15 都支出金	13,405,737	8.7	13,878			226,693	52,910	1,359,837	236,578	19,827	71,496				541,078	907,487	1,894,242	15,299,979	7.8
16 財産収入	1,505,570	1.0							4,233				43,473		10,898		58,604	1,564,174	0.8
17 寄附金	46,907	0.0	△						1,874			△	81,506		△ 49,633	△ 944	133,957	180,864	0.1
18 繰入金	5,457,836	3.5	130,364	992,643	2,470,435	1,103,733	147,314	309,426	847,179	205,108		213,816	597,862		5,079,552	908,431	341,537	5,799,373	3.0
19 繰越金	2,000,000	1.3							1,411,721						△		1,411,721	3,411,721	1.7
20 諸収入	2,996,337	2.0						7,197	△						10,070		2,873	2,993,464	1.5
21 特別区債	1,749,000	1.1							129,000						3,028,000	0	2,899,000	4,648,000	2.4
合　計	153,976,342	100	△ 115,527	992,643	38,415,397	877,040	469,181	2,209,461	2,372,585	377,252	71,496	△ 213,816	722,841	88,567	△ 5,347,854	0	40,919,266	194,895,608	100

一般会計補正予算状況表（令和2年度）

【歳出】

単位：千円

科目（款）	当初予算額	構成比(%)	2月補正（第1号）	3月補正（第2号）	4月補正（第3号）	6月補正（第4号）	6月補正（第5号）	8月補正（第6号）	9月補正（第7号）	10月補正（第8号）	11月補正（第9号）	11月補正（第10号）	11月補正（第11号）	2月補正（第12号）	2月補正（第13号）	3月補正（第14号）	補正額計	最終予算額（繰越除く）	構成比(%)
1 議会費	766,636	0.5										△ 820			△		820	767,456	0.4
2 総務費	11,073,623	7.2			35,727,489	2,265			△55,192			△ 27,683			△ 147,745		35,609,518	46,683,141	24.0
3 地域振興費	8,708,103	5.7							178,132			20,429	387,715		△ 205,099		15,945	8,692,158	4.5
4 文化観光産業費	3,507,708	2.3		492,643	2,470,435	△30,300		70,000	61,360			△	126,344		△2,194,506		1,056,576	4,564,284	2.3
5 福祉費	44,464,744	28.9				217,942		603,050	1,213,720	8,091	71,496	△ 4,994	56,308		△ 323,833		1,405,896	45,870,640	23.5
6 子ども家庭費	32,680,520	21.2	△		217,473		276,279	283,456	399,561			180,368	60		1,058,541		62,080	32,618,440	16.7
7 健康費	14,382,563	9.3	115,527			1,484	100,402	603,552	47,793	369,161		18,299	81,762	88,567	△481,907		1,677,400	16,059,963	8.2
8 環境清掃費	8,023,821	5.2							154						△ 19,701		△ 19,547	8,004,274	4.1
9 土木費	12,502,383	8.1				15,914			15			△22,482	2,542		△1,359,488		1,318,535	11,183,848	5.8
10 教育費	11,789,302	7.7				45,019	92,500	649,403	56,843			21,943	24,637		△519,570		△326,889	12,116,191	6.2
11 公債費	2,335,592	1.5													12,124		12,124	2,323,468	1.2
12 諸支出金	3,591,347	2.3							716,079				43,473		10,846		770,398	4,361,745	2.2
13 予備費	150,000	0.1		500,000		1,000,000											1,500,000	1,650,000	0.9
合計	153,976,342	100	△ 115,527	992,643	38,415,397	877,040	469,181	2,209,461	2,372,585	377,252	71,496	△ 213,816	722,841	88,567	△ 5,347,854	0	40,919,266	194,895,608	100

基金残高と起債残高の推移

単位：千円

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
基金残高 (A)	60,791,709	57,006,733	46,666,978	41,917,108	38,402,615	34,621,500	34,915,370	39,502,656	42,785,040	46,895,751	53,152,501	57,649,099	60,697,456
財政調整基金	26,439,573	24,650,713	21,785,309	20,398,147	19,252,294	19,359,487	20,346,913	22,631,678	25,113,923	27,216,630	30,289,201	32,606,962	33,875,206
減債基金	7,044,786	6,500,819	4,633,666	3,945,200	2,952,974	2,456,815	3,459,321	4,462,626	5,466,552	5,569,997	5,674,538	5,778,976	5,882,741
その他の基金	27,307,350	25,855,201	20,248,003	17,573,761	16,197,347	12,805,198	11,109,136	12,408,352	12,204,565	14,109,124	17,188,762	19,263,161	20,939,509
起債残高 (B)	27,947,354	26,842,687	25,867,077	24,839,090	24,267,823	22,204,838	20,284,630	22,021,841	22,138,153	20,916,576	19,947,098	18,638,011	20,375,996
普通債	15,695,622	15,948,968	16,349,682	16,716,604	17,561,249	16,933,683	16,318,611	18,767,652	19,605,942	19,116,675	18,641,567	17,701,687	17,905,538
住民税等減税補填債	4,284,307	3,563,997	2,836,178	2,100,771	1,357,697	606,876	—	—	—	—	—	—	—
臨時税収補填債	2,027,026	1,819,309	1,607,417	1,391,265	1,170,769	945,841	716,392	482,331	243,565	—	—	—	—
住民税減税補填債	5,940,399	5,510,413	5,073,800	4,630,450	4,178,108	3,718,438	3,249,627	2,771,858	2,288,646	1,799,901	1,305,531	936,324	623,458
調整債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,479,000
減収補填債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	368,000
債務負担行為額 (C)	9,717,545	11,610,329	5,015,052	8,554,708	11,999,634	12,442,210	12,626,065	7,019,738	2,788,909	1,455,710	1,211,837	2,225,341	3,237,163
差引額 (A)−(B)−(C)	23,126,810	18,553,717	15,784,849	8,523,310	2,135,158	△ 25,548	2,004,675	10,461,077	17,857,978	24,523,465	31,993,566	36,785,747	37,084,297

新宿区財政の健全化判断比率審査意見書

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項の規定に基づき、令和２年度新宿区財政の健全化判断比率について審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

令和3年9月6日

新宿区監査委員　白　井　　裕　子
同　　小　池　　勇　士
同　　國　井　　政　利
同　　井下田　　栄　一

第１　審査の概要

１　審査の目的

新宿区監査基準及び令和3年度監査基本計画に基づき、決算審査及び基金運用状況審査を踏まえ、令和2年度の区財政について、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に適合し、かつ正確であるか審査する。

２　審査の対象

令和2年度新宿区財政の健全化判断比率

３　審査の期間

令和3年8月6日から令和3年8月19日まで

４　審査の基準（着眼点）

⑴　財政の健全化判断比率等の算定が、法令等の趣旨に沿って適正に行われているか

⑵　算定の基礎となる事項を記載した書類の数値が、決算書及び数値等に基づき適正に表示されているか

⑶　決算書の数値以外に、算定に必要な数値を記した帳票の管理が十分にされているか

第２　審査の結果

１　健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による４つの指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）から、財政の健全性について見ると次のとおりである。

なお、それぞれの指標には「早期健全化基準」が定められており、この数値を超えると「財政健全化計画」を定め、自主的な財政再建が求められることとなる。

⑴ 実質赤字比率

財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の割合を示す指標である。

令和２年度（以下「本年度」と表記する。）決算においては、一般会計等の実質収支は黒字となっており、実質赤字額はない。

なお、早期健全化基準は 11.25％である。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

※　財政規模に対する実質赤字額の割合
　　実質赤字額がない場合には「－」で表示される
　　標準財政規模は臨時財政対策債発行可能額を加えた数値

⑵　連結実質赤字比率

財政規模に対する一般会計等のほか、全特別会計を連結した実質赤字額の割合を示す指標である。

本年度決算においては、一般会計等のほか全特別会計で実質収支が黒字となっており、連結実質赤字額はない。

なお、早期健全化基準は16.25％である。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

※　財政規模に対する全会計の実質赤字額の割合
　　全特別会計は、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計
　　連結実質赤字額がない場合には「－」で表示される
　　標準財政規模は臨時財政対策債発行可能額を加えた数値

⑶　実質公債費比率

財政規模に対し、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の割合を示す指標である。

本年度の実質公債費比率は△3.3％であり、直近３か年度の平均値は△3.5％となった。

なお、早期健全化基準は25％である。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{（元利償還金＋準元利償還金）－（特定財源＋元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}}{\text{標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}}$$

※　財政規模に対する一般会計等が負担する起債の元利償還金と準元利償還金の割合
直近3か年度の平均値
標準財政規模は臨時財政対策債発行可能額を加えた数値

⑷　将来負担比率

財政規模に対し、起債残高や職員の退職手当引当額などの将来負担額の割合を示す指標である。

本年度においては、将来負担額よりも償還等に充用できる財源が大きいため、将来負担比率はない。

なお、早期健全化基準は350％である。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額－（充当可能基金額＋特定財源見込額＋地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額）}}{\text{標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}}$$

※　財政規模に対する一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の割合
分子である将来負担額が負の値となるため、将来負担比率は算出されない。その場合には「－」で表示される。
標準財政規模は臨時財政対策債発行可能額を加えた数値

２　意　見

令和2年度新宿区財政の健全化判断比率は、法令等に基づき適正に算定されていた。また、基礎となった書類から数値等が適正に表示されているとともに、算定に必要な書類は適切に管理されていることを確認した。

特に指摘すべき事項はなく適正なものと認められる。

財　政　課　資　料

令 和 3 年 8 月
総合政策部財政課

新宿区財政の健全化判断比率(令和2年度)

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により、令和3年度に公表する健全化判断比率は次のとおりです。

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
%	%	%	%
－	－	△3.5	－
早期健全化基準　11.25%	早期健全化基準　16.25%	早期健全化基準　25.0%	早期健全化基準　350.0%
財政再生基準　20.00%	財政再生基準　30.00%	財政再生基準　35.0%	

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき各地方公共団体に公表が義務づけられた財政状況を示す4指標(健全化判断比率)については、国が定めるすべての基準を下まわっています。

早期健全化基準

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第4条の規定に基づき、「早期健全化基準」の数値以上の場合は、財政健全化計画を定め、自主的な財政再建が求められています。

財政再生基準

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第8条の規定に基づき、「財政再生基準」の数値以上の場合は、財政再生計画を定めることが義務づけられています。

健全化判断比率の状況（令和2年度）

○　実質赤字比率はありません

標準財政規模に対する一般会計等の実質赤字の割合を示す実質赤字比率は、実質収支が黒字となったため、算出されません。

第1表　実質赤字比率　　（ 単位：百万円）

区　　分		令和2年度決算	令和元年度決算	増　減
一般会計の赤字額（繰上充用額・支払繰延額等）	A	0	0	0
一般会計実質収支額	B	3,469	3,412	57
標準税収入額等	C	89,285	90,598	△ 1,313
臨時財政対策債発行可能額	D	0	0	0
標準財政規模	E＝C＋D	89,285	90,598	△ 1,313
実質赤字比率	F＝（A－B）／E	（△ 3.88%） ―	（△ 3.76%） ―	（△ 0.12） ―

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため、差引等が合わないことがあります。

※ 実質収支が黒字である場合、実質赤字比率は負の値で表示されます。（　）の値は分析のための参考数値で、実質赤字比率はありません。

○　連結実質赤字比率はありません

標準財政規模に対する一般会計及び特別会計を連結した実質赤字の割合を示す連結実質赤字比率は、健全化判断比率の一つとして健全化法において新たに法定化された指標ですが、連結実質収支が黒字となったため、算出されません。

第2表　連結実質赤字比率　　（ 単位：百万円）

区　　分		令和2年度決算	令和元年度決算	増　減
一般会計の赤字額	A	0	0	0
一般会計以外の赤字額	B	0	0	0
一般会計実質収支額	C	3,469	3,412	57
一般会計以外の実質収支額	D	1,914	1,412	502
標準税収入額等	E	89,285	90,598	△ 1,313
臨時財政対策債発行可能額	F	0	0	0
標準財政規模	G＝E＋F	89,285	90,598	△ 1,313
連結実質赤字比率	H＝[（A＋B）－（C＋D）]／G	（△ 6.02%） ―	（△ 5.32%） ―	（△ 0.70） ―

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため、差引等が合わないことがあります。

※ 連結実質収支が黒字である場合、連結実質赤字比率は負の値で表示されます。（　）の値は分析のための参考数値で、連結実質赤字比率はありません。

○　実質公債費比率は △3.5%　－0.2ポイント増－

実質公債費比率は、公債費に債務負担行為などの支出（準元利償還金）も含めた経費の財政規模に対する割合をはかる指標です。(直近3か年度の平均値)

平成17年度決算から導入された指標ですが、健全化判断比率の一つとして健全化法においても法定化されたものです。

第3表　実質公債費比率　　（ 単位: 百万円）

区　　分		令和2年度決算	令和元年度決算	増　減
元利償還金・準元利償還金	A	2,665	2,649	16
基準財政需要額に算入される公債費・準元利償還金	B	5,504	5,547	△ 43
標準税収入額等	C	89,285	90,598	△ 1,313
臨時財政対策債発行可能額	D	0	0	0
標準財政規模	E＝C＋D	89,285	90,598	△ 1,313
実質公債費比率（単年度）	F＝(A－B)/(E－B)	△ 3.3%	△ 3.4%	0.1
実質公債費比率（3か年度の平均）		△ 3.5%	△ 3.7%	0.2

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため、差引等が合わないことがあります。

○　将来負担比率はありません

将来負担比率は、起債残高や職員の退職手当引当額などの将来負担額の財政規模に対する割合をはかる指標です。

健全化判断比率の一つとして健全化法において新たに法定化された指標ですが、新宿区では、将来負担額よりも、償還等に充用できる財源が大きいため、将来負担比率は算出されません。

第4表　将来負担比率　　（ 単位: 百万円）

区　　分			令和2年度決算	令和元年度決算	増　減
将来負担額	地方債の現在高	A	20,376	18,638	1,738
	退職手当負担見込額	B	17,240	17,243	△ 3
	債務負担行為に基づく支出予定額等	C	1,790	1,524	266
充当可能財源	地方債の償還等に充当可能な基金残高	D	60,697	57,649	3,048
	地方債の償還等の経費として基準財政需要額に算入されることが見込まれる額	E	42,484	45,500	△ 3,016
標準財政規模等	標準税収入額等	F	89,285	90,598	△ 1,313
	臨時財政対策債発行可能額	G	0	0	0
	基準財政需要額に算入される公債費・準公債費額	H	5,504	5,547	△ 43
将来負担比率	[（将来負担額）－（充当可能財源）]÷（標準財政規模等） [（A+B+C）－（D+E）]　/　[（F＋G）－H]		(△ 76.1%) －	(△ 77.3%) －	(1.2) －

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため、差引等が合わないことがあります。

※ 分子である将来負担すべき実質的な負債額（将来負担額－充当可能財源）が負の値となるため、将来負担比率も負の値で表示されます。（ ）の値は分析のための参考数値で、分子である将来負担額がないため、将来負担比率はありません。

印刷物作成番号
２０２１－１－５１０１

令和２年度
新宿区各会計歳入歳出決算審査意見書
新 宿 区 基 金 運 用 状 況 審 査 意 見 書
新宿区財政の健全化判断比率審査意見書

令和３年９月　発行　　新宿区監査事務局

新宿区歌舞伎町１－５－１
電話（０３）５２７３－４５７９（ダイヤルイン）
FAX（０３）５２７３－３５３９

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。

本誌は新宿区環境マネジメントに基づき、環境に配慮した印刷用紙を使用しています。